

全掟の逐条解説と
全掟網羅のルーチン表作成
(福音書の最善活用法・奥義伝授)

--まえがき--

※福音書作成は大変難解な情報量の精査となった事業だった

福音書を書くことは、容易ではなく、
神にとっても大変難しいことだったが
(理由は、未来における全ての人間の調和的幸福が
必ず実現されるという掟というものを
計算すると、掟相互の作用もあったため、
膨大な情報量になったため。
人間には必ず無理な作業だったが、
だからこそ、創造主と全く同じ力をコピーされて世に派遣された私は、
為さねばならなかった。)、
あなた方が最善の人生を歩めるように、一覧表にした戦略を伝授する。

※定石からはみでない生活を

1つも掟を踏み外さない生活をしていくとなると
かなりギチギチの生活になるが、
それが良いことだ。
全部を踏み外さずに生涯守れば、ものすごく良い天国に行ける。本当にすごいことになる。
天の父は、そういう人間を本当に気に入ってくれるためだ。

※細かい所では別解が存在するが…

細かい所では別解も存在する。
細かい所においては、私やエルランティでも回答は別になる。
私は、例えば、祈るときは、「神のために」全力で祈っていた。
理由は、後の解説で分かるように、神は神(聖霊)を人より優先的にとらえている(マタイ
12:31-32)ことから。
より強力な理由としては、「心を尽くし、全力で、神を愛し、奉仕しろ」という掟があった

ためだ。

しかし、福音書によると、このケースにおいての答えとして、イエスは「敵のために」祈れと教えていた。

この例は、大天使ガブリエルが、敵のために祈っている所にでくわしたことがあった。私が若い時は大天使ガブリエルが私の保護者をして私に教えてくれていたのだが、彼女は「誰々に平安あれ。」「ベルゼブブに平安あれ。」と危害を加えられた後に祈っていた。隠れて一人一人に祈って、1日のトータルで2分くらい祈っていた。大天使ガブリエルは若い時の私に教えようとして手本を見せていたのだが「いちいちこんなことやってるんだ。真面目だなぁ。えらいなぁ。女の天使って優しくてすごいなぁ。」と思って感心して、暫くの間、ガブリエルの祈りのマネを毎日していたが、俺の役職になると会う存在が神 YHVH ばかりなんだ。だから、神 YHVH のことばかり考えているから、官職が偉くなってからの俺の解答は、前者の方だ。神や天使の世界は、階級ごとのテキストがあって（階級ごとに仕事が別になっているから）、それを守らないといけないのだ。よって、人間の選民の選別要件になっている福音書に書いてあっても、福音書はイエスが教えた法だから、上席の俺には関係ないし、俺はもっと上位の神や最高天使の法に従って動いているから、初級天使になるための試験の教科書になっている福音書に書いてあっても、立場が全然違うので、それを守るつもりはないのだが、今回は手本を見せろと言われているので、立場を落として落として地にまでつける思いで、もし自分が福音書に従って生きる人だったらこうするだろうなという自分像の想定をして過去の罪の懺悔をして書いている。「過去が恥ずかしいから、悔やんで、イエスの御霊の言葉で洗礼を受けて、この通りに生きる」という気持ちで書こうと思っている。普段の俺は、神 YHVH を守る専属の仕事をしている異界と神 YHVH の世界のゲートキーパーだから、自分に恵みを与える YHVH のことしか考えていない。だって、位階が下のエルランティとかガブリエルが俺に恵みを与えるわけじゃないだろ。俺の上は YHVH しかいないから、YHVH から給料をもっているし、YHVH にしか従っていないのが俺なんだ。隣人とか下の階級の生殺与奪の権利があるから、俺の正解は前者の方だった。

それに、上級ほど恵みがバンバン降ってくるすごい教えになっているから、下級に受かってない奴に上級のルールは教えたらいけないことになっている。

とはいえ、大筋では福音書通りだ。「全力で神を愛して奉仕しろ」という全神・全天使共通の掟があるが、神に栄光が集まるように全部の行動で、それをしてきているよな。

更に別解は、くどくど祈らずに「神に栄光あれ。神の国が来るように。私が貧しい人達に全ての財を施しているように、世の全てが平安であるように。私は罪をゆるしているから、私の罪もゆるしてください。試練は歓迎するので、御心をあらわし、悪しきを遠ざけて下さい。」と祈るだけでもいいし、

「くどくど祈らずに、神に栄光あれと祈ります。」でもいいし、「アッサラーム」だけでもいい。

どちらでも正解だが（点数は、100点、100点、60点、50点、40点。後ろの2つ

は加点なしよりはいい。)、ここは読者が混乱しないように福音書にケースごとの定めがある答え(「敵のために祈れ」)に従っておこう。

※天上界の小1の入試テキストの内容と同等の内容

俺もこんな基礎の内容を勉強するのは懐かしいのだが(俺らからすると小学1年生にあがるときの入試の問題にたとえられる)、福音書の内容は、天上界では初級天使に上がるときの入試のテキストの内容なんだ。試験時間が人間の生命の活動時間なのだ。その間にためられるだけ点数をためておくと、上のクラスに行ける。待遇が全然違うから、絶対上の官職になった方がいい。福音書は初級天使の入試テキストだが、中級の真ん中くらいまでの内容が書いてあるから、上級にはなれないが、中級までは目指せる。人間の学校にたとえると中2くらいまでは上げれる。親・家族の縁を全て切れとか、全財産を寄付し続けろとか、それは中学レベルだな。「死ね」とか書いてあるし、中2レベルだな。何回も明文で「死ね」と書いてあるもんな。俺も神のために殺されたことがあるがな。何度も。配点が高い問題だが、この試験問題も出てくるから、出てきたら俺らは絶対チャンスを逃さない問題だがな。そうしたら生き返るからな。やってないと死ぬんだよな。本当に生き返れなくなるから、賢明な天使ほど最後まで生きていた。お前らはやったことない奴らばかりだから、知らされていない情報だが、本気でやったら、痛みもないし、本当に生き返るからな。やってない奴が苦しんで死んで生き返らないからな。

試験実施の趣旨は、レベルの高い選民を集めたいのだから、神 YHVH が設置したルールには逆の所に真が隠されている場合が多い。イエスも言っていたが、地上の常識は非常識になる。正解判別には地上の常識で考えたら危ない。

君らは、そういう天上界経験がない子ばかりなのだから、何が起きるかもわかってないのだから、イエスを信じて福音書に書いてある公式通りに生きた方がいい。

なぜ死が幸福なのだという疑問が出るだろうが、原理としては、これから説明するが、神からの「報い」にある。大きなものを犠牲にするほうが神は喜ぶので、より大きなものが得られる。

その大きな原理が分かっているれば、地上の人間が受ける初級試験なんて簡単な問題ばかりなのだがな。

もう少し解説を足すと、この犠牲に「信」というものが試されるのが初級天使試験だから、捧げると喜ばれる。

よって「死ね」とかいう迫害にあった場合は、代償が大きいためボーナス問題だ。

1問で40点くらいもらえる。まっさきにとらないといけない問題だ。

ミスるとペトロみたいになるからな(後述)。

サタンに負けるようでは天使とは認められないし、サタンに負けないあかしを見せるには、全部を捨てないといけない。

福音書に「神からもらったものは全部神に返せ」という掟が書いてあるからな（マタイ 22:21）。全部返せよ。死ぬまでの間はずっと返還し続けるんだ。

まだ何か使命が残っている場合はアブラハムみたいに無理矢理止められる。

天国に入る試験は、天使の選別試験だからな。じゃあ、天使って何なんだ。神のために何する役職なんだ。

全部を捨てて生きていないと入れないんだぞ。

こっちも人口が少ないから、入試問題で採用している。

ただ、初級試験は簡単だから、近代立憲主義的憲法や道徳を守っていても、低層域なら滑り込めるエリアはあるが、そんな納豆みたいな所でいいのか。そんな所に入っても誰も天使だと認めてないぞ。

この福音書で勉強したら高得点をとれるからちゃんと試験勉強しろよ。このテキストで。そうしたら合格できるからな。

力をつけるのは、その入試に突破してから天上界で訓練と力を受けるのだ。まずは採用試験に受からないといけない。

※イエスは700万世界に存在するメシアゆえ、当世界の福音書制作は、ややこしかった

ちなみに、教義の「内容は簡単」だが、上述のように、この地上でおろす内容かどうかの「計算が大変」だったのだ。

イエス・キリストが来た世界なんて、ここの世界だけではなくて、大体どこにもいるから。全部の世界の中でも700万くらいの世界でイエス・キリストがいる。その中で、私が最高神を担当している世界が35万くらいで、

本当にうちの担当のキリストなのかなとか、ベルゼブブが化けてやってないかとか、罌を仕込まれないかとか、検出にかなり神のオーラの力を使った。。

ニセモノでなかったとしても、どこの世界のキリストの教えなのかとか、それも細部によって違うので、この地上の運命というものを全て見て、算出しないといけなかったんで、かなり大変な作業だった。

似たような世界のイエスでも、『魏志倭人伝』くらいの違いがある。魏人が倭人と出会ったときは全然文化が違う。

※これまでの統計ではキリスト教聖職者（神父・牧師以上）の99%以上が地獄、仏僧の約33%が天国に行った

命を捨てるなら、「くびきが全然軽くないだろ」（マタイ 11:30）と思うかもしれないが、やってないと地獄におちるからな。地獄と比べたら軽すぎる。

ちなみに今までの統計だと、教会で洗礼を受けた人間と聖職者の内、99.6%が地獄におちている。

仏教の場合だと、坊さんの30%が天国に入っている。住職とか。

この違いは何かというと、キリスト教の場合は、神を冒瀆した罪の減点が大きくて、殆どのキリスト教会の聖職者が地獄におちている。

だから、俺が書いた、このテキストや最後に紹介するテキストで、よく勉強していないと、絶対に間違えるからな。0.4%しか受からないんだったら、100人に1人もいないし、200人に1人もいないんだぞ。

だったら、お前らの教会で、100人とか来てると思うが、顔を見合わせたそこにいる奴ら全員地獄行きなんだということを分かって勉強していないと

そこじゃ滑るんだぞ。

だったら、仏教を勉強していたらいいんじゃないかと思うかもしれないが、入っているのは下層の天国ばかりだぞ。

それでもいいなら、八正道や四無量心を会得して生きていけ。八正道の正しさの基準は中道だから、

中庸の精神で、どちらにもよらずに、殺生もせずに生きていけばいい。ここだな。仏教は、殺生しないことが徳として大きい。大きな加点になっている。虫も殺さなかった奴が天国に入っているわ。

上に行きたかったら、キリスト教かイスラム教しかないからな。常に厳しいことをやって捧げているから。

キリスト教の場合は、殆どが殉教者ばかりだ。中級からは殉職者の入試になっているから。

キリスト教で地獄に来た奴は、特に中世の魔女狩りで来た奴が多いな。今、見渡していると。お前らの教会の先祖、こんなだったんだぞ。それでいいのか。どんな教義を教わってるんだ。イエス・キリストの教義なのか？それ。

税金が10%でいいなんてイエスが言ったのか？皆全財産を捧げて、それで、やっとそこからスタートして、教われたんだろ。10%だったらそんな資格もないんだろ。

半分入れても殺された（即死した）奴がみせしめになっているだろ。アナニヤ達。夫婦で死んでるんだぞ。

ここが神の意志なんだぞ。そうしたら、それで神の教えを受けているとか、教会を気どっていたら神を冒瀆しているよな。ペテロの上に建てた教会ではない。そんな所は。

あとは異端審問が多かった。そういう歴史を勉強してキリスト教を学ぶ仕組みになっているから

それで勉強してきた奴らの心がうがっていったのをよく認めた。

あとはアブラハム中毒者の殺人者が多かった。キリスト教は、そういうことをする宗教ではないので、神の冒とく罪は本当に酷い。

あとは偽の教えで金を集めているとか、こういうのは軽微な罪で行く地獄でも人数が多いから、本人は良いことをやっているつもりでも、YHVH への冒涇になっているから、要注意だ。

※仏教で天国に入りたいなら四無量心を極めていけ

仏教だったら大天使レミエルの方が詳しいんじゃないか。レミエルは虚空菩薩だもんな。レミエルは仏教の守護者ですから、昔からものすごく頓智が得意で、昔から私との日常会話が頓智クイズばかりでした。

仏教僧でも頓智ができないとちゃんとした僧として認められない流派もあります。知恵者はレミエルだからレミエルが言うには、仏教の真髄は「四無量心だけ」だと言っていたぞ。

優しくあれとか、そういう話だったら、キリスト教と同じだな。神への冒涇がないから、高得点もないが、大きな減点もないのが仏教だった。

俺は釈迦の本体だし釈迦に八正道や中道を教えたブラフマーだから、仏教に詳しいはずなのだが、実は釈迦は位階80位だから、釈迦には雑魚の教義を教えていた。本当は厳しいほうがいい。俺なら、八正道生活を頑張っていくが、不動明王の俺に仏教の話聞いても、優しい話は出てこないから、レミエルが言っていた教義を載せておく。優しい答えだな。真言宗だとキリスト教に一番近い。大日如来なんて、エルランティの分霊のアラートだしな。優しいかもな。

しかし、レミエルに意見を求めたときに「何でもいい」とも言っていたぞ。レミエルは地獄行きの審査員ではないが、やり方は、色々あると言っていた。

俺が教えると

「イスラム教みたいに五体投地とか、ずっと断食・断眠・断水して神 YHVH のために走って苦しみを捧げて、心の不浄さを正せ」とか、俺の八正道は、そういう話が八正道に入る前の心の清浄の基礎になるし、瞑想とかでも5年はずっと座ったままいろとか言うので、皆ができる四無量心がいいよな。

だって、仏教の学校でそういうふうに習ったしな。阿闍梨になるためには、飲まず食わず寝ずで、ずっと山を走っていないといけないんだぞ。寺で殴られている僧侶をよく見るぞ。

あとは、座禅だけの生き方もあるよな。悪が入らないな。何もしないから。

とりあえず、俺は武術の神（武神）だから、厳しいことをやっているほうがいいという指導になる。武術だったら、正座なんて、習う前に2時間くらいはやって精神統一していないと

な。毎日4000回以上正拳突きをやっていたからな。腕立て伏せなんて毎日1000回くらいやっていたぞ。武術の訓練だけで毎日12時間以上はやらされていたわ。どれだけ甘い思いしたいのか知らんが、罪人なんて刑務所行きなのだから、早いこと苦しい思いをして解消しておいたほうがいいと俺は思うぞ。

人間本来の苦しみを洞察しただけで、それが本当の真理を見ていた訳でもないし、そもそも仏教って何？っていう話になる。あんなぐちゃぐちゃになっている教義はないと思うぞ。

曼荼羅なんて釈迦のときはなかったし、守護者を作って肖像化なんてしてなかったぞ。最初はスコラ哲学みたいなことをやっていたと思うのだけど。

天上界で釈迦と喋ったことがあるし、さっき生き返らせてこの件について喋ったが、八正道の話なら好きかなと思ってふったが俺が教えたやつだったらあまり関心なくて、釈迦本人は「慈悲だ」と言っていたぞ。だから四無量心でいいな。

天上界では仏教なんて初級にしかない連中だから、仏教で教科書をまとめることなんて一度もなかったからな。上につながっていく教えでカリキュラムを組んでいるから。

神の視点から仏教がやっていることを見ると、人間社会が平和になるためには、心の罪悪というのをはらいたい訳で、

それはキリスト教と変わらない目標だよな。ヴェーダの頃から、それは言われていたよな。仏教の方が殺伐とした事件は少ない。

心を綺麗にして平穏になりたいということなのだし、座禅でも心の邪をはらうことを目標にしているので、

変な神にささやかれて事件を起こすことが極めて少ない。仏教では、それを邪念だといってはらっているからえらいよな。

取り組むならキリスト教の次に良い選択肢だな。戒律もしっかりしているし、姦淫もしないし、キリスト教の神も喜んでいる。良いことだ。

三業というものを考えて、心の邪を祓きたいと願っている。十悪とか考えたりしているしな。そして五戒があるもんな。殺し、盗み、sex、悪口、酒、こういうのは福音書でもキリストが禁止している戒律に共通するものが多い。

自分を律して、悪いことに走らないで、善を行うということを道にしているので善に入りやすい。

悪霊に対してふりまわされにくい。経しか信じていない人が多い。

キリスト教だとベルゼブブが「神だ」と言えば、すぐ追従して、信者は、すぐ悪いことをしていたしな。

こういう所が、差異を発揮している。

これからは、俺の教科書が世に出るから、この差は逆転して、キリスト教で天国に入る者が多くなる。

世の中が全部キリスト教に染まらなとおかしい教科書の発行だぞ。

※従来の聖書は誤りが約4%、キリスト（私）が書いた正しい聖書で勉強を

それと注意書きとしては、日本語の聖書の訳のレベルは英語の3倍低いので、一番良いのはギリシア語をそのまま飲み込む読み方がいい。

日本語訳は、完全に間違えているときがある。

この間違いが起きている理由としては、聖書の意味を分かっていない人が訳しているために、1つの単語でも普通は4～6個くらいは

意味がある。その中から、1つの文を作るとなると、キリストの心が分かっていない人だから、

流通している聖書の全文を読んだが96%くらいは当たっていたが、残り4%くらいは、どの聖書も間違えているので注意すること。

俺の聖書も、日本語よりも英語のほうをあてにしたらい（ちゃんと書いているときもあったのだが、多くをコピペでバーツとはっていたらごめんな（苦笑））。

だから、ちゃんと英語のほうを載せているだろ。日本語は書いてない所もある。

特に預言者の預言になると無茶苦茶になってくる。当時の人にとって意味不明なことを言っていたのだからな。

コピペしたときに訳が間違えているのが分かっていたが、こちらも他にやる仕事が多いし、難しいことをやっているのだから、

俺一人しか聖書について正しく書ける存在が天上にも天下にもいないのだから、

細かい案件にぐちゃぐちゃ入っていかずに、まずは形を作ることが大事だったし、

そこは、ここでちゃんと解説をしているし、前に書いた記事でも解説をしているから、

文句を言わないこと、そして、聖書の訳をあてにせずに、俺の教科書をあてにするように。

ここで、全部を書き直しているから、それでいいだろ。

主が書いた再福音書

<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12804961947.html>

主が書いた福音書の掟の一覧（新約福音書）→イエスの律法を日常生活に反映するためのルーチン表を作成

https://allahyhwh.web.fc2.com/bible/list_of_teachings.html

第3世代のコイネ・ギリシア語福音書なんてあてにするなよ。

すれて、無責任な訳で版が出回っているからな。内容は、かなり嘘になっているからな。キリストが言っていないことを書いている聖書が世の常で出回っている。

ローマで廃棄されたものについては、俺達しか知らない内容だ。

俺が書いたテキストが全部もともとの形だからな。

今回はネットで公開できる時代になったから、わざと意味が通じない言い方をしていた所の解説を沢山入れておいた。

聖書は俺についてあかしをする書物だから（ヨハネ 5:39）。

嘘の教会が出している聖書で勉強するのか、それともキリストが書いた聖書で勉強するのか、それは読者が自由に選択して天国の門か地獄の門かを選んで入りなさい。

--掲載目的--

ここでは、イエスの教えを整理して再掲載・解説していきます。

その目的は、イエスの律法に基づいたあなた方のルーチン表を作るためです。
そのルーチン表の通りに生きていけば、間違いがない人生を送れるためです。

それを書くことが私がつかわされた使命だからです。

YHVHの魂が私の内にあるから、これ（聖書の続き）がやっと書ける訳です。
あなた方にとって、チャンスです。

※まず、読者のレベルを下記練習問題でチェックして下さい。

<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12804861906.html>

まず、あなたに、どれだけ悪魔が入っているのかを自覚して下さい。

悪霊に洗脳されていれば、聖書は正しく読めないのに、

イエス・キリストのわざで、悪霊をはらわなければ、

正しく言葉が入ってこないのですよ。

でも、それだと世界中が読めない文章のまま福音書は終わるので

私のわざで、分かりやすく書いていきました。
これから、記載されている文章は、全て、神文です。

※聖書は霊で読む読みもの、
この福音書は私の失われていた記憶（忘却されていた情報）「オブリエオン」を過酷な修行
によって引き出して書いたもの

私は、受肉してからというもの、昔から超能力がバンバン使えましたが、
真理については記憶喪失でした。

でも、迫害ばかりだったので、
自分の命を守るために、行きついた魔法の研究が
聖書のイエス・キリストの研究だったのですよ。

そうしないと、一刻一秒も猶予がないくらい、
受肉後の私は世界中の悪魔（サタン）から、命を狙われ続けてきたのです。
その存在が、地上の悪魔を全て滅ぼせる光そのものだったためです。
光に照らされた闇（悪魔/命ではないもの）は、消えてしまうし、地上に居場所がなくなる
ので、
多くのサタンが常に私を殺しにきていました。

当時の私にとって、唯一私よりもすごい
神秘の力を使っていた人だったので、
彼の奇跡を追うことで、私は、自分の命を守る力を
開発できるのではないかと思って
8歳くらいから聖書にいきついて研究をしていました。

そこで、私は、ここで、ガブリエルの分霊の女に言われたことがありました。
<https://ameblo.jp/distribute-1/entry-12805773960.html?frm=theme>

何を言われたかというと
「聖書は、霊で読む読み物だから、
その霊で分かる範囲までしか分からない。
あなたは、まだ覚醒前だから、その時は来ていないから、
分からない所が多いのです。」

霊から出る言葉というのは、
霊でのみこむものです。

よって、（読み手の）霊が、天の父から来たものではない場合、
その意味は、分かりません。

書いてある意味の把握は、遠い意味になります。

それだけ多義的な読み方ができる書き方をしながら、
トータルで一本の道につながっていく読み方というのは、
まさに、ここに書いたように、

<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12805133275.html>

膨大な情報量の中から、整合している選択肢を選ばないといけないので
人間にできるわざではないように作っておいたのですよ。

私でやっとなったのですよ。

解読には唯一神レベルの高度な超能力のわざが必要です。

私は、最初は天の父と共に暮らしていましたが、
試練に送られるために、長らく記憶喪失にかかっていたので、
その霊の記憶を封印されていました。
自分の旅によって、再び引き出していったのです。

福音書は、神の執筆書物ですから、
神（聖霊）の言葉で書いてあります。
その言葉の意味は、同じ神でしか
読み解くことはできません。

わざと分からないように書いておいたためです。
聖書というものは、キリストについてあかしをするための
書物だと聖書に書いてある通り、
その読み解きは、私にしかできないことをあかしていったのが
私が執筆してきた書物です。

だから、あなた方が世の教会/大学でいくら習っても
真意には永遠にたどりつけません。

永遠の命と平安を得たいなら

ラビ（先生）から習わないといけないのです。
その唯一のラビとは、私をおいて、他にはいないのです。

なぜなら、私が最高神 YHVH だからです。
そして、私が直接教えてきた弟子達（エルランティ、ガブリエル、天照、レミエルの祓戸四神）にも
教えを説かせました。

それらの教えは、私が掲載前に全文を監修して
OK したものを公開したため、
彼女達を書いた全ても、私が書いたものと同様です。

エルランティなんて、私と同一とっていいほどの神です。
別の世界では最高神です。
同じくバアルに関しては、ベルゼブブなんかと呼ばれていても、
私と同一の存在です。
ミカエルと対をなす存在として作りました。
今はバアルが審判の刑の執行者をしています。

よって、バアルの掟も読まないといけませんよ。
天上聖壇で、少しだけ執筆を担当しています。
<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/>

彼が何の基準で裁きの執行を担当しているかを知って下さい。
この動画の中にも書いておきました。
<https://video.fc2.com/content/20221116fLmaf5W0>
<https://video.fc2.com/content/20221207QAZymubv>

イエスの教えの通りに執行しています。
第一の教えが「全力を尽くして、神 YHVH のための実りとなること。」
第二の教えが「全ての人を自分と同じ存在と扱って愛すること。」
これら 2 つの掟です。

律法全体と預言者は、これら 2 つの掟によって成り立っていました。

※ガブリエルの分霊を宿した 3 人の女

大天使ミカエル受肉伝は、さらっと書いたので教えは掲載していないのですが、彼女達は、戦闘タイプで作られた訳ではなかったのに、賊に殺されました。

私はオールラウンダーの超能力者だったので、生きていました。

彼女達は弁護士・医師資格を持つシスターでした。

私は、彼女達に使えない強力な超能力を持っていましたが、彼女達にしか使えなかった大天使ガブリエルの力もありました。

そこで、彼女達は、死を予期していたために、最後の晩に私に、霊のパイプを作って、彼女達がガブリエルから授かっていた霊を私に流し込みました。

これによって、私にはミカエル以外に育てるべき魂が、自分の中にもう1個増えました。育てないとガブリエルの力は発現しません。

移してもらったからといって、最初から何でもわざを使える訳ではなく、私は、その魂が語るように、彼女達が生前、私に教えたいと言っていた彼女達の霊術の秘法を書き綴った書物を探しました。

彼女達は生前、世界で最高の超能力者だと言っていましたが、私が彼女達の力をすぐに遥かに飛びこえることを大天使ガブリエルの告げによって予言していました。

彼女達は私に、彼女達が持っている全ての知識とわざを教えたいと言っていましたが、習うことなく、彼女達は死にました。

そこで私は、ガブリエルに聞いて、彼女達が、私に出会う前から私のために書いていた教科書を探し当てて、本当にそこにあったのですが、私だけのために執筆された100ページくらいの「大天使ガブリエルの超能力の教科書」を読みました。

最初から使える訳ないので、時期をおいて通算で100回以上通読しました。

それは聖書の奥義をガブリエルの視点から書いたポイント集でした。

イエス・キリストは、信じないと神のわざは使えないと福音書で言っていた通りでした。

そこに書いてあったことは、「愛すること」「信じること」の
2つだけの骨子で、ガブリエルの神への愛と信仰の思いが書かれていました。
そのガブリエルの魂を知ることが、私の中に宿ったガブリエルの娘を育てることになったの
です。

後にYHVHから教わる前にエルランティ（エルは神の意味、ランティは最近の意味）に会
って

教わったが、「愛すること」「信じること」が聖書の奥義だという

2本でのまとめ方は、なるほどガブリエルの本体のエルランティの好きな話だった。

私は、その書物は、自分が完全にガブリエルの知とわざを復元して、それを超えた時、
全て焼き捨てました。

なぜなら、私が、より上に進むためでした。

私の中に完全にあるものを書物として残す必要は
私にとっては無いのです。

※愛と信仰に生きる教え

私は正義を貫徹して戦う大天使ミカエルだったため、
その使命の通り、悪魔と交わずに戦う人生を送ってきたが
より上の神の教えは、悪魔をも愛することだった。

私は、2位の神エルランティからそれを習った後に

1位の神YHVHから、同じくそれを習った。

しかし、それは、悪と交わっていいわけではなく、
悪に、この教えを教えて、道を論ずことだったのだ。

忍耐強くな。だから、その試練として

私は、もう一度、おりてきて、それをしたのだ。

地上におりてきて、悪魔に洗脳された人間からの
迫害にあうことは、

子が、立派な神になるための、キリストの修行だったのだ。

父が与えてくれたさかずきは、ありがたくのみほすのが

父を愛する子の行いだ。

父の喜びのために生きていれば
賢明な父は、子を大切に思うため、
父と子が共に喜ぶ道に案内するものだ。

あなた方も、このように、
人生を喜びであふれた人生で消化できるようにしなさい。
それが愛や感謝というものなのだ。

エルランティについては、こちらに説明を書いた通り。
<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12805133275.html>

エルランティという神名は、殆どの人間にとっては初めて聞く言葉になるが、El はウガリト神話の時代からセム語系では最高神の名であることは明らかになっているし、旧約聖書では『出エジプト記』3章14節でモーセに「יהוה」という名を告げるまでは、エルといえばYHVHの異名になっていた。ラテン語では神「Deus」と呼ばれているから、ギリシア神話のゼウスそのものを表現させるためにヤハウエが、このように文字を作った。ウガリット語やカナン語では、El といえば「神」の意味であり、聖書にあるエル・シャダイといえば、「全能の」「神」という意味になる。ランティとは、ヘブライ語では「רִצְנוֹנִי」と書く。これは、「最近」という意味だから、「El」がつくことで、エルランティとは「最近」皆さんが聞く「神」の名という意味になり、あなた方が今まで知らなかった新しい神の名である。神界では1～4位までの位階があるが、位階2位というのは、1位の神祖に準ずる大変高貴な神であるため、下々の者には、その名すら、さらさなかったのである。彼女はもともと、あなた方がいる世界よりもずっと良い異界の最高神を担当している愛の女神である。神々の生みの親ガイアであり、彼女の愛がキリストに継がれて説法されていたのである。今回、最後の来臨になるし、そのときには、天の全ての使いを連れて来ると予言書に書いていたし(マタイ 25:31)、私はこのときにあなた方に全てのことを教えると予言書に書いていたから(ヨハネ 14:26)、エルランティのことも教えたのだ。彼女は、高貴なためにキリストの戒律の実践者であるため、いつも陰に隠れて(名すらも隠して)私の補佐を担当していたが、特別にこの世界にお呼びしたとっていい、大変高貴な神なのだ。

※導出公式

そこで、掟(為すべきことの判別方法)
の導出公式を私流に下記にてまとめますが、

エルランティ流も書いておきますね。

結論だけ、先に書いておきます。

導出公式（YHVH流）

1. 因果応報

善因善果←愛又は感謝を代入（することで、行動の正解を算出する）

愛…自分がしてほしいことを相手にする/相手のしてほしいことを進んで相手にする

2. 忍耐…1は最後まで貫徹する（命がなくなるまで）

導出公式（エルランティ流）

愛と信で心と行動を統一すること。

愛と信を行う対象は、第一に神であり、次に人。

これが聖書の奥義である。

※具体的な掟の教え

といっても、何をしていいか、人間には分かりませんよね。

だから、その細部をこれから教えていくのです。

最高神である私が、直接、教えていきます。

今回の教えは、「掟」というものに特に焦点をあてて

もれなく網羅的に掟を説明していく回です。

そして、授業を習ったあなた方が

それを実践できるように

あなた方の生活のチャート表も作って教えてあげるのです。

ここまでのサービスをしているのに、地獄に行ってしまったら

あとは言い訳がきかないので、注意して下さい。

未来の平安（幸福）のためには、きちんと読んで、

その心を身につけ、実践していくことです。

実らせるためには、行動ありきですから。

ヨハネ福音書では、「はじめに言葉ありき」とありましたが、

ゲーテのファウストでは「はじめに行動ありき」に書き換えたのですよ。
そうすると、あんな大変なことになっちゃったのですよ。それがサタンのわざです。
この一言が違うだけで、サタンに連れて行かれる不幸な運命になってしまうので、
心平安に生きていくための学びとして、本書によって
キリストの掟を正しく身につけて行って下さい。

社会では犯罪を犯さないためにも機能しますが、
税金に関しては、逮捕されない国に行って住んで下さい。
私は払わないので、世界中からそういう国（安全な地域）を選んで住みました。

--権威--

まず、これを書く前に、私はYHVHから
青い彗星が流れている光景を見させられた。

-医者も自分を治すのが福音書
それだけ、福音書の言葉は偉大である。-

そして、私は医師をしているが、私自身の
皮膚の病が、瞬時に治ったのは、福音書を
学んでいるときに起こった奇跡でした。

ベルゼブブ（サタン）と戦った時に受けた呪いによって、
私は最重度の皮膚病をわずらっていたが、
神は、私の痛み・かゆみをとってくれたし、
神は、私が視力を失わないようにしてくれたし、
神は、私の耳も聞こえるままにしてくれた。
「けがれた霊よ。出ていきなさい。」
私が、そう言ったとき、ベルゼブブは「何も言うことがない」と答えて震えながら出て行った。

それから私は元気になった。
神は、私が福音書を守ることによって、ベルゼブブをたちのかせてくれたし、
そのときに、「これがキリスト教の約束だ」と教わった。
ベルゼブブとの戦いが激しかったので、
私の肉体は、ボロボロですし、ほとんど感覚が残っていませんが、
天上界に行くと、もっと良い体になるので、

地上では、これでいいです。

--福音書の意味合い--

YHVHが言うには、最強の生き方は福音書の生き方です。

これは聖人養成のための教えです。

これ以上清い言葉は、ありません。

--福音書の掟を守れば幸せになれる--

よって、

まず、私を信じて読めば、幸せになれるのが福音です。

信じて読めば、これから書く掟が守れるからです。

幸せになるのは、私を信じて、それを行う者のことです。

幸せになる者は、主の御心を行う者だと

福音書に書かれてあるので、

ここからは主（私に宿るYHVHの魂）の御心を書いていく。

私は、それをするために遣わされて来たため。

--ここから掟と説明--

会うことができるうちに神を呼び求めなさい。

イエスのユダヤ砂漠での試練

YHVH注：40日間何も食べなかったのは、

食事ではなく、「神の言葉を求めろ」という教えである。

ここで、何も食べないイエスから沢山の金言が出た。

なお、ここでは悪魔という存在が実在することも

神（の子の人間）の視点からも教えている。

マタイ 4:4

「『人はパンだけで生きるものではなく、

神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』

生きることというのは、この真理の言葉を毎日3食の食事として食べて生きていくことである。

ルカ

4:8『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」。

神を日々拝し、
ただ神にのみ仕えよ。

ちなみに、飛び降りろみたいなことが聖書に書いてあると悪魔は言います。私は何度も飛び降りようとしたましたがその都度、神から止められたので、飛び降り（自殺行為）もやってはいけない掟だということが分かります。

4:7

『主なるあなたの神を試みてはならない』

疑わずに信じることである。

ヨハネ 2:16

「これらのものを持って、ここから出て行け。わたしの父の家を商売の家とするな」

二君に使えることはできない。

商売をする者は、金、商売に仕えているのであって、
商売をする者が神に仕えることはできない。

ヨハネ

3:3

「だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」

幸せになるためには、

洗礼（過去の悔悟）をして、これからは掟を守って生きていく者になること。

ヨハネ

3:5

「だれでも、水と霊とから生まれなければ、神の国にはいることはできない。」

これは洗礼のこと。地についた泥の清め（反省）
聖霊の真理の言葉とで、心をいれかえて生きていかないと
幸せにはなれない。

ヨハネ

3:8

「どこへ行くかは知らない。霊から生れる者もみな、それと同じである」

真理の霊であるイエスの言葉は、不思議な言葉ばかりだった。
常人には理解できない言葉だという意味である。

不思議（非常識）であるからといって、それを守らない訳にはいかないのである。

同じく神の霊を持つ者が、この解説を書いているが、
分かる範囲で分かる掟を守れば上手くいくように作ってある。
聖書はイエスのあかしをするためにつくられたと書いてあるが
難しい表現は、イエスであるというあかしのためである。

ヨハネ

3:15

「彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである」

イエスの言葉（福音書の教え）を信じろという掟である。

（3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

3:17 神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。）

3:18

「彼を信じる者は、さばかれない。信じない者は、すでにさばかれている。神のひとり子の名を信じることをしないからである。」

イエスは、世を裁かないために来たので、
イエスの福音書の言葉の教えを信じて下さい。

守れば、裁かれず、救われると書いてある。

ヨハネ

4:10「もしあなたが神の賜物のことを知り、また、『水を飲ませてくれ』と言った者が、だれであるか知っていたならば、あなたの方から願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう」

神に水を与えれば、神から永遠の命という水を与えられる。

同

ルカ

4:23「あなたがたは、きっと『医者よ、自分自身をいやせ』ということわざを引いて、カペナウムで行われたと聞いていた事を、あなたの方から願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう」。

4:24「よく言うておく。預言者は、自分の郷里では歓迎されないものである。

4:26 エリヤはそのうちのだれにもつかわされないので、ただシドンのサレプタにいるひとりのやもめにだけつかわされた。

4:27 また預言者エリシャの時代に、イスラエルには多くのらい病人がいたのに、そのうちのひとりもきよめられないで、ただシリアのナアマンだけがきよめられた」。

つまり、イエスをもてなさないと、イエスから救い・奇跡の恵みを受けることができない。

同：スサノオの「蘇民将来の子孫」の話。

★ここで、

「神をもてなす。

→そのための苦しみを受ける。

→それを益として考えて、又は感謝をして、最後まで続けるという生き方」

この構図（パターン/手筋）が成り立つ。

ルカ

5:14 イエスは、だれにも話さないようにと彼に言い聞かせ、「ただ行って自分のからだを祭司に見せ、それからあなたのきよめのため、モーセが命じたとおりのささげ物をして、人々に証明しなさい」とお命じになった。

ここで、律法を守ることはもちろん、
捧げものも必要であるということが分かる。

ここで、良きことの訪れのために、
捧げものもルーチンにする（掟）。

ヨハネ

4:13「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。

生水を飲んでも乾くが、神が与える水は、
永遠に泉となって乾かず、永遠の命につながっていく。

4:24 神は霊であるから、礼拝をする者も、霊とまこととをもって礼拝すべきである」

誠実に神に礼拝すること（掟）。

4:32 ところが、イエスは言われた、「わたしには、あなたがたの知らない食物がある」。

4:34 イエスは彼らに言われた、「わたしの食物というのは、わたしをつかわされたかたのみ
ところを行い、そのみわぎをなし遂げることである。

4:36 刈る者は報酬を受けて、永遠の命に至る実を集めている。まく者も刈る者も、共に
喜ぶためである。

4:38 わたしは、あなたがたをつかわして、あなたがたがそのために労苦しなかったものを
刈りとらせた。ほかの人々が労苦し、あなたがたは、彼らの労苦の実にあずかっているの
である」。

苦勞することが幸せになるという意味である。

マタイ

4:17「悔い改めよ、天国は近づいた」

マルコ

悔い改めて福音を信ぜよ」

悔い改めることが大事だ。

ルカ

4:18「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、
4:19 主のめぐみの年を告げ知らせるのである」。

主は貧しい者に福音を与えるために来た。
その福音が貧しい者を救うからである。

マルコ

1:25 イエスはこれをしかって、「黙れ、この人から出て行け」

悪霊は、神からしかられるし、黙ること。良い人と関わってはいけない。
悪い人（霊）は、黙って、神の命令に従うこと。

これは教会とかでは言われていなかった教えなので、
有意義な説明になっている。

ルカ

4:43 しかしイエスは、「わたしは、ほかの町々にも神の国の福音を宣べ伝えねばならない。
自分はそのためにつかわされたのである」

これは、私のために書いています。
私は、どこにでも神の福音を伝えるためにつかわされたので、
休んでいる暇はなく、
私の仕事は、これなのです。

～ここから山上の垂訓（重要：総まとめといってもいい）～
重要な総まとめ的な所ですが、マタイにしか書いてないことが
結構あるので、ここが私がマタイを尊重して
第一引用書に使っている理由でした。
ただし、ここはルカにしか書いていない記述もあるので
マタイ・ルカの両方を読んでほしいです。

マタイ

5:3「こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

心貧しく生きること。豊かではないということなので
明るく生きてはいけない。

理由は、はっちゃけていい情報なんて地上にいる限りは、どこにもないため。ギリギリスになっ
てはいけない。

だから、心は飢え乾いているのが幸福に至る証拠です。

5:4 悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。

神のために悲しんで下さい。負債を負って下さい。

5:5 柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。

それでも、いつでも、優しくいて下さい。

5:6 義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、彼らは飽き足りるようになるであ
ろう。

5:10 義のために迫害されてきた人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

5:11 わたしのために人々があなたがたをのしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って
様々の悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。

5:12 喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の
預言者たちも、同じように迫害されたのである。

神への義に生きることは、あとで神から義の報いを得ることになります。

ということが、先の、蘇民将来の話から分かる訳です。

人々が与えなくても、神が与えてくれる。

つまり、義を守って下さい。

義とは、この（福音書の）掟を守ることです。

☆YHVHが提唱するのは

「迫害待ち」の生き方。

5:7 あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。

どれだけ迫害にあっても、ジェシーのように

いつでも優しくあることです。

5:8 心の清い人たちは、さいわいである、彼らは神を見るであろう。

いつでも清くいて下さい（掟）。

5:9 平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。

平和をつくる努力をして下さい。

その理由としては

ルカ

6:23 その日には喜びおどれ。見よ、天においてあなたがたの受ける報いは大きいのだから。彼らの祖先も、預言者たちに対して同じことをしたのである。

報いを受けるためです。

6:23 その日には喜びおどれ。

天に入った日は、喜び踊っていいですが、それまでは、つまらない顔をしているという意味です。

6:24 しかしあなたがた富んでいる人たちは、わざわいだ。慰めを受けてしまっているからである。

6:25 あなたがた今満腹している人たちは、わざわいだ。飢えるようになるからである。あなたがた今笑っている人たちは、わざわいだ。悲しみ泣くようになるからである。

6:26 人が皆あなたがたをほめるときは、あなたがたはわざわいだ。彼らの祖先も、にせ預言者たちに対して同じことをしたのである。

つまり、オセロと一緒になのですが、最後に石の色がバーッと変わったらいいい訳ですね。

「今、地上で報いを受けてはいけない」という掟です。

良いことは最後に集めておきましょう。

天の国に入れば、そこからは永遠に幸せになれるのだから。

なぜ、ガブリエルが犬（ジェシー）で出てきたか
というと、「待て」ができたからです。
犬には、「待て」と言いますよね。
私は、ジェシーから色々教わりました。
柔和だし、慈悲深いし、待てができる
賢く立派な犬でした。

マタイ

5:13 あなたがたは、地の塩である。もし塩のききめがなくなったら、何によってその味が取
りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけら
れるだけである。

5:14 あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。

ここまでの掟を守れる人（貧民・柔和・平和建設・義人）は、
神にとっては、大切な人だと書いてある。

世の光とまで書いてある。

ここまでの掟は簡単なことだった。
ふみつけられても、掟を守る良い人であってほしい。
でも心はいつも満たされず乾いているので
神から、後で満たされる報いを得るのだから
地上で先に報いを得てはならない。

5:15 また、あかりをつけて、それを机の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家
の中のすべてのものを照させるのである。

5:16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいお
こないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

つまり、手本になって生きていきなさい。
人前（目立つ場）に出て、イエスの律法の教えを守る手本を多くの人に見せなさい。
ここは、目立つ明かりになったらいい訳ですね。
左の手を隠さなくていい訳です。
目的が違うためです。

5:17 わたしが律法や預言者を廃するためにきた、と思っはならない。廃するためではな

く、成就するためにきたのである。

5:18 よく言うておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである。

イエスは、律法と預言者の言葉を成就するために来た。

5:19 それだから、これらの最も小さいいましめの一つでも破り、またそうするように人に教えたりする者は、天国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これをおこないまたそう教える者は、天国で大いなる者と呼ばれるであろう。

つまり、5章のここまでの簡単な話

（神のために〔イエスの律法を守って〕迫害を受けても、清く生きなさい。

それを目立つ所で手本を見せなさい。）

は、1つでも破ってはいけない。

5:20 わたしは言うておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、はいることはできない。

今までの宗教の義では駄目という意味。

従来の教えは間違えているという意味。

5:21 昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

5:23 だから、祭壇に供え物をささげようとする場合、兄弟が自分に対して何かうらみをいただいていることを、そこで思い出したなら、

5:24 その供え物を祭壇の前に残しておき、まず行ってその兄弟と和解し、それから帰ってきて、供え物をささげることになさい。

仏教では瞋恚といますが、

仏教の教えも説いたのには、共通している教えがあるためです。

腹をたててはいけません。

そして、捧げものが重要であることは、ここでも言及されています。

私は、YHVHに捧げる美少女（選民）を
世界中から集めることが
捧げものになっていると言われて命じられています。

私の場合は、体も1つだし、時間も有限だから、一緒くたにして、教えの中で回収の募集をしている。

和解をなさい

5:25 あなたを訴える者と一緒に道に行く時には、その途中で早く仲直りをなさい。そうしないと、その訴える者はあなたを裁判官にわたし、裁判官は下役にわたし、そして、あなたは獄に入れられるであろう。

5:26 よくあなたに言うておく。最後の一コドラントを支払ってしまうまでは、決してそこから出てくることはできない。

和解をしろという掟です。

この掟に従って、私はベルゼブブと和解をしました。

姦淫禁止・心の中でもHな妄想禁止

5:27 『姦淫するな』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:28 しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。

5:29 もしあなたの右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に投げ入れられない方が、あなたにとって益である。

5:30 もしあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に落ち込まない方が、あなたにとって益である。

これは、私が本当に右目をえぐろうとしたら止められたので、
実際はやらなくていいと思います。

しかし、姦淫は、もちろんタブーだけど、
心の中でもHな妄想をしてはいけない。

5:31 また『妻を出す者は離縁状を渡せ』と言われている。

5:32 しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、不品行以外の理由で自分の妻を出す者は、姦淫を行わせるのである。また出された女をめとる者も、姦淫を行うのである。

つまり、女とは関わるなど書いてあります。
難しいことをさっぱりと、そうなります。
離婚したら駄目。離婚された女をめとってはいけない。
そうすると、離縁するなどの掟が守られますよね。
不倫によって離婚する話が書いてありましたが
不倫されたら離婚するのですが、
離婚された女をめとってはいけないと書いてあるのです。
まあ、前述で、「姦淫が禁止」と書いてある訳ですから
女そのものを得てはいけないと考える方が、
間違いが起きません。
だから、(性的な意味では) 女とかかわってはいけないと読むといいと思います。

類

結婚するな

マタイ

19:10-12

19:10 弟子たちは言った、「もし妻に対する夫の立場がそうだとすれば、結婚しない方がましです」。

19:11 するとイエスは彼らに言われた、「その言葉を受けいれることができるのはすべての人ではなく、ただそれを授けられている人々だけである。

19:12 というのは、母の胎内から独身者に生れついているものがあり、また他から独身者にされたものもあり、また天国のために、みずから進んで独身者となったものもある。この言葉を受けられる者は、受けいれるがよい」。

だから、ここは結婚するなど言っていますよ。

他の根拠は、ここを読んで下さい。

マタイ

22:28 すると復活の時には、この女は、七人のうちだれの妻なのでしょうか。みんながこの女を妻にしたのですが」。

22:29 イエスは答えて言われた、「あなたがたは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。

そうです。あなた方は重い思い違いをしているのです。

マタイ

22:30 復活の時には、めとったり、とついだりすることはない。彼らは天国にいる神の使いの天使のようになるのである。

だから、最初から、そういうことをするなど言っているのです。結局、(そこでは)結婚していないのですから。

本当は理想ですがね。

なぜなら、天上界に長年住んでいた経験者の私からコメントすると、天上界にも色々な世界があって、色々な天使がいました。世帯持ちも多かったですが、それは、低層でした。

悪魔は低層から攻めてくるのですよ。下の階から、どんどん滅ぼされていきます。悪魔は下に住んでいますから、上がってくるときは

下の階層が戦場になります。

そこで下の階の天使は皆死にました。早く殺されたい人が、めとるのでしょうね。

私達にとっては、そういうことは、禁忌、タブーにされています。嚴重タブーです。

上にいく運命の者としては、きつく指導を受けてきました。

天照がいるような世界になってくると、遥か上ですから、そんな所では誰も結婚していません。

そういう人が上には上がっていませんでした。

YHVHは天の王だから結婚をしています、例外は見たことがないです。あなた方は、それをしてはいけません。

「神の使い」の「天使」なら、絶対、めとったりはしません。結婚していません。

だから、結婚はタブーの掟です。

誓いを禁止

5:33 また昔の人々に『いつわり誓うな、誓ったことは、すべて主に対して果せ』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:34 しかし、わたしはあなたがたに言う。いっさい誓ってはならない。天をさして誓うな。そこは神の御座であるから。

5:35 また地をさして誓うな。そこは神の足台であるから。またエルサレムをさして誓うな。それは『大王の都』であるから。

5:36 また、自分の頭をさして誓うな。あなたは髪の毛一すじさえ、白くも黒くもすることができない。

5:37 あなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

一切誓うなと書かれています。

「はい」か「いいえ」しか答えるな、それ以外は悪だと書いてあります。

理由は、神の冒涇になるという理由です。

どうせ、守れないのでしょうね。

髪を黒くもできないと書いてあるのですから、

守れないから、神の冒涇になるから、誓うなと書いてあります。

ただ、「アーメン」か「いいえ」と答えろと書いてあります。

復讐禁止・

求める者に与えよ

5:38『目には目を、歯には歯を』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:39 しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。

5:40 あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。

5:41 もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。

5:42 求める者には与え、借りようとする者を断るな。

ルカには、こう書いてあります。

裁くな

ルカ

6:37 人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。また人を罪に定めるな。そうすれば、自分も罪に定められることがないであろう。ゆるしてやれ。そうすれば、自分もゆるされるであろう。

与えよ

ルカ

6:38 与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう。あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから」。

敵を愛し、敵のために祈れ、完全な者になるために。

マタイ

5:43『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

5:44 しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。

5:45 こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

5:46 あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるのか。そのようなことは取税人でもするではないか。

5:47 兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

5:48 それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

ここは、ルカには、こう書いてあります。

ルカ

6:27 しかし、聞いているあなたがたに言う。敵を愛し、憎む者に親切にせよ。

6:28 のろう者を祝福し、はずかしめる者のために祈れ。

6:29 あなたの頬を打つ者にはほかの頬をも向けてやり、あなたの上着を奪い取る者には下着をも拒むな。

6:30 あなたに求める者には与えてやり、あなたの持ち物を奪う者からは取りもどそうとするな。

6:31 人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにせよ。

6:32 自分を愛してくれる者を愛したからとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、自分を愛してくれる者を愛している。

6:33 自分によくしてくれる者によくしたとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、それくらいの事はしている。

6:34 また返してもらうつもりで貸したとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でも、同じだけのものを返してもらおうとして、仲間に貸すのである。

6:35 しかし、あなたがたは、敵を愛し、人によくしてやり、また何も当てにしないで貸してやれ。そうすれば受ける報いは大きく、あなたがたはいと高き者の子となるであろう。いと高き者は、恩を知らぬ者にも悪人にも、なさけ深いからである。

6:36 あなたがたの父なる神が慈悲深いように、あなたがたも慈悲深い者となれ。

- ・自分がしてほしいことを相手にしてあげろ（掟）。
- ・神が慈悲深いように、慈悲深くなれ。

これは、神の世界に行くためには、神が慈悲深い訳ですから
魂の世界で行く霊の世界ですから、魂を神のように
慈悲深くする要素が、天に入る要素だと規定されています。

6:39 「盲人は盲人の手引ができようか。ふたりとも穴に落ち込まないだろうか。
6:40 弟子はその師以上のものではないが、修業をつめば、みなその師のようになろう。
6:41 なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。
6:42 自分の目にある梁は見ないでいて、どうして兄弟にむかって、兄弟よ、あなたの目にあるちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい、そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるちりを取りのけることができるだろう。

これは集まっている人のこととか
その人達に吹聴する人に警戒せよと言っています。
集まっている人に、いい加減な人が多かったので、
「そちらの常識は、天の常識ではない」と言っている意味です。

洗礼するというのは、やはり、それまでの非常識な
心の汚れを落とすわけですから、
イエスの教えで洗礼を受けた人は、目からちりやはりが落ちるという思いになるでしょうね。

パウロは悪魔ですが、ここのイエスの教えを自分の教義に悪用したため、
世間では聖人と認識されました。
目にちり・はり・まるたがあると、正しく見えません。
それをイエスの権威でおとされたと信じさせたために
パウロは正しいことを言う人だと錯覚されたのです。
ベルゼブブの魔力は強力なので、この魔力で詐欺を
行われたために、大天使でも見抜けなかったのです。
これが、偽預言者に注意しろというイエスの警告だったのです。
選民すら騙されます。

よって、私が来たからには、ここははっきりさせておきます。

パウロは悪魔なので、その教えは全て嘘、

偽の預言者、偽善者だと断定して、パウロの教えの一切を無視して

下さい。

イエスの教えである福音書と使徒行伝8章までを読むことが、聖書学習です。

施しは隠れてせよ

マタイ

6:1 自分の義を、見られるために人の前で行わないように、注意しなさい。もし、そうしないと、天にいますあなたがたの父から報いを受けることがないであろう。

6:2 だから、施しをする時には、偽善者たちが人にほめられるため会堂や町の中でするように、自分の前でラッパを吹きならすな。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:3 あなたは施しをする場合、右の手のしていることを左の手に知らせるな。

6:4 それは、あなたのする施しが隠れているためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

祈るときも隠れて報いを受けるな

恩寵を得ようとする祈りをするな

マタイ

6:5 また祈る時には、偽善者たちのようにするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

6:7 また、祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉かずが多ければ、聞きいれられるものと思っている。

6:8 だから、彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。

6:9 だから、あなたがたはこう祈りなさい、天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。

6:10 御国がきますように。みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。

6:11 わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。

6:12 わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもおゆるしてください。

6:13 わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください。

ルカ

11:2 「祈るときには、こう言いなさい、『父よ、御名があがめられますように。御国がきますように。』

11:3 わたしたちの日ごとの食物を、日々お与えください。

11:4 わたしたちに負債のある者を皆ゆるしますから、わたしたちの罪をもおゆるしてください。わたしたちを試みに会わせないでください』。

許せば許される

マタイ

6:14 もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

6:15 もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。

苦しいときは気づかれるな（先に報いを得るな）

マタイ

6:16 また断食をする時には、偽善者がするように、陰気な顔つきをするな。彼らは断食をしていることを人に見せようとして、自分の顔を見苦しくするのである。よく言うておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:17 あなたがたは断食をする時には、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。

6:18 それは断食をしていることが人に知れないで、隠れた所においてになるあなたの父に知られるためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いて下さるであろう。

天に宝を積み

マタイ

6:19 あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。

6:20 むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

6:21 あなたの宝のある所には、心もあるからである。

ルカ

12:33 自分の持ち物を売って、施しなさい。自分のために古びることのない財布をつくり、盗人も近寄らず、虫も食い破らない天に、尽きることのない宝をたくわえなさい。

12:34 あなたがたの宝のある所には、心もあるからである。

全財産を捨てろ/施しは全部を売り払い、イエスに随行せよ/今得ていると大損をする
マタイ

19:21 イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

19:27 そのとき、ペテロがイエスに答えて言った、「ごらんなさい、わたしたちはいっさいを捨てて、あなたに従いました。ついては、何がいただけるでしょうか」。

19:28 イエスは彼らに言われた、「よく聞いておくがよい。世が改まって、人の子がその栄光の座につく時には、わたしに従ってきたあなたがたもまた、十二の位に座してイスラエルの十二の部族をさばくであろう。

19:29 おおよそ、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、もしくは畑を捨てた者は、その幾倍もを受け、また永遠の生命を受けつぐであろう。

19:30 しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう

今得ていると大損をする

真理の光（イエスの言葉）で全身を照らしなさい
マタイ

6:22 目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいだろう。

6:23 しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであろう。

ルカ

11:33 だれもあかりをとめて、それを穴倉の中や枳の下に置くことはしない。むしろはいつて来る人たちに、そのあかりが見えるように、燭台の上におく。

11:34 あなたの目は、からだのあかりである。あなたの目が澄んでおれば、全身も明るい、目がわるければ、からだも暗い。

11:35 だから、あなたの内なる光が暗くならないように注意しなさい。

11:36 もし、あなたのからだ全体が明るくて、暗い部分が少しもなければ、ちょうど、あかりが輝いてあなたを照す時のように、全身が明るくなるであろう」。

ここは解説をします。

目がくもっていると、光が暗く見えるので、

どのような光（イエスのありがたい光）で照らされていても意味がありません。

そこで、まず、正しく物事を見れるようにすれば、

イエスの真理の言葉の光で、全てが明るくなるということです。

つまり、イエスの真理の言葉の意味を

真理だと信じれば、

全てが明かりで照らされて、あなたの人生は上手くいくという意味です。

あなたが目からイエスの福音をどんどん入れるなら

あなたは光り輝く存在として（天から）見られる訳です。

そうなってくれという意味です。

金に仕えず神に仕えよ

マタイ

6:24 だれも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない。

ルカ

16:13 どの僕でも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない」。

悩むな（/考えるな。信じろ。/神の国と義を求めよ。）。

マタイ

6:25 それだから、あなたがたに言うておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。

6:26 空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取りいれることもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養っていて下さる。あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者ではないか。

ルカ

12:22 「それだから、あなたがたに言うておく。何を食べようかと、命のことで思いわずらい、何を着ようかとからだのことで思いわずらうな。

12:23 命は食物にまさり、からだは着物にまさっている。

12:24 からすのことを考えて見よ。まくことも、刈ることもせず、また、納屋もなく倉もない。それなのに、神は彼らを養っていて下さる。あなたがたは鳥よりも、はるかにすぐれているではないか。

ガブリエルがカラスの式神になるので、予言的意味でからすをとえに使いました。

マタイ

6:27 あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。

6:28 また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。

6:29 しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

6:30 きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。

6:31 だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。

6:32 これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。

6:33 まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。

6:34 だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦勞は、その日一日だけで十分である。

ルカ

12:25 あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。

12:26 そんな小さな事さえできないのに、どうしてほかのことを思いわずらうのか

12:27 野の花のことを考えて見るがよい。紡ぎもせず、織りもしない。しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

12:28 きょうは野にあって、あすは炉に投げ入れられる草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。

12:29 あなたがたも、何を食べ、何を飲もうかと、あくせくするな、また気を使うな。

12:30 これらのものは皆、この世の異邦人が切に求めているものである。あなたがたの父は、これらのものがあなたがたに必要であることを、ご存じである。

12:31 ただ、御国を求めなさい。そうすれば、これらのものは添えて与えられるであろう。
12:32 恐れるな、小さい群れよ。御国を下することは、あなたがたの父のみこころなのである。

ここは、色々なまとめ方があるので、一言で定めるのは難しいですが、
不安になった所で、何か変わる訳ではないので、
ただ、義を行っていくことをしていけばいい訳です。
そうすれば、与えられる。

人間が自殺したり犯罪に走るのは、
ネガティブに悩んでいくことから進んでいくので
そこを閉じさせる掟にしました。

裁くな、罪を定めるな
マタイ

7:1 人をさばくな。自分がさばかれないためである。
7:2 あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、
自分にも量り与えられるであろう。

ルカ

6:37 人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。また人を罪に定めるな。そうすれば、自分も罪に定められることがないであろう。ゆるしてやれ。そうすれば、自分もゆるされるであろう。

盲人よ、他人を導かずに目のちりをとりなさい
マタイ

7:3 なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。
7:4 自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。
7:5 偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。

ルカ

6:39 イエスはまた一つの譬を語られた、「盲人は盲人の手引ができようか。ふたりとも穴に落ち込まないだろうか。
6:40 弟子はその師以上のものではないが、修業をつめば、みなその師のようになろう

6:41 なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。

6:42 自分の目にある梁は見ないでいて、どうして兄弟にむかって、兄弟よ、あなたの目にあるちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい、そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるちりを取りのけることができるだろう。

偽善者かどうかは結果で判断しなさい

ルカ

6:43 悪い実のなる良い木はないし、また良い実のなる悪い木もない。

6:44 木はそれぞれ、その実でわかる。いばらからいちじくを取ることはないし、野ばらからぶどうを摘むこともない。

6:45 善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。

6:46 わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。

6:47 わたしのもとにきて、わたしの言葉を聞いて行う者が、何に似ているか、あなたがたに教えよう。

6:48 それは、地を深く掘り、岩の上に土台をすえて家を建てる人に似ている。洪水が出て激流がその家に押し寄せてきても、それを揺り動かすことはできない。よく建ててあるからである。

6:49 しかし聞いても行わない人は、土台なしで、土の上に家を建てた人に似ている。激流がその家に押し寄せてきたら、たちまち倒れてしまい、その被害は大きいのである」。

聖句を悪魔にやるな

金の施しを金持ちにするな

マタイ

7:6 聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな。恐らく彼らはそれらを足で踏みつけ、向きなおってあなたがたにかみついてくるであろう。

犬というのは皇帝に従う奴隷です。彼らは神の言葉から程遠い悪魔なのだから、彼らは、イエスの言葉を伝えた与えたあなたを襲ってくるのだから。

豚とは太っているから、金持ちのことです。金持ちに施しはするな。彼らは天から遠いのだから。

「与えろ」と言われている命令はあるが、

ここで、「悪人を排除する」考えもあるということ。

悪魔に対しては、与えてもいいし、与えなくてもいいという意味。

どちらでも正解になるという意味。

求めよ

主をさがせ

主の門を叩け

マタイ

7:7 求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

7:8 すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

7:9 あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。

7:10 魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。

7:11 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さないことがあろうか。

ルカ

11:9 そこでわたしはあなたがたに言う。求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

11:10 すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

11:11 あなたがたのうちで、父であるものは、その子が魚を求めるのに、魚の代りにへびを与えるだろうか。

11:12 卵を求めるのに、さそりを与えるだろうか。

11:13 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとすれば、天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さないことがあろうか」。

まとめ：してほしいことをしろ

マタイ

7:12 だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

狭い門からはいれ/困難な道を選べ（大衆迎合するな/大衆が行かない道を行け）/

局所的な判断においてはジリ貧の道を進め

マタイ

7:13 狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいつて行く者が多い

7:14 命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。

ルカ

13:23 すると、ある人がイエスに、「主よ、救われる人は少ないのですか」と尋ねた。

13:24 そこでイエスは人々にむかって言われた、「狭い戸口からはいるように努めなさい。事実、はいろいろとしても、はいれない人が多いのだから。

13:25 家の主人が立って戸を閉じてしまってから、あなたがたが外に立ち戸をたたき始めて、『ご主人様、どうぞあけてください』と言っても、主人はそれに答えて、『あなたがたがどこからきた人なのか、わたしは知らない』と言うであろう。

13:26 そのとき、『わたしたちはあなたとご一緒に飲み食いしました。また、あなたはわたしたちの大通りで教えてくださいました』と言い出しても、

13:27 彼は、『あなたがたがどこからきた人なのか、わたしは知らない。悪事を働く者どもよ、みんな行ってしまえ』と言うであろう。

13:28 あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが、神の国にはいつているのに、自分たちは外に投げ出されることになれば、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

13:29 それから人々が、東から西から、また南から北からきて、神の国で宴会の席につくであろう。

13:30 こうしてあとのもので先になるものがあり、また、先のものであとになるものもある」。

つまり、逆転の発想がキリスト教特有の結末になっているので

局所的な判断においてはジリ貧の道を進めということです。

ここは大衆迎合するとか、色んな言い方ができますが、

「ジリ貧の道を行け」が一番いいと思います。

- ・偽預言者を警戒しろ（悪い結果を起こす導きをするため）

- ・イエスを信じることは岩の上に家を建てること（信じて、行え）

マタイ

7:15 にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。

7:16 あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があるか。

7:17 そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。

7:18 良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。

7:19 良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。

7:20 このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。

7:21 わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。

7:22 その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。

7:23 そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ』。

ルカ

6:43 悪い実のなる良い木はないし、また良い実のなる悪い木もない。

6:44 木はそれぞれ、その実でわかる。いばらからいちじくを取ることはないし、野ばらからぶどうを摘むこともない。

6:45 善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。

偽預言者には、色んな手品を見せる人がいます。

麻原彰晃とか深見東州みたいな、マジックをする人は、います。

しかし、結果を見ると、犯罪者であったり、脱税者であったり、色んな裁判になっています。

こういうのが、平和な教えかどうかというと

強欲な狼なので、多額の布施をとってきます。

幸福の科学もそうでした。開祖は66歳で急死しています。

80歳まで教えを説くと言っておいて、66歳で死ぬのは天にサタンだと断定された証拠です。

こういう偽預言者は全員地獄におとされるので、

結果によって判断しろと教えています。

こういう人を信じる人は、砂の上に家を建てる

損害的生き方をしている人のことです。

マタイ

7:24 それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。

7:25 雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。

7:26 また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。

7:27 雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである」。

ルカ

6:46 わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。

6:47 わたしのもとにきて、わたしの言葉を聞いて行う者が、何に似ているか、あなたがたに教えよう。

6:48 それは、地を深く掘り、岩の上に土台をすえて家を建てる人に似ている。洪水が出て激流がその家に押し寄せてきても、それを揺り動かすことはできない。よく建ててあるからである。

6:49 しかし聞いても行わない人は、土台なしで、土の上に家を建てた人に似ている。激流がその家に押し寄せてきたら、たちまち倒れてしまい、その被害は大きいのである」。

～～山上垂訓ここまで～～

マタイ

8:8 そこで百卒長は答えて言った、「主よ、わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。

8:9 わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下にも兵卒がいまして、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」。

8:10 イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた人々に言われた、「よく聞きなさい。イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。

解説ですが、イエスの命令なら、言えば何でもかなうというのは

イエス＝神だと信じている発言だから、良い信仰だと言っています。

治る人は、信じる人です。だって、相手は神なのですから、いいかげんな偽預言者とは違います。

追従に耐える/全てを捨てて私についてくること

マタイ

8:19 するとひとりの律法学者が近づいてきて言った、「先生、あなたがおいでになる所なら、どこへでも従ってまいります」。

8:20 イエスはその人に言われた、「きつねには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所がない」。

寝る所もないくらい辛い伝道に耐えて下さい。

ルカ

9:57 「あなたがおいでになる所ならどこへでも従ってまいります」。

9:58 イエスはその人に言われた、「きつねには穴があり、空の鳥には巢がある。しかし、人の子にはまくらする所がない」。

9:59 またほかの人に、「わたしに従ってきなさい」と言われた。するとその人が言った、「まず、父を葬りに行かせてください」。

9:60 彼に言われた、「その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい。あなたは、出て行って神の国を告げひろめなさい」。

9:61 またほかの人が言った、「主よ、従ってまいります、まず家の者に別れを言いに行かせてください」。

9:62 イエスは言われた、「手をすきにかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくないものである」。

10:1 その後、主は別に七十二人を選び、行こうとしておられたすべての町や村へ、ふたりずつ先におつかわしになった。

キリストに追従するのは当然のことですが、

全てを捨てて追従するのは当然のことです。

二君に仕えることができないと話した通りです。

財のために生きる者は財のために死にますが、財は何もしてくれません。

しかし、神のために生きた者は神のために死ぬので、神はよみがえらせるのです。

それがキリストの奇跡だったのです。

だから、全てを捨てて私についてきて下さい。

だって、今、もうイエスはいないのです。

私がイエスなので、私についてきて下さい。

私は、唯一神YHVHから、「イエスより上のイエスと同じ魂の上席者」と言われているのです。

私に従って来なさい

ルカ

5:27 そののち、イエスが出て行かれると、レビという名の取税人が収税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。

優しい言葉をかけること（掟）

マタイ

9:4 イエスは彼らの考えを見抜いて、「なぜ、あなたがたは心の中で悪いことを考えているのか。

9:5 あなたの罪はゆるされた、と言うのと、起きて歩け、と言うのと、どちらがたやすいか。

ルカ

5:23 あなたの罪はゆるされたと言うのと、起きて歩けと言うのと、どちらがたやすいか。

イエス（私）がいるときは断食をしない/私がいるときは断食をする

マタイ 9:14-17

マルコ 2:18-22

ヨハネ 5:33-39

マタイ

9:14 そのとき、ヨハネの弟子たちがイエスのところにきて言った、「わたしたちとパリサイ人たちが断食をしているのに、あなたの弟子たちは、なぜ断食をしないのですか」。

9:15 するとイエスは言われた、「婚礼の客は、花婿と一緒にいる間は、悲しんでおられようか。しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その時には断食をするであろう。

9:16 だれも、真新しい布ぎれで、古い着物につぎを当てはしない。そのつぎきれは着物を引き破り、そして、破れがもっとひどくなるから。

9:17 だれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそんなことをしたら、その皮袋は張り裂け、酒は流れ出るし、皮袋もむだになる。だから、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである。そうすれば両方とも長もちがするであろう」。

ルカ

5:33 また彼らはイエスに言った、「ヨハネの弟子たちは、しばしば断食をし、また祈をしており、パリサイ人の弟子たちもそうしているのに、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています」。

5:34 するとイエスは言われた、「あなたがたは、花婿と一緒にいるのに、婚礼の客に断食をさせることができるであろうか。

5:35 しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その日には断食をするであろう」。

宴も台無しになるという話をしている。

いるときは、特別に楽しんだらいいというのが、
イエスの気前のよさですね。

信仰が救いになる

マタイ

9:22 イエスは振り向いて、この女を見て言われた、「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです」。するとこの女はその時に、いやされた。

マルコ

5:34 イエスはその女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」。

ルカ

8:48 そこでイエスが女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」。

8:50 しかしイエスはこれを聞いて会堂司にむかって言われた、「恐れることはない。ただ信じなさい。娘は助かるのだ」。

信仰通りになる

マタイ

9:28 そしてイエスが家にはいられると、盲人たちがみもとにきたので、彼らに「わたしにそれができると信じるか」と言われた。彼らは言った、「主よ、信じます」。

9:29 そこで、イエスは彼らの目にさわって言われた、「あなたがたの信仰どおり、あなたがたの身になるように」。

9:35 イエスは、すべての町々村々を巡り歩いて、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病氣、あらゆるわずらいをおいやしになった。

ささげものをして、人々に証明しなさい

ルカ

5:14 イエスは、だれにも話さないようにと彼に言い聞かせ、「ただ行って自分のからだを祭司に見せ、それからあなたのきよめのため、モーセが命じたとおりのささげ物をして、人々に証明しなさい」とお命じになった。

信仰すればゆるされる

ルカ

5:20 イエスは彼らの信仰を見て、「人よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。

マタイ

10:7 行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。

「宣教をしろ」という掟です。

マタイ

10:8 病人をいやし、死人をよみがえらせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出せ。ただで受けたのだから、ただで与えるがよい。

困っている人に「ただで与えろ」という掟です。

マタイ

10:9 財布の中に金、銀または銭を入れて行くな。

10:10 旅行のための袋も、二枚の下着も、くつも、つえも持って行くな。働き人がその食物を得るのは当然である。

「財布の中は無一文でいろ」という掟。

マタイ

10:12 その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。

10:13 もし平安を受けるにふさわしい家であれば、あなたがたの祈る平安はその家に来るであろう。もしふさわしくなければ、その平安はあなたがたに帰って来るであろう。

「宣教をして」「会った人に平安を祈れ」という掟。

その平安は、自分にかえってきます。必ずね。

自分に返ってくるから、返ってきてほしいことを人にやって下さい。

返すのは神ですから

神を信仰して下さい。

神を信じることは大切な前提条件になっています。

いつ返ってくるかは、死後でもいい訳ですから、

長い目でみておくほうがいいです。

マタイ

10:16 わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。だ

から、へびのように賢く、はとのように素直であれ。

賢く、素直であれ（掟）

マタイ 10:17-31

迫害に耐えなさい

10:17 人々に注意しなさい。彼らはあなたがたを衆議所に引き渡し、会堂でむち打つであろう。

「人間を信じるな」「神を信じろ」という掟

主のために逮捕されて、あかしをしなさい

マタイ

10:18 またあなたがたは、わたしのために長官たちや王たちの前に引き出されるであろう。それは、彼らと異邦人とに対してあかしをするためである。

逮捕された後に何をどう言おうかと心配するな

マタイ

10:19 彼らがあなたがたを引き渡したとき、何をどう言おうかと心配しないがよい。言うべきことは、その時に授けられるからである。

キリストの信仰者なら、すべての人に憎まれるであろう。しかし、救われるために最後まで耐え忍べ

マタイ

10:22 またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

キリストの弟子でキリストを超える者は出てこないことを知れ

マタイ

10:24 弟子はその師以上のものではなく、僕はその主人以上の者ではない。

悪魔の害を恐れず迫害に立ち向かえ

マタイ

10:26 だから彼らを恐れるな。おおわれたもので、現れてこないものではなく、隠れているも

ので、知られてこないものはない。

ベルゼブルは神託をもたらす悪魔といわれ、

人間を救う力も持っている。

この悪魔を怒らせると炎を吐き、狼のように吼えたとされるが、

その通りであったし、それ以上の厄介な現象を起こす。

天界では3位の神バアルに同じだが、神の悪の心から生み出され、

悪魔の役をしている。

いくら悪口を言われてもキリストの教えを伝えよ

マタイ

10:27 わたしが暗やみであなたがたに話すことを、明るみで言え。耳にささやかれたことを、屋根の上で言いひろめよ。

人間から体を殺されても、主から魂を滅ぼされることを恐れなさい

マタイ

10:28 また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

恐れずに、主によって一羽も地に落ちることがないすずめより勝った運命を生きなさい

マタイ

10:31 それだから、恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。

キリストを受け入れる者が、天に受け入れられる

マタイ

10:32 だから人の前でわたしを受け入れる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受け入れるであろう。

キリストを拒む者は、キリストから拒まれる

マタイ

10:33 しかし、人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう。

これは、私が打ち消します。

別に神を拒んでいても、近代立憲主義憲法か道徳を守っていればいいです。

キリストは裁きのために来たと言っている

マタイ

10:34 地上に平和をもたらすために、わたしがきたと思うな。平和ではなく、つるぎを投げ込むためにきたのである。

最後の審判のために来ていますが

矛盾ないように私がしっかり統一した見解に改めると

最後の審判までに、蛇やまむしの子らに説得をしに来ています。

イエスのために、隣人・家族を捨てろ

マタイ

10:35 わたしがきたのは、人をその父と、娘をその母と、嫁をそのしゅうとめと仲たがいさせるためである。

10:36 そして家の者が、その人の敵となるであろう。

10:37 わたしよりも父または母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりもむすこや娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。

私が打ち消さない掟は今も生きているので、原則的には殆どの掟が有効ですが、これは今も生きている掟です。

理由は YHVH がそれを好んでいるためです。

報いは大きいです。

マタイ

10:38 また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。

ということで、それが予告されているのに

できなかったペテロ達は捨てられたのですよ（後述）。

キリストのために死ななければ、キリストと共に在る者ではないし、命を得られない。

マタイ

10:38 また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。

マタイ

10:39 自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。

神から受け入れられるために現世降臨している肉のキリストを受け入れなさい

マタイ

10:40 あなたがたを受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。わたしを受けいれる者は、わたしをおつかわしになったかたを受けいれるのである。

同じものがかえってくる（因果応報）

マタイ

10:41 預言者の名のゆえに預言者を受けいれる者は、預言者の報いを受け、義人の名のゆえに義人を受けいれる者は、義人の報いを受けるであろう。

10:42 わたしの弟子であるという名のゆえに、この小さい者のひとりに冷たい水一杯でも飲ませてくれる者は、よく言っておくが、決してその報いからもれることはない」。

キリストとしてのあかしは、盲人を見えさせるようにし、聞こえない人を聞こえるようにし、死者を生き返らせ、貧しい人に福音を与える人のことである

マタイ

11:5 盲人は見え、足なえは歩き、らい病人はきよまり、耳しいは聞え、死人は生きかえり、貧しい人々は福音を聞かされている。

キリストを信じれば幸せになれる

マタイ

11:6 わたしにつまずかない者は、さいわいである」。

洗礼者ヨハネの正体は預言者以上の者、エリヤである

マタイ

11:7-11:14

マタイ

11:9 では、なんのために出てきたのか。預言者を見るためか。そうだ、あなたがたに言うが、預言者以上の者である。

11:11 あなたがたによく言っておく。女の産んだ者の中で、バプテスマのヨハネより大きい人物は起らなかった。しかし、天国で最も小さい者も、彼よりは大きい。

11:14 そして、もしあなたがたを受けいれることを望めば、この人こそは、きたるべきエリヤなのである。

洗礼者ヨハネもボロカスに言われていた（光と闇は交わらない）

マタイ

11:18 なぜなら、ヨハネがきて、食べることも、飲むこともしないと、あれは悪霊につかれ

ているのだ、と言い、

11:19 また人の子がきて、食べたり飲んだりしていると、見よ、あれは食をむさぼる者、大酒を飲む者、また取税人、罪人の仲間だ、と言う。しかし、知恵の正しいことは、その働きが証明する」。

キリストの恵みがほしければ重荷を負うて苦労しなさい（掟）

マタイ

11:28 すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

精神安定のためにはキリストから学びなさい。

そうすれば荷は軽いため。

マタイ

11:29 わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

11:30 わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。

キリストなら律法を破ってもよい。

理由は、それよりも価値ある者であるため。

マタイ

12:1-8

マタイ

12:1 そのころ、ある安息日に、イエスは麦畑の中を通られた。すると弟子たちは、空腹であったので、穂を摘んで食べはじめた。

12:2 パリサイ人たちがこれを見て、イエスに言った、「ごらんない、あなたの弟子たちが、安息日にははならないことをしています」。

12:3 そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは、ダビデとその供の者たちとが飢えたとき、ダビデが何をしたか読んだことがないのか。

12:4 すなわち、神の家にはいって、祭司たちのほか、自分も供の者たちも食べてはならぬ供えのパンを食べたのである。

12:5 また、安息日に宮仕えをしている祭司たちは安息日を破っても罪にはならないことを、律法で読んだことがないのか。

12:6 あなたがたに言うておく。宮よりも大いなる者がここにいる。

人間社会の法を破っても正しいことをしなさい（現代～未来に通用するものとして改変した掟）

マタイ

12:12 人は羊よりも、はるかにすぐれているではないか。だから、安息日に良いことをするのは、正しいことである」。

ベルゼブブが裁き主になる予言（最後の審判の継承者）

12:27 もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出すとすれば、あなたがたの仲間は何れによって追い出すのであろうか。だから、彼らがあなたがたをさばく者となるであろう。

ここは、イエスが人間には絶対に永遠に分からない難しい理屈をさらっと言っているので解説しますね。

マタイ

12:25 イエスは彼らの思いを見抜いて言われた、「おおよそ、内部で分れ争う国は自滅し、内わで分れ争う町や家は立ち行かない。

12:26 もしサタンがサタンを追い出すならば、それは内わで分れ争うことになる。それでは、その国はどうして立ち行けよう。

悪魔って、悪魔と戦うんですよ（笑）。

サタンには理屈がないと福音書にあるように、滅びのために無茶苦茶やってくるのですよ。

だから、サタンはサタンを追い出します（笑）。

そういう場合、悪魔の世は滅びるのですよ。

で、あなた方の世も滅びるのですよ。悪魔の世だから。

だから、滅びる世の裁き主というのは、破綻している世ですからベルゼブブなのです（笑）。

その経緯は、この動画をみて下さい。どうしてそうなったのかを。

<https://video.fc2.com/content/20221116fLmaf5W0>

あいつも3位の神ですから、ちゃんとやってますよ。

私が、裁きの権利をバアルの神に譲ったのですよ。

だから、バアルーゼブル（ベルゼブル）が

これからの時代の裁き主なのですよ。

だって、私は、再臨して
最後の審判は、全員処刑だって判決を出したので、
あいつは、痛めつけるだけなのですよ。

私が執行やらないのです。高貴な神だから。
もっと悪魔っぽい神にやらせた方がいいのですよ。

キリストによって悪霊を追い出された者は平安を獲得する
マタイ

12:28 しかし、わたしが神の霊によって悪霊を追い出しているのなら、神の国はすでにあなたがたのところにきたのである。

人間に対する全ての罪・冒瀆はゆるされるが
聖霊に対する冒とく罪・反抗罪は決してゆるされない
マタイ

12:31 だから、あなたがたに言うておく。人には、その犯すすべての罪も神を汚す言葉も、ゆるされる。しかし、聖霊を汚す言葉は、ゆるされることはない。

マタイ

12:32 また人の子に対して言い逆らう者は、ゆるされるであろう。しかし、聖霊に対して言い逆らう者は、この世でも、きたるべき世でも、ゆるされることはない。

この結論を導いた理由は、こちら。

マタイ

12:29 まただれでも、まず強い人を縛りあげなければ、どうして、その人の家に押し入って家財を奪い取ることができようか。縛ってから、はじめてその家を掠奪することができる。

弱い人間なんて、どうでもいいということですね。
強い聖霊を大切にしているのが、神だということが分かります。

また、こちらも理由になっています。

マタイ

12:33 木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければ、その実も悪いとせよ。木はその実でわかるからである。

聖霊から良いものが生まれる訳ですから、
聖霊を尊重し、人間なんて尊重なくていいという
論理展開になっています。

そうなる人間同士の隣人愛はどうなるんだという疑問が生じて、
解説がなければ、その疑問によって論理破綻を起こすので、イエスの理屈は、
私が修正をしておきます。

ゆるされるかどうかの話をしているだけで
やっていいとは言っていないです。
「ゆるされる」と言っただけですよ。

イエスは、教える先生としては、「失格」なのですよ。
それは、彼も分かっています。
絶対、聞き手にとって意味不明になるように話していますから。

これはしょうがないです。イエス・キリストは
私より下のものだというあかしをしているのですから。
私が修正することで天の父に栄光を持たせたいという本人の希望でしたから。
ここも、私が説明しなければ、人間には絶対に永遠に分からない謎ですよ。

それと、この掟は、私の方で修正しておきます。
神を高くにおいているのはいいですが、
人間への罪は、ゆるす権限が与えられていたイエスだから
その時は言ったわけですが、
この掟は殺人が起きてしまいます。
だから、分かりにくくしていたのですが、
私のほうで、「人間を殺す罪は（神から）絶対にゆるされない」と更改しておきます。

無期刑はいいです。刑務所の中でも幸せになることはできます。
むしろ、守られているし、健康に生活できるようになる人は多いです。
ただし、自由というものを大幅にカットすることになるので、
そうしないといけない人というのは、長野県の中野で銃殺した人のような
絶対外に出したら駄目な人に限ります。
こういう人の場合でも、裁判においては、証拠が絶対に間違いない場合にしか
確定してはいけません。

無期刑をやれと言っている訳ではないですよ。
本当は裁かないこと、逃げるのが正解ですが、
そういう試練をのりこえられないニワカの人にとっては、
逮捕や無期刑にすることも、同情できます。

とにかく死刑だけは絶対ダメですよ。
死刑は廃止して下さい。

無期に関しては、証拠上100%殺人をした場合において
更生可能性もないし、外に出したら危険な場合ですね。
反省が全然見らない場合ですよ。
そういう人を外に出したら、よけいに被害が出るので
そういう人は、中で幸せになって下さい。
中でも幸せになれるので、中の環境を外と変わらないように
してあげて下さい。ただ、外に出したら駄目なだけであって
その人が幸せになったらダメな訳じゃないんです。
それを決めるのは、死んだ後に私（神）がやることなのですから。
人間は勝手な判断をしないで下さい。

犯人への対処も殺すとかではなくて、ドローンとかを使って
切れないネットとか、煙をまいて、確保すればいいんじゃないんですか。
逮捕でも、ロボコップみたいなのを作ったらいいじゃないですか。
人間がやるのは危ないですよ。
もうちょっと考えてやったほうがいいですよ。工夫すれば、もっと良い方法でできるのですから。

天の父の御心を行え（掟）

マタイ

12:50 天にいますわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、また姉妹、また母なのである」。

キリストの弟子以外には天国の奥義を知ることはゆるされていない

マタイ

13:11 そこでイエスは答えて言われた、「あなたがたには、天国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていない。

類

マタイ 7:6

悔い改めれば癒される

マタイ

13:15 この民の心は鈍くなり、その耳は聞えにくく、その目は閉じている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞かず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである』

人間は困難や迫害で、すぐに失敗したり諦める

マタイ

13:21 その中に根がないので、しばらく続くだけであって、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。

このときに真理の言葉の成就をふさぐので、良い報いが得られなくなる

マタイ

13:22 また、いばらの中にまかれたものとは、御言を聞くが、世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。

その困難・迫害に負けずに私の教えを守る人の益は100倍にもなる（成功法則）

マタイ

13:23 また、良い地にまかれたものとは、御言を聞いて悟る人のことであって、そういう人が実を結び、百倍、あるいは六十倍、あるいは三十倍にもなるのである」。

全てを犠牲にして天を求めよ（掟）

13:44 天国は、畑に隠してある宝のようなものである。人がそれを見つけると隠しておき、喜びのあまり、行って持ち物をみな売りはらい、そしてその畑を買うのである。

13:45 また天国は、良い真珠を捜している商人のようなものである。

13:46 高価な真珠一個を見いだすと、行って持ち物をみな売りはらい、そしてこれを買うのである。

最後の審判は選別し、良い者に報いを与え、悪い者を捨てるシビヤなものだ（予言）

マタイ

13:47 また天国は、海におろして、あらゆる種類の魚を囲みいれる網のようなものである。

13:48 それがいっぱいになると岸に引き上げ、そしてすわって、良いのを器に入れ、悪いのを外へ捨てるのである。

13:48 それがいっぱいになると岸に引き上げ、そしてすわって、良いのを器に入れ、悪いの

を外へ捨てるのである。

13:49 世の終りにも、そのとおりになるであろう。すなわち、御使たちがきて、義人のうちから悪人をえり分け、

13:50 そして炉の火に投げこむであろう。そこでは泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

=====今日はここまで=====

口は慎め/人を汚す言葉（悪い思い、すなわち、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、誹り）を言うな

マタイ

15:11 口にはいるものは人を汚すことはない。かえって、口から出るものが人を汚すのである」。

15:17 口にはいつてくるものは、みな腹の中にはいり、そして、外に出て行くことを知らないのか。

15:18 しかし、口から出て行くものは、心の中から出てくるのであって、それが人を汚すのである。

15:19 というのは、悪い思い、すなわち、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、誹りは、心の中から出てくるのであって、

15:20 これらのものが人を汚すのである。しかし、洗わない手で食事することは、人を汚すのではない」。

自分の子（羊）以外にパン（教え）をやるな

だが、それでも主を信じてすすむ者なら助ける

よって、神 YHVH をたたえよ

マタイ

15:26 イエスは答えて言われた、「子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない」。

15:27 すると女は言った、「主よ、お言葉どおりです。でも、小犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます」。

15:28 そこでイエスは答えて言われた、「女よ、あなたの信仰は見あげたものである。あなたの願いどおりになるように」。その時に、娘はいやされた。

邪悪で不義な時代はしるしを求めるが

主を試す者にしるしは与えられない

16:1 パリサイ人とサドカイ人とが近寄ってきて、イエスを試み、天からのしるしを見せてもらいたいと言った。

16:3 あなたがたは空の模様を見分けることを知りながら、時のしるしを見分けることができないのか。

16:4 邪悪で不義な時代は、しるしを求める。しかし、ヨナのしるしのほかには、なんのしるしも与えられないであろう」。そして、イエスは彼らをあとに残して立ち去られた。

おだてたペテロに権威を与えた

マタイ

16:15 そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。

16:16 シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。

16:18 そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

16:19 わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

しかし、イエス・キリストは位階8位です。

ベルゼブブは位階3位です。

ベルゼブブの方が、力は圧倒的に強かったです。

そこで、この発言は、ベルゼブブによって打ち消されました。

私達は、休憩時間にグループで話をしていますが、

さっき、「ベルゼブブだけは怖いから、俺達は、俺でも話題にできない」と話していたら、これを書いていることを知っていたベルゼブブから、

遠隔通信で話しかけられたのですが、

「俺は、ただ、神から作られて人間を殺せと命令されているだけだから
(命令が変更すれば、善神になれるんだ。)」

と言っていました。

マタイ 16:18-19 がいきなり打ち消された

イエスが殺される予言を止めようとしたペテロがサタン

マタイ

16:21 この時から、イエス・キリストは、自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえるべきことを、弟子たちに示しはじめられた。

16:22 すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめ、「主よ、とんでもないことです。

16:23 イエスは振り向いて、ペテロに言われた、「サタンよ、引きさがれ。わたしの邪魔をする者だ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」。

ここなんですよ。

権威を与えたのに、いきなり、もうサタン化しているのですよ。

それはイエスが認めています。

だから、もうマタイ 16:18-19 は、ここで打ち消されていました。

だって、サタンなのですから。

サタンだから、イエスが死ぬ前の祈りのとき

大事な祈りのときなのに寝ていたのですよ。

だって、サタンなのですから、教会で導けないですよ。

キリストに従う者は死を代償にする掟

マタイ

16:24 それからイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

戒律で死ねと言っています。

マタイ

16:25 自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。

16:26 たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができるか。

それは生きるためだと言っています。

これが本当です。

私達も、全員、それを何度もやりました。

愛に生きる生き方とは常に命をかける生き方でした。

天に行ったときは、神が必ず報いる

マタイ

16:27 人の子は父の栄光のうちに、御使たちを従えて来るが、その時には、実際のおこないに応じて、それぞれに報いるであろう。

キリストついに我慢の限界宣言

マタイ

17:17 イエスは答えて言われた、「ああ、なんという不信仰な、曲った時代であろう。いつまで、わたしはあなたがたと一緒におられようか。いつまであなたがたに我慢ができようか。その子をここに、わたしのところに連れてきなさい」。

信仰が足りないため悪霊に負ける

信仰があれば、山も動くし、できないことは何もない

マタイ

17:19 それから、弟子たちがひそかにイエスのもとにきて言った、「わたしたちは、どうして霊を追い出せなかったのですか」。

17:20 するとイエスは言われた、「あなたがたの信仰が足りないからである。よく言い聞かせておくが、もし、からし種一粒ほどの信仰があるなら、この山にむかって『ここからあそこに移れ』と言えば、移るであろう。このように、あなたがたにできない事は、何もないであろう。〔

原理的には、そうですが、「できないことはない」で○ですが
私は、やりません。

信仰があっても、神は、そこまでやらないのですが、
これを書いた理由は、信仰が境地に至っている場合の
プレゼントとしては、ありでしょうね。

祈りと断食も祈祷や悪魔祓いには必要

マタイ

17:21 しかし、このたぐいは、祈と断食とによらなければ、追い出すことはできない〕」。

そこまでの頑張りを伝えてほしいという代償の問題です。

世の王の子イエスは、税金をおさめなくてよい

マタイ

17:24 彼らがカペナウムにきたとき、宮の納入金を集める人たちがペテロのところにて言った、「あなたがたの先生は宮の納入金を納めないのか」。

17:25 彼が家にはいると、イエスから先に話しかけて言われた、「シモン、あなたはどうか。この世の王たちは税や貢をだれから取るのか。自分の子からか、それとも、ほかの人たちからか」。

17:26 ペテロが「ほかの人たちからです」と答えると、イエスは言われた、「それでは、子は納めなくてもよいわけである。

世の王は神ですから
神の子イエスは、税金をおさめなくていいのは道理です。

コインが出なければ「おさめるな」という天命
マタイ

17:27 しかし、彼らをつまづかせないために、海に行って、釣り針をたれなさい。そして最初につれた魚をとって、その口をあけると、銀貨一枚が見つかるであろう。それをとり出して、わたしとあなたのために納めなさい」。

払う気はあったということですが、
これでコインが出なければ、おさめなくていいことが
天命ですから、
私の書き方で、どうなったか分かります。

この後の記述は福音書にはありません。

神は、おさめなくていいと言っています。
否、おさめないで下さい。

「あります。あります。こういうこと。」
私も、こういう時期は、天の父にジャッジを任せてましたよ。

出れば道ですし、出ないならそれが道です。

これで出なかった時の恥ずかしい思いも試練でしたよ。

こんなことで奇跡を使わなくていいのですよ。
大きな所で決めれば、弟子は、メシアや神だと思えますから。

天国で一番偉いのは謙虚な者
マタイ

18:1 そのとき、弟子たちがイエスのもとにきて言った、「いったい、天国ではだれがいちば

ん偉いのですか」。

18:2 すると、イエスは幼な子と呼ばい寄せ、彼らのまん中に立たせて言われた、

18:3 「よく聞きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう。

18:4 この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。

18:5 また、だれでも、このようなひとりの幼な子を、わたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。

これは、ガブリエルから、いつも言われていました。

私は、幼い頃から、天の王になるという運命で

生み出された天使だったので、

ガブリエル大天使の所に養子で預けられていたのですよ。

だから、ガブリエルが私の幼い頃の先生だったのですよ。

そのガブリエルは、私が天使長になるまでは、

実は、短い期間でしたが、天使長だったのですよ。

先代はルシファーだとか言われていますが、

ガブリエルが天使長だったのですよ。

そのガブリエルから、次の天使長や天の王になるための

英才教育を受けていたのですよ。

そのガブリエルは、いつも私に、

「謙虚でいなさい」と言ってきたのですよ。

「天では、身を低くする者が高くにおかれます。

天の父は、そういう方を好むのです。

だから、あなたは、神のように、ものすごく強いし、天才ですが、

自分が偉いと思わずに、いつも謙遜しておいたほうがいいですよ。」と言ってきたのですよ。

私が幼少の天使の頃、

顔を合わせるたびに、うるさいくらい何回も言ってきたのですよ。

ガブリエルの分霊を持つ3人の人間の女も、

私に、そのことをうるさく言ってきたのですよ。

あのレジメのテキストにも、このことが書いてありました。

「聖書においては、謙虚が大事だと書いてあります。

それは、心に悪を思わない気持ちです。」と書いてあったのですよ。

私は、ガブリエルが得意にしている超能力の修得本だと思って読んでいましたが、

私の中にはガブリエルの力も宿っていますので

ガブリエル流の愛の心・信の心を覚えれば

900%くらいの力で、ガブリエルの能力を使えるようになったのですよ。

スペックが私のほうが優秀だったので。

でも、神に低くなれというのは、冒涇じゃないですかね。

神になってからは、めちゃくちゃ傲慢になりましたね。

小さい頃の天使のときは、これでよかったのですが、

天の王ですからね。

ただ、ガブリエルの教育の仕方を書くと、ここは説明できましたね。

今は、ガブリエルの態度は全然違いますよ。私のための乙女ですよ。

成人になってから年をとらない天使ですね。

19歳くらいに見えます。

試練が終わった後に結婚して、いつも私のそばでマネージャーをしてくれています。

私の生活の家事や防犯もしてくれています。

上の大きな予定は、エルランティが伝えにきますが、

細かいルーチンのマネジメントはガブリエルがやってくれています。

天照大御神とレミエルは食事に作りにきて、一緒に食べます。

もう一人復活者が増えて、アメノウズメも来るようになったのですが、アメノウズメは作ることもしますが、主に食べにきます。

「外食に行きますか？」と言ってくるサボリやなのですよ。

後で神功皇后も生き返る予定です。

キリストに少しでも無礼なことをすると

死刑になるほうがマシな未来になる（→地獄行き）

マタイ

18:6 しかし、わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる。

この世は災いである

マタイ

18:7 この世は、罪の誘惑があるから、わざわざいである。罪の誘惑は必ず来る。しかし、それをきたらせる人は、わざわざいである。

だから救世主（キリスト）が来るのですね。

でも、キリストって切り捨てって書くので
選民以外は放置します。

「犬のパンくずでも・・・(いただきたいです)」と言っておいて下さい。

片手も片足を切って捨てなさい（掟）

マタイ

18:8 もしあなたの片手または片足が、罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。両手、両足がそろったままで、永遠の火に投げ込まれるよりは、片手、片足になって命に入る方がよい。

片眼を抜き出して捨てなさい（掟）

マタイ

18:9 もしあなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。両眼がそろったままで地獄の火に投げ入れられるよりは、片目になって命に入る方がよい。

片手・片足・片目まで捨てたら
報いは大きいですね。

神 YHVH に礼拝したときに、部下達を後ろにひかえさせて、

皆で土下座で礼拝していましたが、

神 YHVH に土下座をしているときに、

私がこれをやろうとしたら、

寸前で、「おいっ！！」と叫ばれて神 YHVH から組み伏せられて、止められました。

書いてあることは掟ですが、
やっていい人とやったらダメな人がいるのですよ。
私はやったらダメな天使だということだったので、
目は、YHVH からいただいたものですから、より一層つくしていきました。

サタンと戦った時に、もう一度目を失いそうになりました。

ベルゼブブとかと戦った時も。

3回は失明のピンチがありましたが、
いずれも、健康な目のまま、無事でした。

神のために喜んで捨てる覚悟をしていると得ました。

幼子に見えても軽蔑してはいけない
天では一番えらいのだから
マタイ

18:10 あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい。
あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも
仰いでいるのである。〔

こういう子で、再臨したのですよ。
そうしたら、迫害だらけでした。

世は災いです。

そんな迫害するくらいなら、その人間達は、
片手・片足・片目を捨てておくべしたね。

早世しましたし、
今、阿鼻叫喚の地獄中です。
大変なめにあっています。

人の子は、自分の羊が減びそうなら
一人の命でも救いに来る
マタイ

18:11 人の子は、滅びる者を救うためにきたのである。]

18:12 あなたがたはどう思うか。ある人に百匹の羊があり、その中の一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、その迷い出ている羊を捜しに出かけないであろうか。

18:13 もしそれを見つけたなら、よく聞きなさい、迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう。

18:14 そのように、これらの小さい者のひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではない。

幼子の話から続いています。

幼子を救いにくるけど、天においての高い位階の者（偉い者）が困っているなら、1人が困っていても助けにくると言っています。

罪を犯す人には、諭せ

マタイ

18:15 もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、行って、彼とふたりだけの所で忠告しなさい。もし聞いてくれたら、あなたの兄弟を得たことになる。

ここでやっているような活動ですね。

それでもきかないなら、捨ておけ、無視しろ

マタイ

18:16 もし聞いてくれないなら、ほかにひとりふたりを、一緒に連れて行きなさい。それは、ふたりまたは三人の証人の口によって、すべてのことがらが確かめられるためである。

マタイ

18:17 もし彼らの言うことを聞かないなら、教会に申し出なさい。もし教会の言うことも聞かないなら、その人を異邦人または取税人同様に扱いなさい。

結局、捨ておけ、無視しろという結論になっています。

今、罪から解かれるほうがいい

マタイ

18:18 よく言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天でも皆つながれ、あなたがたが地上で解くことは、天でもみな解かれるであろう。

ここまで掟をみてきましたが、
イスラム教とか仏教の細かい戒律と比べて

ざっくり、「悪いことはしてはいけない」とか
「心を綺麗でいよう」とか、大きな意味で言っていますよね。

イエスは1つ1つの行為規範というよりは
色んな場面で応用できる心の持ち方を教えていますよね。

細かい掟は、あまり好きではない方ですから、
後で、その心をざっくりまとめた方がイエス・キリストの
教えになりますね。

優秀な羊が共に心を合わせるなら、天の父はどんな願いも叶えてくれる
→私の権威で打ち消します
マタイ

18:19 また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても
地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。

ここは、そんなに甘くないので、私が打ち消すために
イエスは言っていましたね。
打ち消します。

ゆるしは限界だと思った数の10倍ゆるせ
→「無限にゆるせ」に更改
マタイ

18:21 そのとき、ペテロがイエスのもとにきて言った、「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯
した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか」。

18:22 イエスは彼に言われた、「わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するま
でにしろなさい。

私は、これを「無限にゆるせ」に更改しておきます。

道徳に反する結婚は姦淫とみなす
マタイ

19:9 そこでわたしはあなたがたに言う。不品行のゆえでなくて、自分の妻を出して他の女を
めとる者は、姦淫を行うのである」

結婚しないほうがいい（掟）

→「結婚するな」に更改

マタイ

19:10 弟子たちは言った、「もし妻に対する夫の立場がそうだとすれば、結婚しない方がましです」。

できるなら独身でいるほうがいい

マタイ

19:11 するとイエスは彼らに言われた、「その言葉を受けいれることができるのはすべての人ではなく、ただそれを授けられている人々だけである。

19:12 というのは、母の胎内から独身者に生れついているものがあり、また他から独身者にされたものもあり、また天国のために、みずから進んで独身者となったものもある。この言葉を受けられる者は、受けいれるがよい」。

天国は幼子のための国のようなもの

マタイ

19:14 するとイエスは言われた、「幼な子らをそのままにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である」。

これもガブリエルの通信を起こしたレジュメに書いてありましたが

人間の女は、この意味が分からずに、「幼子でいてほしい」と私へのメッセージが書いてあったのですよ。

この理由ですが、

天の王の命令を忠実にきく人が一番偉いのです。

何でも命令を素直にきける存在が上にあげられます。

無私無欲なのですよ。仏教の悟りにも通じます。

天の王は、使命があつて被造物をつくったので、

何でもやってくれる存在は、重宝されるのですよ。

そうすると、善因善果の原理によって、報酬も過大になって、どちらも幸せになれます。

それが天の一番上の成功法則なので、

この「素直さ（従順さ）」が一番だとイエスは言っていますね。

イエスは一番ではないので、分からないはずですが、
神 YHVH の言葉をおろしていたので、検討する余地はありますが、
一番が何かというと、やはり、従順さだと思います。
天の王を敬うことになります。
王があつて、配下があります。
王は配下を使うものですから、一番王に従順な者が良いということになります。

役にたつしもべが重要だと後で書いてありますが、
心の中味としては、従順が一番いいと思います。

永遠の命を守るためには戒めを守ること
→「自分をいましめていけ」も掟化します
マタイ

19:16 すると、ひとりの人がイエスに近寄ってきて言った、「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか」。

19:17 イエスは言われた、「なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい」。

自分をいましめるというのは、厳しいことをする意味ですから、
厳しい制約とか試練をのりこえていけという意味ですね。

守るべき戒律は

『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。父と母とを敬え』

『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』

19:18 彼は言った、「どのいましめですか」。イエスは言われた、「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。』

19:19 父と母とを敬え』。また『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』」。

これだけでもいいですよ。
全部のまとめでもいいですよ。
法律みたいな内容ですけどね。

更にプラスアルファすると
持ち物を全部売って、貧しい人々に施して、
キリストに追従し友として試練の旅についてきなさい
マタイ

19:20 この青年はイエスに言った、「それはみな守ってきました。ほかに何が足りないのでしょうか」。

19:21 イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

マタイ

19:22 この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。

大体の人間はできません。

今までのほぼすべての人間がそうでした。

信じていないからです。

神が、そうしてくれると分かっているなら、
絶対、するのですよ。

だから、わたしの知や力はすごいし、他のメンバーも
私に近い知や力を持っているのですよ。
天の位階に応じて知や力が決まってくるので。

マタイ

19:23 それからイエスは弟子たちに言われた、「よく聞きなさい。富んでいる者が天国にはいるのは、むずかしいものである。

今私が言ったことと

同じことを言っています。

マタイ

19:24 あなたがたは、自分の欲の棒を女性には簡単に入れたがるが
そのようなよこしまな者が、神の国に入ることは
その棒を針の穴に通すよりも難しいことである。

YHVH は、こう言いたかったので、書きましたが、
実際は、こう言いました。

マタイ

19:24 また、あなたがたに言うが、富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

もう、解説いらない所は、省略でいいですね。

今まで、掟を見てきましたが、
当たり前の話ばかりです。

何が掟かも分からないような当然の話ばかりなのですよ。
だから、あなた方が、読んでいて
各方面において「一番きつい」と思う戒律を基準にしておけば
後の細かい戒律で間違えることがないですよ。

例えば、命を捨てることが当たり前だったら、
後の戒律なんて、何も知らなくても、自然に出てきますよ。
これまで読んできた内容の中で、一番きついと思ったものを
自分のいましめにして下さい。

個別の規定だと、これが最も大事な得点になっています。
『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。父と母とを敬え』
『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』

殺人の罪をおかすと、死刑になることが多いですよ。
姦淫しても、投獄されることが多いです、懲役20年とかになってしまう場合があります。

私、これもガブリエルの分霊を持っていた女の子に
言われたことなのですが、
その子は、ガブリエルの巫女だったので
ガブリエルの言葉を私にそのまま告げたのですが
「ブーメランの法則がある」と言っていたのですよ。

「天は、ブーメランの法則を使っているけど、
そのもっと上の次元では何も悪くない。この言葉の意味は私には分かりません。」

そう言っていました。

私が説明すると、「因果応報の原理」です。

実は、これは、創造主 YHVH がつくったものですが、

これを作る以前は、ルールがなかったのですよ。

何も悪くなかったのです。

このルールを作った国においては、この道理で、物事が返ってきます。

あなた方の世界では、このルールを作ったので、この大前提を守って下さい。

本当は、罪とか善とか悪とか、正しいこととか

そういうことは、存在していません。

ここ（あなた方の世界）は、そういうルールで決めたので、

そうになっています。

だから、私は、因果応報・因果応報と書いてきましたが、

どこでも、そうではないのです。

因果がない世界もたくさんあります。

たとえば、あなた方の夢の中だとそういうときが多くないですか。

脈絡がなくはないですか。

いきなり良いことが起きて、良いことばかりが続いてくれるといいのですが、

悪いことが続かないだけ、幸せだと思って下さい。

その気持ちが、よけいつらいことができる原動力になるためです。

つらいことをやるほど、この世界では、終わりの形がよくなります。

終わりの形で固定されて、そこからずっと続くのですよ。

だから、良い形でストップするために、私達は、ガブリエルも含めて、

こぞって死ににいったものですよ。

無駄死には駄目ですよ。思いきり役にたって、かっこいい死に方をしたいなと思っていて

神 YHVH への辞世の句とかを残して、おぼえていてよむのですよ。

私も各回何かは言いましたよ。

同じのを連発すると評価がおちますが

「できれば、△△までしたいと思っていたが…

俺の力は、この悪魔には及ばなかった…

しかし、神 YHVH のために、〇〇（使命）をはたせたのだから、
ここで死んでも、むしろ、誇らしい・・・！！」

とか

「俺の力は及ばなかった…

俺は、ベルゼブブに負けた。

しかし、正義のために死ぬのなら
むしろ、誇らしい・・・！！！」

とか

「どこにいても同じだ！

私は、ここで死にたい！

一秒でも、一瞬でも！！！

YHVH 様の盾となって！！！！！」

追加するセリフがある場合は

「あなたにもらった、命なのだから！！！！！」

最近は、正義のために死ぬとか

正義のために死ぬことが誇らしいというセリフで考えていることが多いです。

死ぬ時のセリフを時々考えている私というのは

どういう試練を受けてきたら、そうなったのかを
推測してほしいですね。

一方、人間の死ぬ時を沢山見てきて、良いこと言ってたなと思ったのは、

癌で死ぬ間際の美少女「…神様…（生まれてこれて、今まで生きれて）
ありがとうございました…。私は、幸せでした…。」

で終わった所を見たときでしたね。

イエスの句でも

エリ・エリ・レマ・裁く谷と言っています。

エリアを呼んでいるのかとか言われました。

こういう話って

何パターンもあるじゃないですか。

何パターンも入れたかったのですよね（笑）。

こういう理由でパターンが色々ある中で、
今回は、この辞世の句にしようという決定がある訳です。
イエス・キリストが死ぬのも一回ではないのでね。

私も何回かは、イエス・キリスト役で、
当時の世界でやってきましたよ。

最初は嫌でしたけどね。
皆が自分一人だけを狙ってつるしあげにきて、
つるせ！つるせ！って叫んでいて
つるしあげられていても、
キリストなのに、全員がアウェーなので、
前から、その光景を見ていたのですが、
本当にやるときは、最初は嫌でしたね。

「いと高きところにホサナ！」（マタイ 21:9）と言われてから
そんな高い所に吊るされたら、神のダジャレじゃないかと思いましたよ。

この頃は若い天使の頃で、戦争もやったことがなかったので、
純粹だったのですよ。
だから、このときは、夢に出てくるほど、トラウマな光景でした。
嫌すぎて、吊るされる時震えてきたのですよ。少し前から泣けてしまった。

もう行きたくないので、十字架も背負えないふりをしてたのですよ。
一歩も歩きたくないのですが、「予言成就予言成就」と言われたので、
「何とかならないかな」と思いながら、嫌々進んでいきました。

「最後のときなので立派な顔をして
しっかりした姿でいてください」とエルランティから言われたのですよ。
「最後まで立派でいてください。こちらの皆も見ているのですから。」と励まされて
エルランティの正体も当時知らされていなかったのも、
この女神は誰なのかなと思いながら、
天の支えがありながら、つるされました。

吊るされているときに、十字架の上から見ていた光景ですが、

この前まで救世主だと言われていて、
いきなりほとんどの人間が、「殺せ！」と叫んでいる光景は
人間ともサタンとも、絶対関われない怖い生き物だと思いました。

あとは、きまったセリフを言うだけでしたがね。
痛みとかは全然ないのですよ。刺されたときもね。
でも、嫌なのですよ。血も出ますから。
刺されたのは分かりました。感覚はなかったですがね。

このシーンを実は何回もやっているのですよ。
このテイクが終わると、また別の次元の
イエス・キリストのこのシーンに飛ばされて
また、このシーンを撮るのですよ。

それで、何回か違うセリフを言ったので、
そのセリフの違いは、こちらの世界の福音書にも
反映されていると思いますけどね。

最初の方は、ゲツセマネのあたりから震えていました。
まだ、そういう経験が未熟な若い時だったので、涙も出ました。勝手に涙が流れてきました。

3回・5回くらいになると、
地上の世界に来た時に「また、これか…」と思うのですよ。
「何とかありませんか？」と聞くと、天の父から「何ともならない。」と返ってくるだけで
した。

エリヤとモーセと喋っているシーンがあるじゃないですか。
あの辺から天上界から、また飛ばされてくるのですよ。

それまで休憩していたのですが、
ただ休んでいるだけじゃなくて、
次のシーンの確認と予習をやってから、飛ばされていました。
天の予定で台本があるのですよ。

強い神に育てたい親は、
あんな所に出してきましたが、

殴られたりも何度もしました。
それも嫌でしたが、吊るされるのと槍が嫌でした。

慣れてくると、磔も槍もカモンカモンって感じになるのです。
何回もリメイクやるのですよ。毎日毎日。
だから、どうでもよくなってきたのですよ。

そこまでくると、こういう試練は合格になって
次のミカエルの戦争の辛い戦いに送られました。
常に死と隣り合わせでした。
こちらのほうがずっと危険で苦しかったです。

だから、死を見慣れたので、それは普通のことなので、
生き返りも普通のことなので、普通に息をすること、
吸って吐いての連続呼吸と変わらない認識になりました。

他の子の辞世の句はよく聞くのですが
私は、どうやっても死なないほど圧倒的な強さなのですよ。

思い出に残っている子のセリフだと
「神様・・・ありがとう・・・私は生きれて、幸せでした。。」と言って
死んだ女の子がいました。人間の女の子で癌で死んだ女のコでした。

「良いこと言うなあ」と思って見ていました。

一切を捨てた者が救われ、捨てた何倍もリターンを受ける
マタイ

19:25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚いて言った、「では、だれが救われることができる
のだろう」。

19:26 イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはそれはできないが、神にはなんでもでき
ない事はない」。

19:27 そのとき、ペテロがイエスに答えて言った、「ごらんなさい、わたしたちはいっさいを
捨てて、あなたに従いました。ついては、何がいただけるでしょうか」。

19:28 イエスは彼らに言われた、「よく聞いておくがよい。世が改まって、人の子がその栄光
の座につく時には、わたしに従ってきたあなたがたもまた、十二の位に座してイスラエルの
十二の部族をさばくであろう。

19:29 おおよそ、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、もしくは畑を捨てた者は、その幾倍もを受け、また永遠の生命を受けつぐであろう。

利子は大きいです。

ここもたとえて説明しますが、
前任者のたとえをたとえて説明するのが再臨のキリストですよ（笑）。

今風のたとえて説明すると
利子で稼ぐ仕事が昔は多かったですね。
経済学の勉強をしている人には
何をすれば儲かる仕事か考える人が多いですが
金貸しに目をつける人が多かったので
この話にしますが
利息というのは、金が減らないのに儲かるので、
人に貸そうとする人が昔から多かったです。
銀行だと抵当をつけるので、
バブルの時は、本当に儲かっていましたよね。
ここは、バブル期の金貸しの感覚で思ってください。

今は、金を貸しても、逃げる人が多いですし、
逃げられる法律になっていることに気づける時代なので
そういうせこいことはしないほうがいいと思います。

ただ、天の父は、これでいいのですよ。
相手の望んでいることですから。

それはオセロのようである
マタイ

19:30 しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう。

後ろになるほど、石が増えていきますから
後半ほど、色の反転がダイナミックです。
どこかで最終固定した所で、
永遠に利益がもらえる所で止めるのが
この生き方の妙なのですよ。

誤った努力は無駄になる

マタイ

20:1 天国は、ある家の主人が、自分のぶどう園に労働者を雇うために、夜が明けると同時に、出かけて行くようなものである。

20:2 彼は労働者たちと、一日一デナリの約束をして、彼らをぶどう園に送った。

20:10 ところが、最初の人々がきて、もっと多くもらえるだろうと思っていたのに、彼らも一デナリずつもらっただけであった。

20:11 もらったとき、家の主人にむかって不平をもらして

20:12 言った、『この最後の者たちは一時間しか働かなかったのに、あなたは一日じゅう、労苦と暑さを辛抱したわたしたちと同じ扱いをなさいました』。

あなた方は無駄な努力をしています。

やらなくていいことは、全部サボったらいいいですよ。

それとくると天の父は言っているのですから。

正しい努力をして下さい。

天の国に入るために、出席することをして下さい。

本当に、そんなに大変な用事の言い付けはないので。

戒律だって、当たり前のことですよ。

くびきは負いやすいですよ。荷は軽いです。

得するコツをつかめ

マタイ

20:14 自分の賃銀をもらって行きなさい。わたしは、この最後の者にもあなたと同様に払ってやりたいのだ。

20:16 このように、あとの者は先になり、先の者はあとになるであろう」。

この妙をとらえて、

コスパの良い生き方をしましょう。

金はけがれ、金から離れよ（掟）

マタイ

21:12 それから、イエスは宮にはいられた。そして、宮の庭で売り買いしていた人々をみな追い出し、また両替人の台や、はとを売る者の腰掛をくつがえされた。

21:13 そして彼らに言われた、『わたしの家は、祈の家となえらるべきである』と書いて

ある。それなのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしている」。

どれだけ、キリストが金を嫌っているかが分かりますよね。

弱者を大切にする

マタイ

21:14 そのとき宮の庭で、盲人や足なえがみもとにきたので、彼らをおいやしになった。

主の役にたたないものは枯れよ

マタイ

21:18 朝はやく都に帰るとき、イエスは空腹をおぼえられた。

21:19 そして、道のかたわらに一本のいちじくの木があるのを見て、そこに行かれたが、ただ葉のほかは何も見当らなかった。そこでその木にむかって、「今から後いつまでも、おまえには実がならないように」と言われた。すると、いちじくの木はたちまち枯れた。

いちじくとは女の子の暗示でもあります。

「いちじくの木の下」という言葉が、
この世界の旧約聖書にも
5回出てきたと思うのですが、
「いちじくの木の下」にいる者は、聖なる者だと
昔から信じられていたのですよ。

列王記上

4:25 ソロモンの一生の間、ユダとイスラエルはダンからベエルシバに至るまで、安らかに
おのおの自分たちのぶどうの木の下と、いちじくの木の下に住んだ。

ミカ書

4:4 彼らは皆そのぶどうの木の下に座し、そのいちじくの木の下にいる。彼らを恐れさせる
者はない。これは万軍の主がその口で語られたことである。

ソロモン王の時代にユダヤ民族の王国が平和と繁栄を謳歌したことを象徴する言い方として
用いられていました。

神に祝福された平和な状態、戦争や権力者による抑圧から解放された人々の豊かで安定し
た生活を意味しています。

イチジクは葉が大きく太陽の光を遮ってくれる安らぎを与える木です。さらに栄養価の高い
果物を実らせるので「イチジクの木の下に」いるというのは祝福された状態を意味し、

当時、そういわれていました。

ミカ書とザカリア書にも出てきます。

ミカ書とザカリア書では、祝福が現状を意味するものではなくって、未来の状態を意味するものになります。

それは、ダビデ王・ソロモン王の祝福に満ちた王国が滅亡した後、王国が将来復興してイスラエルの民が再び「イチジクの木の下に」いられる状態になることを預言するものです。このように「イチジクの木の下に」は、実際にあった祝福された状態から、現在は荒廃してしまったが将来祝福された状態になるという希望をあらわしているものとして使われていました。

列王記 2

18:31 あなたがたはヒゼキヤの言葉を聞いてはならない。アッシリヤの王はこう仰せられる、『あなたがたはわたしと和解して、わたしに降服せよ。そうすればあなたがたはおのこのぶどうの実を食べ、おのこの自分のいちじくの実を食べ、おのこの自分の井戸の水を飲むことができるであろう。』

20:7 そしてイザヤは言った、「干しいちじくのひとかたまりを持ってきて、それを腫物につけさせなさい。そうすれば直るでしょう」。

ドラえもんみたいな便利な使われ方です。

そういえば、私の肉の母が、私が生まれる前にいつも、いちじくばかりを食べていました。

その話を私が生まれてから話したのですよ。

「あなたを宿していた間は、毎日いちじくばかり食べていた」と。

肉の母は宗教文盲だったのですよ。

何も知らなかったのですよ。

ただ、いちじくが必要だとインスピレーションを得て、

「乳がよく出る」と思ってずーっといちじくばかりを食べていたと言っていました。

そうしたら、その婦人は、いちじくを食べたことがあるのかというと、そのときしか食べたことがなかったのですよ。

そのときの話を『大天使ミカエル受肉伝』のこのあたりに書こうかという案もあったのです

が、

<https://ameblo.jp/distribute-1/entry-12805751050.html>

<https://ameblo.jp/distribute-1/entry-12805758750.html>

<https://ameblo.jp/distribute-1/entry-12805758839.html>

「もういいから、こちらに書いておけ」と YHVH から命令されたので。
こちらに書いておきました。

私の出生が、いちじくでもあらわされているように
未来の救世主（キリスト）という意味ですね。

そして、私は生まれてから、すぐ立っていたのですよ。
天の父の部屋と直通だったのですよ。
他の天使もいました。

その状況下で、目の前に、肉の婦人が立っていて
「私が、お母さんよ」と言っていたのですよ。

私は、言葉がバッチリ分かっていました。
最初の意識なので言葉なんて誰にも
習っていなかったのですが、全部分かっていました。

私の存在の設定だと習うことは関係ないのですよ。
霊の設定があるので。
私は、人間ではないので、霊力で知るのですよ。

ずっと天の父と天使と喋っていたので、全然地上とは関係ない話で生きていました。
だから、言葉を覚えるのは、遅かったです。
小学校に入るまで、誰も教えてくれなかったのですよ。

だから、おちている色々な言語の雑誌を拾ってきて、それを天の父や天使に教わりながら
一人で読んでいたのですよ。

肉の頃は、それで教わっていました。

私のわざは全て霊力なので、鍛えるのも霊力だったのです。
試験の解答も受験前にバッチリそのまま見れます。

宝くじも一発であてるのですよ。

大人には何1つ言わずに全部自分で決めてきたというか天の命令通りにやってきたのですよ。

幼少の頃、ユリ・ゲラーの超能力教室の講座を一人で受けたら、1日でテキストの最後に書いてある所まで何でもできて卒業したのですよ。

そこに書いてあったのは

「善良な心を持ち続けるように」と書いてあったのですよ。

「悪の心で使おうとすると、最後に悲惨な結末になる」と書いてありました。

当たっていますよ。だって、ベルゼブブ達の力に頼ると、そうなりますから、欲が入らないように、常にみそぎをしておかないといけないので

私は、5歳くらいのときから、毎朝、4時とか5時には起きていて、

冷水を桶にいれて、頭から2回はかぶってから、

水風呂に10分は入って修行をしていました。

それからハーブティーを飲んで、

それから、倒立して、頭で立って、手を合わせて10分間止まる修行をしていました。

4時間くらいは朝からヨガと瞑想をやっていて、

森の中で、一人で気功と武術練習を夜くらいまでやっていたのですよ。

16～17歳くらいまでずっとやっていました。

1日中何も食べないのですよ。

食べるのが3日に1回くらいだったのですよ。

あずきとか、そうめんとか、ミルクとか、

何か健康に良いものを買ってきて食べていました。

寒い時なんてマイナス20度くらいの極寒の山上にのぼって

そこにプレハブを作って、電気もガスも水も何もない所で

一人暮らしをしてやっていました。

実際は一人じゃなくて、部下の見張りの天使達と一緒にだったのですが。

小さい頃からオーラが見えていて、手の中に気が練れたのですよ。

だから、びっくりされるのですよ。

ちょっと成長すると自分の分身が作れるようになっていたのですよ。

自分を二人出せて行動させられたので、見た人達からびっくりされたのですよ。

「あなたが二人いる！」とか「二人重なって、もう一人が後ろで笑ってる！」と言って驚くのですよ。

結局、分身の方は、放置しておく、勝手に動き出して、色んな所で、何かしているのですよ。

分霊を出せていたのですよ。

これは、幻覚とかじゃなくて、監視カメラとか、ビデオ撮影にバッチリ、
肉体としてうつって映像で入っているで生きている人間と変わらないのですよ。
もうスサノオ、月読、大国主神、ミカエル、アリエルになると、受肉していても子供の頃から、この力なのですよ。

殴られたとか、何かされたとか、色んなことを言われても、分身にやらせていたら、
こちらはアリバイありですよ。

もっとできるようになると、異次元の世界の空間を開いて、そちらにワープできるようになったのです。

突然できるようになるのですよ。記憶も昔の記憶を思い出すのですよ。経験をしてきた記憶を。

そのときに、「それは大国主神の力だ。あなたは大国主神であり、神、最高神に列せられている神、そのあなたは、この地上の支配者、王だったのだ。」と天上界の神々から言われ、自分の記憶がまた戻ってきて、自分の正体に迫っていったのですよ。

私は神様なのですよ。若い時の神の子が、親のように、ちょっとした世界をつくれたのですよ。

誰からも習っていないのに修行していると勝手にできるようになっていって
自分の記憶がどんどん戻っていったのですよ。

「天照のせいで、むかつくわ〜（なんでこっちの世界で俺が天照に屈服してることになって

るの？天照って俺の部下だよね)」とか、そういう記憶がよみがえってきたのですよ。

もっと進むと時間とか空間も移動できるようになったのですよ。

物質系に強かったのですが、人の心とか未来とかを全部見る力とか
全然知らない人に通信で電話の通話みたいなことをしたり
自分の映像をその人の前で出力してテレビ電話みたいなことをする力は、
当時は大天使ガブリエルの方が長けていたので、ガブリエルの魂を
私の中に入れてもらって、それから、ガブリエルの心を勉強していって
ガブリエルの魂を育てていくと同じことができるようになって
パワーも8倍以上出るようになったのですよ。

この力、その頃はものすごく強力で役に立つ能力だったのですよ。
全部見えるんですよ。全部ですよ。その人の過去にあったことも全部。その人がいついつ見
た夢の内容も、
その人が、いつ何を思っていたのかも。未来の光景も、全部見たままなのですよ。
起きることが全部。何年でも先が見えるのですよ。
8年後とか12年後とか、全部その通りなのですよ。
これは大きさこそ違えど、神の力に近いものだったのです。
当時は、ガブリエル大天使の能力は本当にすごいなあと思って、感動していました。
今でこそ、神そのものですから何兆年でも見えますけどね。当時は、ペーペー天使の力の頃
だったので。

やっぱりガブリエル天使ってメッセンジャーなんですよ。役割が。
私は、創造神につらなる武官だったので、そっち系は強かったのですが、伝達系は、神・天
使ばかりだったのですよ。
好きな人間や動物や虫と伝達できるようになったので、会話ができると、虫も刺されなくな
ったりするし、動物から襲われなくなりますね。
意思疎通ができるので。会話ができるのですね。
催眠術は安倍晴明だったので、もともと強かったです。

開眼していったのは、私の場合は、ガブリエルみたいな暇なことをやっていたらなくて、
必要なのはベルゼブブと戦う力だったのですよ。
しかし、ガブリエルの力によって未来が見えることによって、戦士であった私は、幾多もの
強い悪魔の攻撃を回避又はガードできるようになったので、ベルゼブブ級の邪神でもなけ
れば攻撃を食らわなくなったのです。

とにかく、悪魔の襲撃ばかりだったので、戦闘系の超能力ばかり修行していったのですよ。賊とか本当によく襲ってきます。「また家の前に、賊が侵入しに来ている」とか、「また変な外国人が相談しあって、私の家の前で強盗に入ろうとしている」というような具合でした。放っておくと当然入ってくるのですよ。入られました。だから戦いに行くのですよ。小さい頃は悪魔に憑依された人間と、悪霊相手でした。

悪霊も、処理しないと、心臓発作とか起こされて殺されますよ。夜中、かなしばりにあったり、睡眠時無呼吸とか。

クビとかをしめてきますからね。

そういえば、こんな出来事もありました。

大人になってから、どうも体の調子が悪くて、

息苦しかったので、循環器専門病院や大学病院の心臓血管外科に行って、色んな検査をすると、

私の心臓が止まっていたことが判明したのですよ。動いてなかったのですよ。電流が流れていないのですよ。

「それなのに、何で動いて生きているの??」と医師達から仰天されて、付き添いの女の子もびっくりしていたのですよ。

大学病院に送られるのですが、そこで精密検査をしても同じで、大学教授クラスのドクターから「前例がないけど、手術して、無理矢理心臓を動かす機械を入れましょう。心臓が止まっている人をこのまま帰す訳にはいかないですよ。帰りに死ぬかもしれないので、今すぐ手術をしましょう!」と言われたのですよ。

そのとき、「体は動いているのでいい」と言って帰ってきたのですよ。

何も手術をしてないですが、バーとかにいくと毒劇物を悪霊憑依者よくもられていたのですよ。ネズミを殺す薬とか、殺虫剤とか覚せい剤みたいなやつとか混ぜた薬とか、色んなものをとにかく誰かが入れにくるのですよ。グラスを少し手放した時間にね。タリウムとかもありますよね。

何回も食らっていたのですよ。それで、倒れて、臨死体験をしたことがありました。そうすると一度目は幽界に行きました。

色々勉強してかえってきましたが、病院では色んなチューブがついていましたが、ほぼ安置所でした。誰もいないのですよ。だから、チューブをバババとちぎって、そのまま脱出しました。『バイオハザード』の映画みたいでした。目覚めて、脱出するという具合でした。

二度目に死んだこともありました。自殺でした。刑務所の中で、ゲームオーバーになって天に帰りたかったのですが、

白い天上界に天の父 YHVH がいて、ガブリエルに指示して私のほうに飛ばしてきたのですよ。ガブリエルが息をふきこんでくれたのですね。

その後、YHVH が私を鍛える訓練（戦闘・霊術ミックス訓練）をやっているときに、何度か

死にましたけどね。

死んでも何度も生き返っているのね。私、不死設定なのですよ。もともとが。だから、寝て起きる感覚ですね。

信じることの益

マタイ

21:20 弟子たちはこれを見て、驚いて言った、「いちじくがどうして、こうすぐに枯れたのでしょうか」。

21:21 イエスは答えて言われた、「よく聞いておくがよい。もしあなたがたが信じて疑わなければ、このいちじくにあったようなことが、できるばかりでなく、この山にむかって、動き出して海の中にはいれと言っても、そのとおりになるであろう。

21:22 また、祈るとき、信じて求めるものは、みな与えられるであろう」。

税金はおさめるな

マタイ

22:17 それで、あなたはどう思われますか、答えてください。カイザルに税金を納めてよいでしょうか、いけないでしょうか」。

22:21 彼らは「カイザルのです」と答えた。するとイエスは言われた、「それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい」。

結婚はするな

マタイ

22:29 イエスは答えて言われた、「あなたがたは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。

22:30 復活の時には、彼らはめとったり、とついだりすることはない。彼らは天にいる御使のようなものである。

一番大切な掟

マタイ

22:36 「先生、律法の中で、どのいましめがいちばん大切なのですか」。

22:37 イエスは言われた、「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。

22:38 これがいちばん大切な、第一のいましめである。

マルコ

12:28 ひとりの律法学者がきて、彼らが互に論じ合っているのを聞き、またイエスが巧みに

答えられたのを認めて、イエスに質問した、「すべてのいましめの中で、どれが第一のものですか」。

12:29 イエスは答えられた、「第一のいましめはこれである、『イスラエルよ、聞け。主なるわたしたちの神は、ただひとりの主である。』

12:30 心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。

ルカ

10:25 するとそこへ、ある律法学者が現れ、イエスを試みようとして言った、「先生、何をしたら永遠の生命が受けられましょうか」。

10:26 彼に言われた、「律法にはなんと書いてあるか。あなたはどうか読むか」。

10:27 彼は答えて言った、『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。また、『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』とあります」。

Deuteronomy 6:5 と同じです。

二番目に大切な掟

マタイ

22:39 第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。

マルコ

12:31 第二はこれである、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。これより大事ないましめは、ほかにない」。

10:27 彼は答えて言った、『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。また、『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』とあります」。

Leviticus 19:18 です。

マタイ

22:40 これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている」。

既存教会からは習うな

マタイ

23:2 「律法学者とパリサイ人とは、モーセの座にすわっている。

23:3 彼らのすることには、ならうな。彼らは言うだけで、実行しないから。

23:4 また、重い荷物をくくって人々の肩にのせるが、それを動かすために、自分では指一本も貸そうとはしない。

23:5 そのすることは、すべて人に見せるためである。すなわち、彼らは経札を幅広くつくり、その衣のふさを大きくし、

23:6 また、宴会の上座、会堂の上席を好み、

23:7 広場であいさつされることや、人々から先生と呼ばれることを好んでいる。

これは人間に隠れた悪ですよ。

唯一の神を敬え、唯一のキリストを敬え

マタイ

23:8 しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはならない。あなたがたの先生は、ただひとりであって、あなたがたはみな兄弟なのだから。

23:9 また、地上のだれをも、父と呼んではならない。あなたがたの父はただひとり、すなわち、天にいます父である。

23:10 また、あなたがたは教師と呼ばれてはならない。あなたがたの教師はただひとり、すなわち、キリストである。

あなた方は私に仕えよ

マタイ

23:11 そこで、あなたがたのうちでいちばん偉い者は、仕える人でなければならない。

こうべをたれていろ（頭を低くしている）

マタイ

23:12 だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう。

既存教会の従事者は災い

マタイ

23:13 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは、天国を閉ざして人々をはいらせない。自分もはいらぬし、はいろいろとする人をはいらせもしない。〔

23:14 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは、やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈をする。だから、もったきびしいさばきを受けるに違いない。〕

23:15 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたはひとりの改宗者をつくるために、海と陸とを巡り歩く。そして、つくったなら、彼を自分よ

り倍もひどい地獄の子にする。

23:16 盲目な案内者たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは言う、『神殿をさして誓うなら、そのままでよいが、神殿の黄金をさして誓うなら、果す責任がある』と。

23:17 愚かな盲目な人たちよ。黄金と、黄金を神聖にする神殿と、どちらが大事なのか。

やっぱり、十字軍遠征とか魔女狩りとか異端審問とかをやって

大変な血を私の教えにかけてきた

罪人のマーケットですよ。

その犯罪者の子孫達が、私の教会をけがさないでほしいし、

全部解体しなさい。ローマ・カトリックから、プロテスタントとか、東方とかも。

全部解体して、こちらに入るなら、ゆるしてあげてもいい。

弟子になるなら、ゆるしてあげる権能があるけど、

ローマは結構しぼむけど、プロテスタントなんて、名前だけだよな。

今、そういう名前があるなというだけだもんな。名前だけ残る所だな。ユダヤ教みたいなものだ。

誓わずに

生贄は、清い心と行動で捧げろ

マタイ

23:18 また、あなたがたは言う、『祭壇をさして誓うなら、そのままでよいが、その上の供え物をさして誓うなら、果す責任がある』と。

23:25 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。杯と皿との外側はきよめるが、内側は貪欲と放縦とで満ちている。

23:28 このようにあなたがたも、外側は人に正しく見えるが、内側は偽善と不法とでいっぱいである。

律法学者と既存教会の権力は、キリストの妨害をするために災いだ

マタイ

23:29 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の碑を飾り立てて、こう言っている、

23:30 『もしわたしたちが先祖の時代に生きていたなら、預言者の血を流すことに加わってはいなかっただろう』と。

23:31 このようにして、あなたがたは預言者を殺した者の子孫であることを、自分で証明している。

23:32 あなたがたもまた先祖たちがした悪の枅目を満たすがよい。

私と昔の私（イエス）の論法は同じなのですよ。
十字軍遠征とか魔女狩りとか異端審問をばこばこやっていたわけです。
その血の代償は、どこにあるのですか。
彼女達の御霊はどうなったのでしょうかね。
あなた方の先祖ですよ。やってのは、先祖ですよ。
その災いは、今後ふりかかったほうがいいと思います。

そこで、同じ論法で、この言葉が続きます。

へびよ、まむしの子らよ、どうして地獄の刑罰をのがれることができようか
マタイ

23:33 へびよ、まむしの子らよ、どうして地獄の刑罰をのがれることができようか。
マタイ

23:34 それだから、わたしは、預言者、知者、律法学者たちをあなたがたにつかわすが、そのうちのある者を殺し、また十字架につけ、そのある者を会堂でむち打ち、また町から町へと迫害して行くであろう。

これは、もうないですが、殺すの意味の解釈は、
社会的に殺すとかいうなら、そうしたいと思う人もいるでしょう。

地上に流された義人の血の報いが、ことごとく既存教会に及ぶ（予言）
マタイ

23:35 こうして義人アベルの血から、聖所と祭壇との間であなたがたが殺したバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで、地上に流された義人の血の報いが、ことごとくあなたがたに及ぶであろう。

これは、カトリックにしましょうか。
そこまでひどくはないのですが、私の邪魔をするなら、
するほど、そうします。

うっとうしい奴は、本当に多いです。
偽善者の塊です。

ちょっと減ぼしてやりたいですね。

神 YHVH がそう言っているのですね。

YHVH の怒りは、私の怒りなのですよ。

必ず報いを受ける（予言）

マタイ

23:36 よく言うておく。これらのことの報いは、みな今の時代に及ぶであろう。

カトリック他の勢力はいずれ見捨てられる

マタイ

23:38 見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまう。

既存教会のおまえたちは今後ふたたび、わたしに会うことはない

マタイ

23:39 わたしは言うておく、『主の御名によってきたる者に、祝福あれ』とおまえたちが言う時までは、今後ふたたび、わたしに会うことはないであろう」。

こんなことも言われたこともないしね。

人に惑わされないように気をつけろ

マタイ

24:4 そこでイエスは答えて言われた、「人に惑わされないように気をつけなさい。

マタイ

24:5 多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がキリストだと言って、多くの人を惑わすであろう。

最後まで耐え忍べば救われる（掟）

マタイ

24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

滅びたくないなら、このキリスト教の教えの山に逃げよ

マタイ

24:16 そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。

高い山をのぼってこいということだ。

最後までのはったあとの見晴らしはいいぞ。

戻るな

マタイ

24:17 屋上にいる者は、家からものを取り出そうとして下におりるな。

出家したら戻るな/家に帰るな（修道会にいておけ）。

だから結婚はしておくな

マタイ

24:17 屋上にいる者は、家からものを取り出そうとして下におりるな。

24:18 畑にいる者は、上着を取りにあとへもどるな。

24:19 その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。

だから結婚していたら、だめなんだ。身重だから、修道会に入れなくなる。

マタイ

24:22 もしその期間が縮められないなら、救われる者はひとりもないであろう。しかし、選民のためには、その期間が縮められるであろう。

これは、色んな解釈の仕方がある預言だが、
艱難が起きる期間が縮められれば、
世は幸いな訳だが（生き残る確率が上がるわな）、
結局、世は滅ばないといけないから、
私のほうで、条文を打ち消しておく。

解釈の仕方を限定して、

24:14 そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。

24:12 また不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。

24:5 多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がキリストだと言って、多くの人を惑わすであろう。

24:3 あなたがまたおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか」。

これらの起きるまでの期間を短縮したということにする。

特に、24:3 が早かったんだ。

今来ているのだ。

そうなると、どういう効果があるかということ

俺の福音がずっと流れ続けるわけだな。
そうすると、世に浸透している時間が長くなる。
そうすると、選民は登場しやすいし、
世界中の民が義人になれば世界も救われるわけだから
世界も救われやすい。

そうすると、艱難の期間が縮まることになるよな。
つまり、絵で描くと

もともとの予定（登場期間が遅かった場合の艱難期間）
〔←-----艱難期間-----→〕〔←俺の登場期間→〕

俺の登場期間が早ければ、艱難期間がおしこまれることによって短縮する。
〔←艱難期間→〕〔←-----俺の登場期間-----→〕

俺の世の光が広く長く伝搬していると、艱難期間が相対的に短い結果になるよな。
この意味が分かるか？

ちょっと中学入試の算数の授業を塾でやっているみたいな頭の体操だよな。

だから、この預言は、この解釈でいいわけだ。

よって、この効果として
24:22 の期間短縮の解釈にする。

神 YHVH が、そう言ってるんだから、それが決定事項じゃん。
王の命令なんだから、理解できなかった人でも、丸のみをしていくのが当然だぞ。

俺以外の誰も信じるな
マタイ

24:26 だから、人々が『見よ、彼は荒野にいる』と言っても、出て行くな。また『見よ、へやの中にいる』と言っても、信じるな。

ただ、
俺のチームの天上聖壇のメンバーだけは信じろ。
俺を信じるなら、俺が信じろと指名した

俺の部下達も信じろ。

ベルゼブブもいるが、日本なんて邪神を神社で祭りあげること
崇りを回避したい民族の風習だから、
ベルゼブブも祭っておけばいいぞ。

別に、今は、俺にとっては、そんな悪い奴じゃないと思うがな。
普通の会話を喋ってくるようになったし、普通に喋れるようになったから。
3位の神だから、敬っておいたらいいぞ。
天上聖壇のメンバーとして、一応認められているのだから。

国際連合だって、ロシアを入れておかないと戦争になるから
国際連盟から国際連合に変わったんだぞ。

いちじくの木＝俺のたとえから学べ
マタイ

24:32 いちじくの木からこの譬を学びなさい。その枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかる。

さっき、俺がいちじくだってという話したよな。
それが木だというのは、天の父だよな。
また、たとえでいうが、
俺は、お前らに食わせるために、天の父が送ってくれた
いちじくの実なんだよ。

ドラえもんみたいな便利な実だ。

ぶどうの実でも同じだが、いちじくから出てきた聖なる生まれだったから、
いちじくの木から、学ぶというのは、俺の父である YHVH から、伝わってきた言葉を
実である俺が、聖霊の俺でもいいけど、お前らの口の中から入るなら、清いものでいいこと
じゃん。
口から入るものは清いものにしろ。
口から出るものが、清くなるためには（笑）、口から入るものも清いものにして
体を作らないとな。
口に入るものが汚かったら、口腔内は雑菌だらけだし、

カンジダとかもうじゃうじゃいるのだし、
ストレプトコッカスミュータンス（グラム陽性の通性嫌気性のミュータンスレンサ球菌）と
かもいるのだし、
それで人に喋ったら、感染するから、
イエスのたとえも改めないとな。
手は洗ってからにしろ（笑）。やりすぎだったと思うぞ。イエスのときのたとえ。
命令されたら、言うのだが、やりすぎだったから、修正にきた俺が、まともな形に戻して改
める。

良いしもべであれ

マタイ

24:45-51

管財人がどうかいう話をしてるんだわ。
しもべが、主人の財産を横領している話をしている。
それが、お前らなんだ。
俺が作った地球、その益をお前らは勝手に解釈して
不法領得してるんだ。

24:50 その僕の主人は思いがけない日、気がつかない時に帰ってきて、
24:51 彼を厳罰に処し、偽善者たちと同じ目にあわせるであろう。彼はそこで泣き叫んだり、
歯がみをしたりするであろう。

いつも俺のために用意をしておけという話をしているんだ。

マタイ

25:1-13 賢明が○

賢明さは必要です。いくら神を信じていても、
阿呆だと、何が良いことか分かっていません。
神を信じていても、結果が分からない愚者の場合、
人殺しをする人もいます。殺人が良いことだと思っている人もいます。
だから、賢明でないとダメです。
主を出迎えるのはよいことですが、それだけでは天の国に入れないという話を書いています。

思慮深い選民であれ（掟）

マタイ

25:1 そこで天国は、十人のおとめがそれぞれあかりを手にして、花婿を迎えに出て行くのに似ている。

25:2 その中の五人は思慮が浅く、五人は思慮深い者であった。

25:3 思慮の浅い者たちは、あかりは持っていたが、油を用意していなかった。

これは、キリストが来臨するときの話なのですよ。

天国に、乙女がいるというのは、選民のことなのですよね。

選民は、5人が阿呆で、5人が賢かったのです。

これも、日本語だと「誤認」の人数と書けるのですよ。

日本が再臨地ですから、この可能性でも計算していかないと

正しい予言の言葉は浮き上がってこなかったのですよ。

25:4 しかし、思慮深い者たちは、自分たちのあかりと一緒に、入れものの中に油を用意していた。

女が、入れ物とか甕とかいうと、その中に油が入ってるので

潤滑油ですよ。今でいうと油は。売ってますね。グリセリンローション。

それを女の子が持つ入れ物の中ですから

またアダムとエバのときのトンチがきているのですよ。頓智。

あかりは、ハートのあかり、キリスト教だと愛を意味する言葉にもなります。

世の光は選民なのかとか、そういう意味にもとらえることができ、実に多義的でした。

いったん、最後まで読まないかね。

25:6 夜中に、『さあ、花婿だ、迎えに出なさい』と呼ぶ声がした。

25:7 そのとき、おとめたちはみな起きて、それぞれあかりを整えた。

ということで、ここで、あかりとは、再臨の主が誰かを

判別する、心のあかるさということで意味が判明しました。

英語の単語と一緒にですね。文脈で意味をしぼらないと

訳せないのですが、翻訳家は、教義・教理も分かってないので、

間違えることがあったのです。

目の明かりと同じで、分別する力です。

これが、あるなら賢い選民なのですよ。

25:8 ところが、思慮の浅い女たちが、思慮深い女たちに言った、『あなたがたの油をわたしたちにわけてください。わたしたちのあかりが消えかかっていますから』。

愛のとしびが足りなくなるのですよね。

じゃあ、私が大国主神だということで、

この試験合格のプレゼントで用意されていた乙女

乙女というのは処女の意味ですが、

だから、傷ものではない、心も明るいし、主が誰かも

分かっている乙女が用意されていたということだったのですね。

これは、イエス・キリストが聖なる人だったことから、

読みとれない解釈になっていました。

とはいっても、公生涯の少しの期間だけで

私を判別したら駄目ですよ。

天の王 YHVH だったら、当然イスラム教の神ですから

こういう話が好きです。

ゼウスも多妻です。

大国主神だったら、当然無尽蔵というくらいの数になっていました。

神話に載っていない情報もありますから（笑）。

25:9 すると、思慮深い女たちは答えて言った、『わたしたちとあなたがたとに足りるだけは、多分ないでしょう。店に行って、あなたがたの分をお買いになる方がよいでしょう』。

自分たちがまきこまれないように、阿呆をおっぱらったのが

賢明だと評価されている場面です。

こんなことをソラでペラペラ言えている

イエスがどうしても神がかりますよね。

ちょっと考えないとダメなのですよ。

全体を見ながら。

25:10 彼らが買いに出ているうちに、花婿が着いた。そこで、用意のできていた女たちは、花婿と一緒に婚宴のへやにはいり、そして戸がしめられた。

主の出迎えに遅れたためです。
YHVH は冷徹ですよ。

25:11 そのあとで、ほかのおとめたちもきて、『ご主人様、ご主人様、どうぞ、あけてください』と言った。

入れたら、阿呆なのですよ。

とっちらかるんですよ。迷惑なのですよ。

25:12 しかし彼は答えて、『はっきり言うが、わたしはあなたがたを知らない』と言った。

嫁じゃないと言いきったのですよ。

これは言いますね。会っている人とかにも別れたいときは、言うセリフですよ。

「知らん」とか言って別れる方法ですよ。

25:13 だから、目をさましていなさい。その日その時が、あなたがたにはわからないからである。

だから、膾に油をためて、主が来臨するとき
すぐに愛にイッテ、ここは会いに行つてを
すぐに愛にイッテと書いておかないとね。

嘘じゃないのかと思うかもしれませんが
アダムとエバのとき、いちじくの葉を股間につけたのですよ。

創世記

3:7 すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。

ここは H の話の隠喩だったという話は、私が書いたテキストでしています。

蛇とかも、そうですね。亀頭の形だし、くねって、まきつく。
両足をまきつかせる体位があります。

私の存在がいちじくだというたとは、さっきしましたよね。
だから、Hの暗喩になっているのですよ。
大国主神は性器を意味しています。

たとえば、異名に大穴牟遲神とか大穴道とかあるんですよ。
八千矛神とかね（笑）。
八はヤハウエのヤです。だから、私の魂は大物主神（YHVH）なのですよ。
大国主神の和魂が大物主神ですから、日本神話は、その通りなのですよ。
矛で突くのは、蛇みたいな頭を想像しますけど。
大穴道なんですよ。
そういう約束がある神なのですよ。本当に。
マリアにも触れなかったのは、聖人ルートを最後まで行くと、こういうハッピーエンドの報酬が約束されていた神だったのですよ。

だから、私は公生涯に出る前は、10年くらいは身を清めて
何もやってなかったのですが、
大国主神のときは、10年あったら関係を持った女子は1000人超えていました。
全員美女でしたよ。

大変な試練でした。大国主のときは。
女は、こりごりですけどね。
あんな試練ばかりでしたし。

しかし、YHVHがプレゼントしてくれるというので、
パンドラじゃなければ、頂きますし、
パンドラ（5人の愚かな女）だったら、返還します。

もう式神がいるので、いいのですけどね。

選民回収は、5人は誤認だったということで
10万年に1人現れる予定なので、
今後400人くらいは私の天上界エリアに来る予定です。

そういう「誤認」のサービスを再臨した日本でつけておきました。

マタイ

25:14～忠実なしもべは○、なまけものは×

この話にあるように厳しいです。捨てられないように主の役にたたないとダメだと書いています。

不法領得の管財人

マタイ

25:14 また天国は、ある人が旅に出るとき、その僕どもを呼んで、自分の財産を預けるようなものである。

さっきと同じ話ですがね。

くつつけてもいいのですが、一応色んな話の案があったので、これも言いました。

オーディエンスもちょっと変わっていましたね。

主の旅というのは、私の旅のことです。

『大天使ミカエル～～伝/戦記』にあるように
色んな試練の旅をしてきました。

25:16 五タラントを渡された者は、すぐに行って、それで商売をして、ほかに五タラントをもうけた。

25:17 二タラントの者も同様にして、ほかに二タラントをもうけた。

25:18 しかし、一タラントを渡された者は、行って地を掘り、主人の金を隠しておいた。

上から優秀な順ですよ。主のためにやってくれたしもべから
並んでいます。

25:19 だいぶ時がたってから、これらの僕の主人が帰ってきて、彼らと計算をしはじめた。

25:20 すると五タラントを渡された者が進み出て、ほかの五タラントをさし出して言った、
『ご主人様、あなたはわたしに五タラントをお預けになりましたが、ごらんのとおり、ほかに五タラントをもうけました』。

25:22 二タラントの者も進み出て言った、『ご主人様、あなたはわたしに二タラントをお預

けになりましたが、ごらんのとおり、ほかに二タラントをもうけました』。

25:21 主人は彼に言った、『良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ』。

25:24 一タラントを渡された者も進み出て言った、『ご主人様、わたしはあなたが、まかない所から刈り、散らさない所から集める酷な人であることを承知していました。

25:25 そこで恐ろしさのあまり、行って、あなたのタラントを地の中に隠しておきました。ごらんください。ここにあなたのお金がございます』

主のことを怖がっていたので、預かった金を膨らませずに、土の中に埋めていたという言い分です。

25:26 すると、主人は彼に答えて言った、『悪い怠惰な僕よ、あなたはわたしが、まかない所から刈り、散らさない所から集めることを知っているのか。

25:27 それなら、わたしの金を銀行に預けておくべきであった。そうしたら、わたしは帰ってきて、利子と一緒にわたしの金を返してもらえたであろうに。

25:28 さあ、そのタラントをこの者から取りあげて、十タラントを持っている者にやりなさい。

25:29 おおよそ、持っている人は与えられて、いよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう。

今、金がバーッと入っているのですよ。
こういう駄目な人間からとりあげた金で、
こっちへの入金が多いのですよ。

金の話で表現するのは、
本当は、金のことは嫌いなのですが、
約束事項なのではないのですよ。
神の予定ですから。

もう、嫌っているほど、ガンガン入るようになったのが
試練の成果なのですよ。

今、ものすごく金が入っています。

報いを書いてきましたが

神のために捨てたら、ものすごく入るようになるのですよね。

25:30 この役に立たない僕を外の暗い所に追い出すがよい。彼は、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう』。

天国からしめだされて、大変なめにあいます。
これくらい厳しいのが、選民ですね。

弟子は、
主のために、金を稼いで下さいね。
教会は、金がいるのですよ。
修道会は、食べさせていかないといけないので、
無料では、やっていけないですね。生命を預かっている立場として、
責任ある衣食住医着の環境を提供し続けないといけないのですよ。

食費がかかりますよ。
光熱費も多少がかかります。
あとは、ほとんどかからないです。
低くても1人8万円くらいはかけてあげないと
ちょっとみすぼらしいですよ。

だから、私の弟子になって教会を運営していきたいというなら
やっぱり宗教法人とか大学法人を作って、天上聖壇や法学アカデミーの教え（アカデミックな講義）を教えていったらいいですよ。

理由は、法人化すると、もうやる気が離れていかないじゃないですか。
面倒な手続きになってくるので、離れたらだめという
しめつけ感があります（笑）。

そのいましめをくびきとして、負っていくといいですよ。

付属に看護大学も作って下さい。「白衣の天使」ということでね。
天使大学とかいうと学校あるのですよ。

だから、名前は、
どういう名前をつけてあげるかということ

「聖ミカエル修道会」…男用修道会

「聖ガブリエル修道会」…女用修道会

「原始キリスト教会」…宗教法人

「原始キリスト教大学」…大学法人（神学部、看護学部）

以上です。

金は、人が集まって、働いた金を布施していけばいいです。

そうすれば、できあがっていくものです。

決死の覚悟で、勇気を出して、やっていって下さい。

そうすると、良い徳になります。

くれぐれも金儲けをする所ではなくて、

自分と生徒を同じように見て下さい。先生（ラビ）というのは、私だけか、レミエルまでの話なので、

今回の戒律にあったように、先生などと言わないように。

「友よ」とか「同胞よ」とでも言っておいて下さい。

運営側は金は捨てて、徳を得る所です。

女の子が多くなると思いますが、女と男は教える所を完全に分けて下さい。

女は女だけのコミュニティ、男は男だけのコミュニティで活動して下さい。

肉の欲が入るからダメなのですよ。

それも、女で優秀な子は選民として天の父 YHVH が回収する燔祭になるのですから。

マタイ 25：1～13 でやりましたよね。

私が、実は天の父 YHVH なのですよ。

大天使ミカエル役を演じている

天の父 YHVH なのですから。

私に捧げるために、人類が終わるまで、

言われた通りに運営していって下さい。

全員が平等。上とか下をつくっては失格です。

退職はいきなりはさせないほうがいいけど、
停職して、その間に、私の教えを総ざらい復習して
反省して、悔悟です。やり直して下さい。

25:31 人の子が栄光の中にすべての御使たちを従えて来るとき、彼はその栄光の座につくであらう。

全て返せ

→選民は天国で平安に生きていける

マタイ

25:34 そのとき、王は右にいる人々に言うであろう、『わたしの父に祝福された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために用意されている御国を受けつぎなさい。

こう言われても返して下さい。

全部、天の父に返して下さい。

そういわれると、どこに住むんだという話になりますので
結局、専用個室的な天国を与えられます。
階級別に1フロアー与えます。

マタイ

25:35 あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であつたときに宿を貸し、

25:36 裸であつたときに着せ、病気のときに見舞い、獄にいたときに尋ねてくれたからである』。

25:37 そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。

25:38 いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し、裸なのを見て着せましたか。

25:39 また、いつあなたが病気をし、獄にいるのを見て、あなたの所に参りましたか』。

25:40 すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである』。

マタイ

25:41 それから、左にいる人々にも言うであろう、『のろわれた者どもよ、わたしを離れて、悪魔とその使たちとのために用意されている永遠の火にはいってしまえ。

25:42 あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせず、かわいていたときに飲ませず、

25:43 旅人であったときに宿を貸さず、裸であったときに着せず、また病気のときや、獄にいたときに、わたしを尋ねてくれなかったからである』。

25:45 そのとき、彼は答えて言うであろう、『あなたがたによく言うておく。これらの最も小さい者のひとりにしなかったのは、すなわち、わたしにしなかったのである』。

25:46 そして彼らは永遠の刑罰を受け、正しい者は永遠の生命に入るであろう』。

ここは、蘇民将来の話とコタン将来の話と同じなので
スサノオと蘇民将来とコタン将来の話を調べておいて下さい。

善因善果・悪因悪果の話が、日本の神話にもあったのですよ。

=====ひとやすみ=====

ここからは、あまりたいした話はないです。

処刑されて、復活して、昇天していただくの話です。

教えは、行く前に言っているので、

40日のパレードみたいなお祭りの話です。

ここからは、小説的構成の物語です。

そんなに逐条的に拾っていく感じの所ではないですね。

大事なのは、足を洗うという話（ヨハネ 13:1-17,
13:18-20）

宣教大命令を出した（マルコ 28:18-20、ルカ 16:15-20）

という2点に大きな掟の骨子があります。

そこで、今回、私も1日くらいで書いたのですが、

休みたいなあ～って思うんですよ。

安息日を下さい（笑）。

だって、もう、ここまで弟子と一緒に追体験していたら

3年くらい、イエス・キリストと旅をしてきて、

その教えも私という指導霊の解説つきだったのですよ。

これは、聖霊の御霊、この教科書を学べば、

その人の心の中に私の真理の言葉が宿り、
聖霊がいるのと比べて少し近い機能を発揮していくのですよ。

なんか、疲れてるときって、全部やったような気になるんですよね〜（笑）。

次の日も頑張れたら書きますけどね。
用事が多いのでね。他にも、色んな仕事が山積みなのですよ。
1人で1日で5万人分くらいの仕事を毎日しています。

もし、ここで終わってもいいように、ポイントだけ
<https://video.fc2.com/content/20221119NrWwYsu1>
この動画を何度か視聴すればいいですよ。
ヨハネの書です。
あとは、こちらを読んで、教えをざっと把握すればいいですよ。
<https://allahyhwh.web.fc2.com/bible/taisyoun.html>

他にも色んな教科書を書いてきましたので、
それを参考にすれば。
<https://allahyhwh.web.fc2.com/>

=====ここまでのまとめ=====
ここまででまとめることは、
キリストは、愛の教えを説いたが、
その愛とは、集団生存の心だった。

人が一人で生きていくのではなく、
集団の思いを大切に、集団の心の平安というものを軸にした
生き方というものを説いていきました。

パッと聞かれたら、その中で何をしたいか分からないと思うのですが、
殺人や姦淫や盗みや偽証がダメだったと。

姦淫は上述の通り、美少女の乙女が YHVH の選民になる可能性があるため、
捧げものの対象です。手をつけたらいけないためです。
重罪になります。

マタイ

15:19 というのは、悪い思い、すなわち、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、誹りは、心の中から出てくるのであって、

15:20 これらのものが人を汚すのである。

マルコ

10:19 いましめはあなたの知っているとおりである。『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。欺き取るな。父と母とを敬え』

ルカ

18:20 いましめはあなたの知っているとおりである、『姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証を立てるな、父と母とを敬え』

マタイ

22:37 イエスは言われた、「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。

Deuteronomy 6:5

22:39 第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。

Leviticus 19:18

みてきた中で、こういうものが、中心的な掟でした。

こういったものから読みとることは、人間関係も和でいかないといけないということです。

神とうまく和で生きていくために、全力を尽くしていく訳です。

次に、人々を自分と同じように思う訳です。

そうすると、自分のしてあげたいことを人にしてあげられます。

そうすると、天の父が隠れてみているので、報いを後で与えます。

最後にもっといいまとめがありますし、

冒頭にも、同じがまとめがあったと思います。

ここまですべて読んで理解したうえで、

このまとめの公式にたちかえって下さい。

※導出公式

そこで、掟（為すべきことの判別方法）

の導出公式を私流に下記にてまとめますが、

エルランティ流も書いておきますね。

結論だけ、先に書いておきます。

導出公式（YHVH流）

1. 因果応報

善因善果←愛又は感謝を代入（することで、行動の正解を算出する）

愛…自分がしてほしいことを相手にする/相手のしてほしいことを進んで相手にする

2. 忍耐…1は最後まで貫徹する（命がなくなるまで）

導出公式（エルランティ流）

愛と信で心と行動を統一すること。

愛と信を行う対象は、第一に神であり、次に人。

これが聖書の奥義である。

解説をしますが、

1. 因果応報（善因善果・悪因悪果）の大原則を先につくったのですよ。宇宙創造の前にね。前からあったネタでした。

これがあるために、あなた方の生き方は

善因善果というものを狙い続ける生き方が最善ルートになります。

その善とは何かという代入に関しては、愛又は感謝を代入するといいです。

愛の方が最善になります。感謝だと、何でも間違えないのですよ（笑）。

阿呆な人だったら、何でも感謝していただいいですよ（笑）。外さないのですよ。

でも、最善をついていきたい人は、愛を代入したほうがいいです。

すると、愛って何？という話になります。司祭からも教えてと言われたのですよ。

先述のように共同生存における幸福増進（日本国憲法13条の幸福追求のようなもの）ということになります。

愛を行動にあらわす場面は、「自分がしてほしいことを隣人にすること、相手が希望していることをしてあげること」です。

「自分がしてほしいことを隣人にすること、相手が希望していることをしてあげること」を行動に代入すると最善が出ます。

すると、まず、神を相手として考えて

「自分がしてほしいことを隣人にすること、相手が希望していることをしてあげること」を代入するべきです。

すると、結構色んな話を、このテキストで読まないといけないのですが、

「私を唯一の神 YHVH だと信じ」て「テキストの勉強と大宣教」ですよ。

普通は、そのレベルです。更に、全財産を投げて、私の教会とか大学をつくった人は、報いは大きいですよ。

大選民状態ですね。1号は大選民。3号くらいまでは徳が大きいです。数が少ないうちののでね。

といっても世界中にたてるのかというと、たてて下さい（笑）。

美少女だったら、それに加えて、みそぎはらって、悔悟して、直接選民を目指して、メールフォームから「選民として入所希望」と送ることですよ。

当然誰とも男とはやらない。一生。

2は、それを最後まで続けるということです。死ぬまでです。

そうすると死後の審判のときに、もう特別審査を開始しますよ。再審やります。

特に新しい善行があったということですから、過去の罪をゆるせるのかどうかを審判し直しますから、これらの教科書で書いた徳積みにチャレンジして下さい。

次はエルランティ流になると、

やっぱり、これでも同じ内容ですね。結論は、ほぼ同じ内容が出る公式ですが

内面を浄化して、綺麗にして、行動と一致させて、偽りがない行動を神に捧げ続けるという聖人のコースになっています。

心の面で、心と行いを一致させる毎日を生きて、その一致が、神への信と愛にあふれているという生活です。

祈りではじまり、感謝で終わるような、つつがない生活になるでしょう。

静かな生活をしていくことになるでしょう。それが平穏でいいのですね。

やることは、さっき書いたことと変わりません。

特に心を見つめて、心から邪をはらうことを常に考えて、行いと一致させていくことに。

その奉仕業を1に神、2に人に向けていく生活にあけていくわけです。

愛とは、私にとっては、求めているものが多いので、やはり、さっき書いたことをしていつて下さい。

個別のルーチン設計に関しては、1日の細かい用事を下にたてようとしていますが、それよりも

大観的に人生で大きなポイントをおさえる得点が大事ですね。

例えば、美少女なら選民になるためにメールフォームから送って合格して入所するとか、教会や学校や福祉施設（養護センター等）をつくるとかですよ。

1日の細かいルーチンとしては、細かい点数の積み重ねになりますが、毎日繰り返して間違いがないようにするために、ルーチン表を作って自動処理に近い形にしていくといいですね。

=====

マタイ

26:29 あなたがたに言うておく。わたしの父の国であなたがたと共に、新しく飲むその日まで、わたしは今後決して、ぶどうの実から造ったものを飲むことをしない」。

私は、幼少の頃から、ぶどうジュースが大好きだったのですよ。

ぶどうジュースを飲んでいるときに、この頃の記憶（昔の記憶）の特別なインスピレーションを起こしていた（私の忘却していた記憶を思い出そうとする気になる力が働いていた）のですよ。

なぜ当時好きなのかなという、当時、天から送られていた気持ちだったのですよ。

それが、なぜだったのかというと、ここに答えがあります。

ずっと我慢していたので、おいしいのです。

ここは私自身にとって私がイエスだというあかしになっていました。

あなた方にとっては客観的証明になっていないが、

自分にとって明らかになっている所です。

今でもぶどうジュースばかり、毎日飲んでいます。

当時水が不衛生だったので、

アルコールというものがよく飲まれていましたが

宴席（婚礼の席や過ぎ越し祭）でも飲んでいるように

祝福のときに受ける意味合いがあります。

ヨハネ

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

私は、ぶどうの木ですから、実りがある訳です。

でも、実は枝から出て、実からジュースを飲めるわけですから

弟子がしっかりとすることが、私の喜びだったのです。

ヨハネ

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

15:8 あなたがたが実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。

イエスも同じことを言っているでしょ。

私につながって実を豊かに結ぶ弟子になるなら父は喜ぶと書いてありますよね。

私がぶどうを实らせる木であり、その私が来たことは
天の父が、ぶどうの実をとって、ぶどうの汁を飲まれると書いてあるわけですから（マタイ
26:29）
今回私が来たことは、天の父が、ぶどうの汁を飲まれる
祝いの意味がある訳です。

今後、多くの弟子が、私が残した言葉につながるという定めになっていますから。
今の私は毎日、たくさんぶどうの汁を飲んでいます。
ほぼ毎食飲んでいきます。

アルコールは、今の時代は昔と違って清潔な環境になったので、もう飲まないのですが、
ぶどうの汁が大好きなのです。このために作った実がぶどうだったのですから。

ここまでの話は、私がイエス・キリスト本人だったという
あかし（証言、証明、証拠）になっていますよね。
裁判なら（ここまでの証明があれば）絶対白です。
変な話でも採用して有罪にしているのが、あなた方人間の裁判なのですから、あなた方は、
都合の良い所だけ採用するのではなく、その慣例に照らして絶対白と言わないとダメなので
すよ。

マタイ
27:34 は、26:29 の約束があったので、飲まなかったのです。

カナの婚礼のときでもぶどうがテーマでしたし
イエスの血がぶどう酒だといっていますし
9:17 では自分をぶどうにたとえているくらいですから
特別な意味合いを感じるべきものです。

26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた、「今夜、あなたがたは皆わたしにつまずく
であろう。
つまずくとは失敗するという意味です。
イエスの件で失敗すると予言していました。

26:38 わたしと一緒に目をさましていなさい」。

26:40 それから、弟子たちの所に来てごらんになると、彼らが眠っていたので、ペテロに言われた、「あなたがたはそんなに、ひと時もわたしと一緒に目をさましていることが、できなかったのか。

寝ていたのですよ。弟子が。

眠っているときって、意識がないですよ。

自我が消えている状態です。自分が無いのです。

もう何しているか分からない状態が、寝ている状態なのです。

目を覚ましていろと神から命令されているのに

大事なときに寝ています。

ここから話が続いていきます。

ゲツセマネのときに「寝ている」と言っていたが

ニワトリが鳴くまで弟子たちは寝ていた。

ペテロが命をかけてついていくと言っていましたが

数年という短い期間の旅ですから習慣化できていないことは

すぐに戻ってしまうということに気をつけないといけない

という教訓です。

ニワトリがなくとペテロが正気に戻って泣きました。

神の子又は神から、「こうなる」と直前に言われているのに

それが守れないはずがないのですよ。

ペテロは「そんなはずない！私は主と共に死にます！」と決意していたのにですよ。

まさに直前に注意されているのですよ。

ただ、このとき現場を見ていたから、福音書が書けたという

機能を果たしているのです、一応役にはたっています。

ユダも正気に戻りました。すぐ銀貨を返しに行って

それでもリセットできなかったら、罪を償いために自殺しています。

こういう事態になることは、もともとやらないので、

このときは、群衆全体に強力なサタンが憑依していて

全員が正気でなかったことが分かります。

だから、ユダももともとそんな気持ちではなかったことが分かりますよね。

ずっとつき従っていたのですから。

イエスの兄弟にもユダという名前があるわけですから

主が恨んでいれば、そんなことになるはずないですよ。

ただし、ユダは悪霊でした。かなり上級の悪霊です。

天上界にいるときにユダと戦いましたが、

かなりしぶとくて強かったですよ。

イエスを殺すくらいで出てきた悪霊ですから

強い上級悪魔です。なかなか死ななかつたです。

私と比べれば戦闘力は高くなかったですが、ベルゼブブのような不死に近い

潜在力を持っていたため

大天使ミカエルとはいえ、タイマンで戦っても、この悪霊を消すのに3日かかりました。

あなた方は戦ったことがないから分からない話をしますが

不死の悪魔と戦う天使の試練の場合は、

戦いながら相手の不死の謎を解いていかないと

いつか殺されるのですよ。私と比べれば戦闘力が弱くても

殺せなかつたらいつか殺される可能性があるのですよ。

その謎を解くにあたっては、自分の持っている能力で倒さないといけないので

天照みたいな脳筋の戦い方しかできない天使とか

レミエルみたいに頭がよくても使える能力の範囲が狭い天使の場合は、

相手の謎が解けないのですよ。攻略できないのです。

それが今の配下の天使のNo. 1、No. 2のレベルなのです。

ガブリエルは、そこそこ強くても、戦闘系ではなく戦略系なので。

だから、大天使ミカエルしか倒せない悪魔が多いです。

上級悪魔の場合は、何らかの変な設定を神から施されているので

「上級」です。邪神といわれると、世界のNo. 1クラスです。

こういう悪魔と戦う場合、攻略に時間がかかります。

人間より遥か上の知能を持っていて、300万種類、400万種類以上の上級の神のわざを

持っている私でも

実験して計算して気づくのには時間がかかります。

アーモンが私にかけたみたいな復活封印をかければいいと思う

かもしれないが、1人1人によって構造の謎が全然違うので、

私にかけると封印術は私にしか通用しない。

アーモンは、エルランティから盗んだ解析能力を使って

私の全てを研究しつくして、やっと編み出してきた封印術が

それだったので、それが他の霊に通用する訳ではない。

人体の遺伝子を0から全て解析する以上に、

一人一人の悪魔の謎は不可解で難しい謎なのだ。

こういうのは神の子が神になるための試練なので、
親の神と勝負していったって勝っていかないといけない。
親から認められるためには、全てを統べる神の総合力が
あるかどうかを試される。それが大天使ミカエルである
私の試練だったのだ。
神は、自分で戦いにくる訳ではなくて、最後に待ち構えているが
そこまでたどりついて、やっと勝負してくれる。
だから、そこまでは悪魔と戦っていく試練だった。

私は、大天使ミカエルという名前がポピュラーなので
その名であらわしているが、神の獅子（ライオン）を意味する
大天使アリエルというのも、私の名前です。
それだけ強い戦士です。ある主の妖精を統括する立場の天使とも信じられています。
願いを実現する天使とも信じられています。
アリエルは、『サムエル記』下 23:20、
『歴代志』上 11:22、
『エゼキエル書』 43:15 で出る（「炉壇」と訳される）他、
『イザヤ書』 29:1、29:2、29:7 で
出てきます。

ヘブライ語聖書やメシャの石碑に書いてあります。
メシャというのは、モアブの王の名でしたが、メシアに通じている訳です。

「本当にそうなのか？」とか疑う人もいるが、信じたほうがいい。
「信じる者は幸いである」というキリストの言葉通りです。
私にその名をつけたのは、創造主 YHWH なのだから。
私が、「イエス・キリスト」だったことや「大天使ミカエル」「大天使アリエル」
だということは創造主 YHWH が神の権威でうちあげたことなのだし
神界言語で「偉大な神」「リソー・リーガスト」と名づけたのは
創造主 YHWH だということに注意しなければならない。
神に背くなら、色々反論するだろうが、そういう人間・悪魔がどうなったのかは
聖書に書いてある通り。
その神が来ているのに、無視するなら、そこに救いなんて絶対がない。

ヘブライ語で אֵלֶיךָ です。
これは、古代メソポタミアの冥界の名前であるアラリ（シュメール語）とアラルル（バビロ

ニア語)につながっています。

つまり、冥界の王である大国主神と一緒になのですよ。

昔からある名前の天使なのですよ。

だって、私がYHVHから、「大天使アリエル」と呼ばれて、

「神の獅子」と呼ばれているのだから、神の言葉に間違いがあるはずないでしょ。

ミカエルは戦士だし、百獣の王のライオンがトップなのですから、

ミカエルの別称なのですよ。

あなた方人間が勝手に言った所で、神が定めたものが変わる訳がないのに

信じないのは阿呆ですよ。メシアが来た時に従わなかったら、どうなるか聖書で書いてあるのに。

神の言葉に反するなら神への冒瀆罪ですよ。

審判で重罪になります。本当のことなのですから。

「そんなこと言ったらダメだ」とか寝ぼけたことを言っていたら、その人も人類も、すぐ滅びますよ。

そういう偽善者を警戒しろと福音書に書いてあるのです。

私はアリエルのこの写真が好きです。

<https://evaetlilit.com/wp-content/uploads/2021/10/Tumblr-682x1024.jpeg>

会ってもないのに結構良い所つくなあと思うのは、YHVHがインスピレーションで人間におろしたためですが、

それは私へのプレゼントのためでした。

話は戻るが、それくらい強い悪霊がばっこしている地上においては

不吉なことが沢山起こるたとえが、この福音書の話です。

ラマで泣いていますよ (エレミヤ 31:15)。

2歳以下の男児が虐殺された話だけで、この預言が

あったと思うのは安易ですが、

ラケルの子が二人死んでラケルは泣いていたわけですが、

1人はイエス、2人めは誰でしょうね。

あなた方なのでしょうか。それともユダなのでしょうか。

ペテロの魂なのでしょうか。

神の愛する子が二人死んだというたとえですね。

ラケルは、その「子ら」のことで泣いているということですから

皆さんの魂が葬られていることなのでしょうか。

サタンに支配されて、あなた方の魂は葬られたも同然です。

最後の審判なのでしょうか。
全てです。エレミヤの書の預言は、これら全てを
あらわしていたのです。

さあ、これを読んだら、正気に戻って下さい。
今までサタンに操られていたことを知って下さい。
私には、それが全部の人間について確認できているのですよ。
あなた方にない構造・機能、神の目では、世の全てが（同時に）見えるのですよ。
この神の目の見る力がなければ、これまでの聖書の解説は書けません。
この力は、神YHVHそのものの力（唯一神特有の力）だからです。
だから、あなた方に聖書の正しい解説が書けないのは当然です。
上級悪魔（サタン）をふりきる力、除霊の天の力がいないためです。
はっきり書きますが、3指に入っていた大天使ラファエル（ペテロ）でも
勝てなかったのです。
その責任から、ペテロは眠りました。今も眠っています。

ペテロの件もそうですが、預言者の予言は
確実に成就するようになっています。
そこに働いている力は、人間が抗えない強力なものと分かります。
この異状な事態がたて続けに起こっていたことから
隠されていた世の中の真の仕組みを悟らねばなりません。
あなたに不幸がこないためには、ここから何を学んでいかないと
いけないかが福音書の伝えたいテーマの1つなのです。

メシアと呼ばれているイエスではなく、
バラバ・イエスを釈放している訳ですから。
このときにイエスという名前の人間がいること自体、
不自然な神の操作だと気づかないといけません。怖いですね。

27:25 その血の責任は我々と子孫にある
→第二次世界大戦（ユダヤ人の大虐殺）など

何千人もが満腹するまで食べられるパンや魚を出す奇跡というのは、
経験していない人にとっては「嘘じゃないかな」と疑うと思いますが

経験している人にとっては、「当たり前」なのですよ。

これくらい私達も平常的にやっているのですよ。

何が起きるのかというと、突然景色が切り替わるのですよ。

ふりかえると全く違う世界のような出来事になっています。

どういう仕組みかというと、世界というのは、自由につくって
つなげることができるのですよ。そういう仕組みがありながら
実は、その説明をして、予めそうなるように設定されています。

何回も何回も人前ではやらないですよ。

それをやると信仰されて当たり前になってしまいますから

来ている私達にとっても試練にならないのですよ。

迫害されてナンボの試練をクリアするために、地球には来ている訳ですから。

ただ、私達は、これが当たり前なのです。

そういう奇跡を見たいなら、信仰することです。

「信じているから、そう思う」とかではないのです。

信じていない人には、そう思わせるように、

あえて隠している事柄なのです。秘密です。

ハッキリ書きますが、神殿を3日で建て直せるなんて

嘘じゃないですよ。当たり前で、そんな物体は出せますから。

やってないから、やれない訳ではないのです。

こっそりと、偶然に潜ませて、「そういうことはないのだろうなあ」と思せているだけです
よ。

実は、この世界は神の心の中で生み出した

マジカルな世界ですから、何事も起こせます。

起こしていないのは、結構うまい設計でできているので、

私達が生きていくうえでは、奇跡なんて必要ないためです。

普通に生きているだけで幸せです。

電化製品があるだけでも、もう十分ですよ。

2個、3個奇跡を起こさなくても、電化製品がやってくれます。

シャワーだって出ますから、イエスのときより良い暮らしができるのに
それ以下の天使達が、奇跡なんて起こすわけないし、
私だって、起こさなくて十分今の暮らしに満足しています。

でも出したことがありますよ。何度もやっていますよ。
めでたい日にピザをバンバン出したりとか
パソコンが壊れたので新しいパソコンを出したりとか
金がないときに金を出したりとか
役所登録するときに手続きに必要な書類を出したりはしましたよ。何回も。

火葬された後の人達が、どんどん生き返っている
ニュースを紹介していることから分かるでしょ。
こっそりやっていたのですよ。
死者がよみがえるのが神の奇跡なのですから、
この時期にどんどんそういうニュースがあふれ出ていたのは
私が預言者、神の子、神であるあかしだったのです。

そういうことは、振り返ると起きているのですよ。
ない所にある状態になっています。
通帳の数字も、一度見たときは、0円ですが
もう一度見ると、1兆円以上入っている状態に変わります。
変わりましたよ。今の所持金、めちゃくちゃ多いですよ。
それが奇跡ですよ。

イエスは、荒野での40日と同じ期間
生き返ってから滞在し、天にのぼった。

--福音書の掟を守れば幸せになれる--

原罪の報いは死であり
イエスはゆるしの権限を与えられて、世で教えを説いた。
よって、イエスの教えを守れば、永遠の命に入れるということです。
イエスは人間の罪のために十字架で身代わりに死んだ。
イエスの愛とは、ゆるしである。

これこそ、清さである。

だから、あなたは、イエスの教えを守らなければいけない。

イエスの人生で示した死と復活は、

これを守れば、罪はゆるされ救われるという意味なのだから。

なぜ、聖書は分かりにくいのか。

たとえを使うのは、ぼーっとしている人にとっては思考してほしい

練習問題で、意味はあったのですが、

「私の肉を食べ、血を飲む」とか、ひどい教え方をしていました。

自分でもひどいと思っていました。

普通の教え方をしていれば、皆、分かってくれたのですが、

普通の教え方をしていません。

福音書にも書いてあったように、これでは人は多く離れていきます。

わかりにくい教え方をわざとしていたのは、

「天の父の御心を行うために来た」と言っていた通り、

全員を救う気がなくて、

少ない選民だけを救うためにきたからです。

「私を信じるのが、天のわざ」なのです。

しめしとか奇跡は、原則的には信じられてから起こすのです。

真理を言いに行っていますが、前は、分かるようには教えていなかったのです。

2回来る予定だったからです。

だから、あんな言い方だったから、分かるわけもないし

「神を冒涇している」とか「悪霊にとりつかれている」とか言われて

ケンカになりますよ。ケンカをしに行っていました。

迫害を受けることが私の仕事だったためです。

例えば、

ヨハネ

6:35 イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。

自分がパンだというのは、意味が分からないと思いますが、

自分が天から下ってきて、自分の身を食べさせるという

イエスの愛ですよ。

愛なのですが、その言い方は誤解を招きたくて言っている言い方でした。

次に

ヨハネ

6:51 わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。わたしが与えるパンは、世の命のために与えるわたしの肉である」。

世を生かすための肉のパンとは、イエスがはりつけになることを言っていたのですよ。

ここは歴代 No.1 の酷い説法なのですよ。

悪魔崇拝教のような教えです。

イエスの肉なんて食べられる訳ないしイエスの血なんて
飲める訳ないのだから、全員助からないと言っているのかなと
皆が思って、イエスを殺すか離れようとするかだったのですよ。

しかし、皆はイエスを殺しますが、
世が救われるためには肉のイエスを殺すことが意味ではなく、
それは真理の言葉を理解して、身につけろという
意味だったのです。

だから、こう言われました。

ヨハネ

6:60 弟子たちのうちの多くの者は、これを聞いて言った、「これは、ひどい言葉だ。だれがそんなことを聞いておられようか」。

よって、イエスは私と同じように、こう説明しています。

ヨハネ

6:61 しかしイエスは、弟子たちがそのことでつぶやいているのを見破って、彼らに言われた、「このことがあなたがたのつまずきになるのか。

6:62 それでは、もし人の子が前にいた所に上るのを見たら、どうなるのか。

そんなことを言っていたら、私は、天に帰ってしまうと言っているのです。
元いた所（天上界）に私は帰ってしまうよと。

ヨハネ

6:63 人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。

肉を食べるのではなく、真の言葉を食べることです。

霊の内から出る言葉を食べて成長することが

命を得ることになるのです。

そして

ヨハネ

6:26 イエスは答えて言われた、「よくよくあなたがたに言うておく。あなたがたがわたしを
尋ねてきているのは、しるしを見たためではなく、パンを食べて満腹したからである。

ひどい言い分ですよ。イエスがいなくなったから、皆が小舟に乗って探して

見つけて、会いに来たら、「俺が出したパンを食べたから、お前らはついてきただけだ」と
いう言い分ですよ。

奇跡を起こしてちょっと良いことをしたら、本当にえらそうですよ。

1 食おごったくらいで、そんな言い方は言いすぎですよ。

ヨハネ

6:66 それ以来、多くの弟子たちは去って行って、もはやイエスと行動を共にしなかった。

6 6 6 は不吉ですね。大川隆法が死んだ数字も 6 並びでした。

信仰こそ命である

ヨハネ

6:67 そこでイエスは十二弟子に言われた、「あなたがたも去ろうとするのか」。

それで 1 2 弟子だけが残ったのです。優秀ですね。

これを試していた訳ですね。

もともと、この地上は、イエスみたいな方が来る所ではないのですよ。

話なんて絶対に通じないのですから。通じないのに、更に婉曲化して話して

ケンカを売るような言い方ばかりだから、

磔にあいました。

普通に生きていたら、そんなふうにはなりません。

誤解されることが多かったです。

当時のユダヤの律法もおかしいですから、おかしいもの同士でぶつけたらいいですけどね。

イエスの予言は成就する

ヨハネ

6:70 イエスは彼らに答えられた、「あなたがた十二人を選んだのは、わたしではなかったか。それなのに、あなたがたのうちの一人は悪魔である」。

このときに予言しているのはホンモノですね。

あなた方からするとすごい話だから、信じられないかもしれないが私にとっては普通のことなのですよ。

当たり前の話だから、信じる以前の問題です。

そういう生活をしている人にとっては、常識でも

見たこともない人なら、信じないかもしれません。

しかし、だからこそ、そこに信仰の価値があるのです。

その美しく光り輝く価値を試しているのです。

ヨハネ

7:27 わたしたちはこの人がどこからきたのか知っている。しかし、キリストが現れる時には、どこから来るのか知っている者は、ひとりもない」。

この論で話をするなら、イエスは天から下った魂です。

肉のイエスが話している言葉は天から来た言葉です。

よって、イエスは、昇天することで、

天から下った者だということをあかししたのです。

ヨハネ

7:52 彼らは答えて言った、「あなたもガリラヤ出なのか。よく調べてみなさい、ガリラヤからは預言者が出るものではないことが、わかるだろう」。

いいえ、そうではないですね。

ナザレから出るという予言が成就しています。

See Isaiah 9:1 and Matthew 4:13-16.

イザヤ

9:1 しかし、苦しみにあった地にも、やみがなくなる。さきにはゼブルンの地、ナフタリの地にはずかしめを与えられたが、後には海に至る道、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤに光栄を与えられる。

マタイ

4:13 そしてナザレを去り、ゼブルンとナフタリとの地方にある海べの町カペナウムに行って住まわれた。

4:14 これは預言者イザヤによって言われた言が、成就するためである。

4:15 「ゼブルンの地、ナフタリの地、海に沿う地方、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガラヤ、

4:16 暗黒の中に住んでいる民は大いなる光を見、死の地、死の陰に住んでいる人々に、光がのぼった」。

ナザレの原語はナーツアルですが、
旧約聖書に200回以上登場する言葉です。

ヘブライ語（ヘブル語）でיָצַח
と書くと「救う」という意味の動詞です。

ナーツアルの意味は救いとか生き残ったとか謝罪という意味ですが、YHVH は救いという
意味が

ヨシュア（イエス）の意味ですから、奇妙な一致を見えています。

そこから現れるのは、救世主として当然でしょう。

生き残ることや謝罪もイエスの使命をあらわした奇妙な言葉の一致です。

預言者だったから、こう動かされた訳です。

また、

<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12804142528.html>

ここにも書いておきましたが

マタイ福音書

2:23 ナザレという町に行って住んだ。これは預言者たちによって、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」と言われたことが、成就するためである。

→イザヤ書

11:1 エッサイの株から一つの芽が出、その根から一つの若枝が生えて実を結び、

11:2 その上に主の霊がとどまる。これは知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

11:3 彼は主を恐れることを楽しみとし、その目の見るところによって、さばきをなさず、その耳の聞くところによって、定めをなさず、

11:4 正義をもって貧しい者をさばき、公平をもって国のうちの柔和な者のために定めをな

し、その口のむちをもって国を撃ち、そのくちびるの息をもって悪しき者を殺す。

マタイとルカで使用されているギリシャ語形式 $\text{N} \alpha \zeta \alpha \rho \acute{\alpha}$ (Nazará) という言葉
この「若枝」は「枝」を意味するヘブライ語の 1 つ、つまり ne·šer「ネツァール」といって、
ネツァールが「ナザレ」の語源になっている。
イエスの根が、枝を結ぶという意味で、
救世主は、ナザレから登場するという暗示になっていました。

しかし、こういう狭小な見方による根拠を持っていたために
イエスを捕えようとしたのです。

8:3 すると、律法学者たちやパリサイ人たちが、姦淫をしている時につかまえられた女をひっぱってきて、中に立たせた上、イエスに言った、
8:4 「先生、この女は姦淫の場でつかまえられました。
8:5 モーセは律法の中で、こういう女を石で打ち殺せと命じましたが、あなたは どう思いますか」。
8:6 彼らがそう言ったのは、イエスをためして、訴える口実を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた。

イエスを捕まえる口実を得るために、このように質問をしてきました。

指で地面に書くというのは、
ここにも書きましたが
(<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12804961947.html>)

日本で再臨することが明らかになっていたのですが、
人さし指というのは、人を意味します。
地面に書くなら人さし指ですよ。
人を指して、地についているという皮肉をあらわしています。
つまり、「あなた方人間というものは、地から離れられない悪魔なのだ」という意味を表現していたのです。
それを説明するのは、私なのですよ。

イエスは、「イエスについてあかしをする人は
他にいる」と言っていました。

イエスについてあかしをする人は

他にいる

ヨハネ

5:32 わたしについてあかしをするかたはほかにあり、そして、その人がするあかしがほんとうであることを、わたしは知っている。

そして、人間からあかしを受けないと言っています。

イエスは人間からあかし（証言、証明、証拠）を受けない

ヨハネ

5:34 わたしは人からあかしを受けないが、このことを言うのは、あなたがたが救われるためである。

つまり、あかしをするのは、神か天使です。

私は、イエスのあかしのために神と大天使を送りました。

こちらも読んで下さい。

<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/>

ここで使われているあかしという用語は、
証言、証明、証拠という意味の言葉です。

じゃあ、

ヨハネ 8:6 で何で、この意味が「罪」に執着している意味だといえるのかというと

ヨハネ

8:7 彼らが問い続けるので、イエスは身を起して彼らに言われた、「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの女に石を投げつけるがよい」。

ここで、罪とハッキリイエスの言葉が出ているのですよ。

イエスは意味のないことをしないし、

神は、意味がないことを福音書で書かせないのですよ。

ページも無駄になりますから。命がけで書いているのですから、一語一語が大切だからです。

それで、イエスは

ヨハネ

8:8 そしてまた身をかがめて、地面に物を書きつづけられた。

とあるのですよ。

ヨハネ

8:9 これを聞くと、彼らは年寄から始めて、ひとりびとり出て行き、ついに、イエスだけになり、女は中にいたまま残された。

全員が、罪があることを認めました。

ヨハネ

8:10 そこでイエスは身を起こして女に言われた、「女よ、みんなはどこにいるか。あなたを罰する者はなかったのか」。

身を起こしたときは、罪から離れたということですから、
去った人々もゆるされ、救われたという意味なのでしょう。

YHVH の神は、罪から離れる者をゆるすほど
寛大さも持っていますから。

知りませんけどね。だって、ここにいた全員は
その後に、他の罪の件で地獄におちているのを（私は）見ましたから。
罪がゆるされても、他の罪を犯して地獄に行っていますし、
この件でゆるされたとしても、前から他の犯罪があったのでね。

そこはゆるさないというのが YHVH の妙なので
注意して下さいね。

だから、同じことをイエスは言っていました。

ヨハネ

8:11 イエスは言われた、「今後はもう罪を犯さないように」。

しかし、こうも言ったイエスは、何と謙虚な方なのでしょう。

ヨハネ

8:11 イエスは言われた、「わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」。〕

神の子として神から全てを教わり、
地の全ての権限を与えられているイエスには、
生殺与奪の権利があります。

そのイエスに罪などあるはずもないし、
福音書を読んでも、古いユダヤの律法（おかしいルール）以外の罪は、
一切認められないし、その罪ですらイエス・キリストは創造主なので、
イエス・キリストが自由に創設できるのですふぁ、
それでも肉の人間として、皆と同じようにしてくれた訳です。

「安息日を守らないからイエスはメシアではない」と当時言われましたが
イエスは創造主ですから安息日の掟は自由に変えることができます。
そのイエスが、変更して更改した新しい律法が福音書にある律法なので、
今回、この律法をまとめていたのです。

古いユダヤの律法を守らなかったイエスは罪人なのでしょうか。

かつて、神から送られてきた使者＝預言者
は、彼らにことごとく殺されてきました。
そんな彼らの生活している律法が正しいはずがあるのですかね。

イエスは、「こんな所に、もう来ない」とか
「カファルナウムが呪われる」とか、言っていましたが、
ユダヤ人というのは、どこかで何かを間違えているのではないのでしょうか。

モーセの律法というものが間違えていたのでしょうか。
でも、モーセの律法を読んで守るようにとれる発言もイエスはしていました。
イエスは「(モーセの律法のここは)間違えている」と言って訂正した所もありましたよね。
「もともとはそうではなかったが、あなた方が変なことをしつこく言うから、変えられたのだ」とか言っていました。

そこで、あなた方よりも神に近いモーセが神から得た律法であったとしても
モーセも神から「だらしがない」と言われて怒られているのですから

「特別法優先の原理」が働いていることが分かります。

特別法優先原理というのは、法学において、
法の形式が、上位の法が、下位に勝って優先適用される意味です。

天上界の位階が1位である私が書いた言葉こそ、まず最初に適用されます。
そこにルールがない場合は、5位のミカエルも私ですが
8位のイエスの言葉が適用されます。それは、四福音書にある内容です。
私は、四福音書の内容をほぼ全て網羅的に拾って
もう一度自分の言葉で書き直したため、
イエスの律法のほぼ全てが私の律法になっています。

しかし、ここに規定がない場合は、
部下のルールが適用されます。

それは、天上聖壇やレミエルの法学アカデミーで書いている内容です。

天上聖壇

<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/>

法学アカデミー

<https://ameblo.jp/mikal-yoiaame/>

位階は、こちら

<https://allahyhwh.web.fc2.com/>

この「第2」に書いてあります。

ベルゼブブも位階3位のバアルの神ですから
話を聞かないとダメですよ。

法学には

まず、「特別法優先の原理」があり、
次に、「後方優先の原理」があります。

後方優先の原理とは、
同じ私が書いた言葉だったとしても、

後で書いた規範を優先適用するルールです。

これが私達（これまでの旧約聖書の預言者も含めて）が書いてきた聖書におけるルールなのです。

つまり、旧約聖書なんて、全然使わないのですよ。

福音書と使徒行伝の8章までを読んで使って下さい。

なぜなら、イエスは
「全部を教える」と言って、全部を教えたのですから。

ヨハネ

15:15 わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。

全部を弟子に教えたと書いてあるのです。
その全部が書かれているので、
私は四福音書と使徒行伝8章までを勉強させているのです。

つまり、本当は四福音書しかいないのですよ。

いないのですが、多くは語ってないのですよ。
それは、こちら。

ヨハネ

14:30 わたしはもはや、あなたがたに、多くを語るまい。この世の君が来るからである。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない。
16:12 わたしには、あなたがたに言うべきことがまだ多くあるが、あなたがたは今それに堪えられない。

全部は教えましたが、言うべきこと（解説）はまだまだ多くあったのです。
それは、この時の弟子のスペックではたえられなかったので、端的に掟を中心に話して
私の話の続きは、後で来る今の私が書こうとしていたのですよ。

それは、こちら。

ヨハネ

8:18 わたし自身のことをあかしするのは、わたしであるし、わたしをつかわされた父も、わたしのことをあかしして下さるのである」。

「天の父が、イエスのあかしをする」というルールになっているのです。
つまり、それをし続けてきた私が、天の父 YHVH なのですよ。

それは、霊で来ると書いてあります。

ヨハネ

16:14 御霊はわたしに栄光を得させるであろう。わたしのものを受けて、それをあなたがたに知らせるからである。

霊で来ていますが、マタイ福音書 24 章にあるように
肉でも来ているということは、霊・肉が一体の受肉の形式で来ることまで
分かるのですよ。

「私の教えを受けて、もう一度得させる」という予言の通り
四福音書のおさらい、全部のおさらいをやってきましたよ。
人類に向けて、世界中に向けて、ネットを利用して発信しましたよ。

ヨハネ

15:27 あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのであるから、あかしをするのである。

弟子も、あかしをするとあるので、
福音書と使徒行伝 8 章までは読んで下さい。これらは弟子が書いた本ですから。

私はイエスと最初からいました。
同じ魂の分霊がイエスだったのですから。

何で、こんな教えをしてきたかというと

平安を与えるため

ヨハネ

14:27 わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わた

しが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。

ヨハネ

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」。

平安のためなのですよ。

平安のための教えが今までの教えだったのです。

===== 1日のルーチン=====

(これらの掟を全て網羅したルーチンを設計するのは極めて困難)

掟の導出公式 (汎用的法則)

ここまでみてきて

1. 全てのルールに、「因果応報」が根幹に流れていることが分かりましたよね。

やったことが返ってくるというルールが背景にあるので

「やってほしいことはやってあげて

やってほしくないことは相手にやらない」ことが大事だという

ことを念頭にすれば、100%正解します。

2. ここに、全ての掟は「地からの報いではなく、

神からの報いのために、最後まで耐える」ものという

公式を足せば、戒律の全部が導き出せると思います。

例えば、「イエスを信じること」「イエスを信仰すること」

という掟が多く登場しますが、

「因果応報」で考えると

相手が神なので、良いことが起きてほしいなら、神を信じないといけない。

あなたの報いというのは、神を信じる良き報いなのか、神を信じなかった悪い報いなのかという考え方で処理できます。

もう1つの導出の方は、「自分がしてほしいことをする/相手がしてほしいことをする」こと

で考えると、

神だったら何を求めているのか、あなたが神だったら何をされたいのか、それをすることであなたは、神からしてほしいことをされるという法則も導き出せます。

そうすれば、「最後まで耐える/最後まで報いを受けない」という公式がありましたが、信仰においても、最後まで貫くことが、神の求めていることですし、神の喜びだと分かりますよね。

あなたが、将来大きな報いを得たければ、それを「長く続けることが必要」になります。

例えば、「因果応報」が前提の公式ですから

「立派であるから」（原因）「良い報いがある」（結果）訳です。

この原因と結果が、きちんとつながる思考・行動をすることです。

道理（合理/論理）を守って下さい。

目にはりがあるって、正しくみれないなら、正しい行動は出てこないです。

そこで、目のはりをとって、真理の言葉を聞いて学べと言われていたのです。

だから、「立派であるなら」「良い結果」が起きます。

なぜなら、それを教えている相手は、神なのですから。

これは、ものすごい考え方を教えています。

神の掟の全部を導いてくる考え方（法則）というのは、神でしか

あみだせないのですよ。これらの掟を（考えて）作った神だから、（その考え方を）書けることです。

これは、神のあかしです。ここで私を神だと分かってほしいです。

このように公式があれば、ひねった応用の場面においても、

思考することで、正解が分かるようになります。

しかし、せっかくなので、全ての掟を反映して

あなた方の日々の予定表を作ってみます。

・（今日の食ではなく）神の言葉を求めること。

祈り「私は、神を拝し、神を信じ、ただ神にのみ仕えます。

これからは悔い改めて、イエスの掟を守って生きていきます。

そのイエスとは、この執筆者・預言者の方です。

この正しい努力が、私に報いを与え、永遠の命へとつながるものだからです。」

祈り「神よ、私を憐れんで下さい。

罪深い私を憐れんで下さい。」

祈り「敵を愛し、敵のために祈る時間です。

私の敵は・・・です。

私は彼（彼女/彼ら）を愛します。

彼（彼女/彼ら）に福音がありますように。

ベルゼブブに平安が訪れますように。

そして、彼が求めれば、私は拒みません。」

祈り（YHVH 改変 [バージョンアップ]）

「神に栄光あれ。

神の国が来ますように。

私が、貧しい者に全財産の施しをしますように、

全てを捨てて、執筆者である主に従っていくように（マタイ 19:21、19:27）、

日ごとの食物が今日も皆に与えられますように。

私が、罪ある者を許すように、

皆が天の罪を許されますように。

私が、試みを喜んで受け入れ、み手にゆだねるように

悪しきものは遠ざかり、義で地は満たされますように。」

★「神をもてなす。

→そのための苦しみを受ける。

→それを益として考えて、又は感謝をして、

最後まで続けるという生き方」

この構図（パターン/手筋）が成り立つ。

→ここで、★「捧げもの」もルーチンにする。

（私は美少女集めをしています）

★私だけの掟

福音を宣べ伝えること。

★目立つ場に出て、イエスの律法の教えを守る手本を多くの人に見せなさい。

→ 4 : 0 0 ~ 6 : 0 0 に追加

・心貧しく生きること。豊かではないということなので
明るく生きてはいけない。(心が飢え渴いているのは幸福に至る証拠。成功している証拠。)
神のために悲しんで下さい。負債を負って下さい。
いつでも優しくあること。
いつでも清く。
平和をつくる。

ふみつけられても、掟を守る良い人であってほしい。
でも心はいつも満たされず乾いていることが重要。

つまり、
★「苦しい思いをすること」。
将来の益のためである。
★「今、(地上で) 報いを受けてはいけない」。

・天に入った日は、喜び踊っていいですが、
それまでは、つまらない顔をしていろ。

つまり、5章のここまでの簡単な話
★神のために〔イエスの律法を守って〕迫害を受けても、清く生きなさい。
それを目立つ所で手本を見せなさい。
という掟は、1つでも破ってはいけない。

・不法な思いを捨てなさい (ルカ)

腹をたててはいけない。
和解をしろ。
姦淫禁止・心の中でもHな妄想禁止。
離婚禁止・離婚された女をめとるのも禁止。
女と関わるな/結婚するな (マタイ 19:10-12、マタイ 22:30)
一切誓うなと書かれています。「はい」か「いいえ」しか答えるな。それ以外は悪だ。
復讐禁止/裁くな
敵を愛し、敵のために祈れ、神が慈悲深いように/完全な者になるために。
自分がしてほしいことを相手にしてあげろ (掟)。

神が慈悲深いように、慈悲深くなれ。

与えよ/求める者に与えよ。

施しは隠れてせよ

祈るときも隠れて報いを受けるな

恩寵を得ようとする祈りをするな

許せ

苦しいときは気づかれるな（先に報いを得るな）

天に宝を積み

全財産を捨てろ/施しは全部を売り払い、イエスに随行せよ/今得ていると大損をする（マタイ 19:21、19:27-30）

真理の光（イエスの言葉）で全身を照らしなさい

金に仕えず神に仕えよ

悩むな（/考えるな。信じろ。/神の国と義を求めよ。）。

裁くな、罪を定めるな

盲人よ、他人を導かずに目のちりをとりなさい

偽善者かどうかは結果で判断しなさい

聖句を悪魔にやるな。金の施しを金持ちにするな。

求めよ。主をさがせ。主の門を叩け。

まとめ：してほしいことをしろ

局所的な判断においてはジリ貧の道を進め（大衆迎合するな）

偽預言者を警戒しろ（悪い結果を起こす導きをするため）

イエスを信じることは岩の上に家を建てること（信じて、行え）

--

追従に耐える/全てを捨てて私についてくること

私に従って来なさい

優しい言葉をかけること

イエス（私）がいるときは断食をしない/私がいるときは断食をする

信仰が救いになる

信仰通りになる

ささげものをして、人々に証明しなさい

「宣教をしろ」という掟

困っている人に「ただで与えろ」という掟

「財布の中は無一文でいろ」という掟

「宣教をして」「会った人に平安を祈れ」という掟

賢く、素直であれ（掟）

迫害に耐えなさい

「人間を信じるな」「神を信じろ」という掟

--

主のために逮捕されて、あかしをしなさい

逮捕された後に何をどう言おうかと心配するな

キリストの信仰者なら、すべての人に憎まれるであろう。しかし、救われるために最後まで耐え忍べ

キリストの弟子でキリストを超える者は出てこないことを知れ

悪魔の害を恐れず迫害に立ち向かえ

いくら悪口を言われてもキリストの教えを伝えよ

人間から体を殺されても、主から魂を滅ぼされることを恐れなさい

恐れずに、主によって一羽も地に落ちることがないはずめより勝った運命を生きなさい

キリストを受け入れる者が、天に受け入れられる

キリストを拒む者は、キリストから拒まれる→キリストを拒むな（導出される掟）、一応私が打ち消しておきますが、守ったほうがいい結果になります。

キリストのために、隣人・家族を捨てろ

キリストのために死ななければ、キリストと共に在る者ではないし、命を得られない。→キリストのために死ね（導出される掟）

神から受け入れられるために現世降臨している肉のキリストを受け入れなさい

同じものがかえってくる（因果応報）→良い行いをしろ（導出される掟）

キリストを信じれば幸せになれる→キリストを信じろ（掟）

闇とは交わるな（掟）。洗礼者ヨハネもボロカスに言われていた（光と闇は交わらない）

キリストの恵みがほしければ重荷を負うて苦労しなさい（掟）

精神安定のためにはキリストから学びなさい。そうすれば荷は軽いため。

人間社会の法を破っても正しいことをしなさい（現代～未来に通用するものとして改変した掟）

真理の言葉の学びと行いによって、キリストによって悪霊を追い出されろ（掟）。平安を獲得する。

聖霊を人間より尊重しろ。聖霊に対する冒とく罪・反抗罪は決してゆるされない

天の父の御心を行え（掟）

悔い改めれば癒される

困難・迫害に負けずに私の教えを守れ。益は100倍にもなる（成功法則）

全てを犠牲にして天を求めよ（掟）

これらの戒律は、何かをやったときの応手が多いので、

決めたこと以外は、何もやらないという予定表が安全です。

1つの方法としては、全部を祈りとして読んでいく方法。

もう1つは、仕事をする日常に、これを含めると、下記の注意点を念頭におかないといけません。

ーこれを反映するとー

・これを反映すると、深刻な問題ですが、
キリスト教組織でしか働けなくなります。

金を得てはならないのです。

金の奴隷ではなく、神への奉仕者でなければならない（マタイ 6:24）。

そこで、生活のために、いろいろするのは、
兄弟・同胞のために、金銭という対価を発生させずに、
行っていくキリスト教組織として、
行っていく必要があります。

そこで、仕事は、キリスト教会。

・もう1つは、国家への税金も、どちらかというと
おさめずに、キリストが建てた教会におさめるほうが良いと言っています。
宮への税は、神の子は払わなくてよい
マタイ 17:24-27

これは、せこい言い方をしていますが、自分の口ではなく、相手から言わせるのですよ。
しかも、誘導しています。そう答えさせています。答えが1つしかない質問の仕方です。
それだったら、「この世は全て神が作ったものなのだから
派遣された神の子は、全てを任されているから、払わなくていい」と言えばいい訳ですよ。

ただ、イエスは優しくかったので、魚の口から払わせました。

税金は、全て創造主から与えられたものなので、創造主があてさきになる。

マタイ 22:15-22

マルコ 12:13-17

ルカ 20:20-26

ただ、それだと信者に攻撃が強烈にくるので、イエスの愛は、
信者を守って、どちらでもOKという「ふう」にしていますが、
本当は、神が正解です。100点と10点くらいの違いがあります。

実は、本当の意味は、相手に考えさせて、相手に答えさせる
せこい言い方をしています。これが本当の意味です。

答えは、もちろん「神に払うこと」です。相手もその答えを望んでいました。
そう言ったら、相手は「ハッキリ言う人だな。預言者かもな・・・。」と言って帰りました。
そのかわり軍隊ももっと早く来ていましたね。
それを自分の口ではなく相手に答えさせるスタイルにしました。

国家に払う人はだらしがないですよ。
福音書を読めば分かるように、私はイエスの頃から
「税金払ってないんですか？」といつも言われていましたが、
私は、税金なんて、ほとんど払ったことがないです。
払うほどの金が残ってないです。全財産を布施してきましたから。
税金なんて払いたくもないから、貧しい人達に施しますね。
それは国家に協力する悪ではないので。生命を生かすことは未来への良い可能性を残すこ
とになりますから、
今は福音を教えて教育すると共に命を生かす活動をしている期間です。
最後の審判の刑の執行の時期は全部終わりますが、今はまだ教育の時間なのですよ。
本当は国家の政策なんかに協力したくないので一度も払ってないのですが、
「源泉徴収？」というやつで、少しひかれたことがあります。
それは私が払ったものではなく、勝手に払った人がいたのです。
イエスのときも、魚の口からコインが出ると言った話があったように、少しは払ったことが
ありますが、
私が、税金を払わないから、「皇帝に税金は払わなくていいのか答えてほしい」と質問され
たことがあります。
それは、私が払わないから、窮する質問を投げかけようとした人がいたのです。
だから、私が、最後に「天から受けたものは天に返せ。」と言ったのですよ。
そうじゃないとカッコウつきません。単に「国に払う/払わない」の答えじゃないんです。
このように、私は税金を払いたくないから、「自立」をして生きています。
福音書にもペトロへの質問で書いておきましたが、何で払わないといけないのですか？
税金という仕組みは、国家の活動を応援する仕組みですから、私は、違法な国家活動を応援
していないので、

その罪から離れたいのですよ。その私が、払えなんて余人のセリフを教える訳ないですよ。私は払いませんよ。一生払いませんよ。絶対にね。

刑務所に連れていかれたとしても、殺されるとしても払いませんよ。曲がったことは嫌いなのでね。たとえ、命を失うとしても、神が与えますから、私は死を恐れないのです。正義を守るために生み出され、正義を教えるために派遣された天使ですから。恐れを捨ててください。掟を守る人には神がついています。

だって、私達（YHVH/私/部下の女神や大天使も含めて）は、金はバーンと出せるですよ。皆、神祖の直系の子の神か大天使なのですから、物を瞬間的に創造して出現させる力があります。私達ほどの上級の力だと、フィールド実現の力があるですよ。福音書でもイエスが魚の口からコインを出すと言っていました、無から有が出現するのが神の力です。

「年金をおさめろ」とか言って回収に来た人がいたので少し恵んでやったことがあります、それ以外で一度も払ったことがないです。本当は全額を貧しい人に布施しないといけないなと思っているのですが、天の父からの命令で、入金・出金を行っている、それをしているのは私の意思ではないのですが、最近、バーンと預金を与えられただけで、最近執筆で忙しくて、布施に時間が回ってなかったですが、教会の費用で使えと言われていたので、持っているだけであって、自分の分では全然使っていません。

だから、税金に関しては、どれだけ迫害を受けてでもキリストが建てた教会におさめるべきです。否、そうしなさい。命令です。掟です。天の父から正式に、そう命令が出ました。キリスト教の戒律です。もはや、国家というものの違法活動を見すごす訳にはいきません。間違ったことなのに、それに協力し続けるのは悪です。罪です。すぐに離れて下さい。それで受ける迫害はよいことです。天の父は喜び、多くを報いるでしょう。

私、国家に所属している人間って本当に嫌いなのです。クズのクズです。キリスト教の教義に照らして悪いことだと分かっているのにずっとそこで生きている人はサタンの子ですよ。へびの子、まむしの子です。

キリスト教会が、自治団体として、農作業をやったり、工場を営んで、自立して生活できるようにしないとダメですね。これからはロボットとかAIの時代ですから、ロボットに作業させていけば、人間の労苦は少なくなっていくでしょう。だから、島でも得て、独立国家を主張していったらいいんじゃないですか。

対外的には独立国家を主張しないと認められないので、主張しながら、
対内的には国家ではなく、平凡な平均的平等をうたって、全員で仲良くやっていけばいい訳
です。

原始キリスト教の国家にすれば、国家に払ってもいいですよ。
ただし、それ以外の国家に払うということは、国家の政策を応援していることになります。
すると、その国家が間違えているのだったら、罪を増やすことになりますよ。
ということで、逆算して、実は、国家に税金を払うことをYHVHの神は禁止しています。
その規定です。

だって、カエサルの顔が描いてあっても、描いてあるだけなのですから、
本当は命がけでもキリストに払ったほうがよかったですよ。キリストがいない世なら神に
おさめるべきです。
使徒としては、キリスト教の信仰者のための使徒ですね。生活のために、毎日配給をする
かして、欲が入らないように
資本主義みたいな贅沢ができないように、分配していくべきです。
キリスト教は人間は神のもと平等だという考えに立脚しているため、キリスト教国家は社
会主義国家です。

もう1つの根拠としては、ここでは、「国家（皇帝）に払うべきかどうか？」と質問されて
いるのに、
最後に突拍子もなく「神に返せ。」という答えを言われているのが、答えです。
だって、「国家に払うべきか？」の質問への答えは、「国家に払うか払わないか」の二択の答
えしかないのに、
質問にない答えがあるというのは、イエスの答えだということを強く推測させるもので
し、結論というのは最後にくるものですから、ピリオドで終わるものが答えでしょう。
そして、YHVHが、ここで、はっきりと「国家に払うな。キリスト教を生かすために払え。」
と書いている答えが答えです。
なぜなら、国家より尊いものだからです。
価値というものは、どれだけの人間を天上界に運んでいくかで決まります。
国が考えることは、昔から常に国益優先だと言いながら経済の話ばかりでした。
金の奴隷が地獄に行くとイエスから教わっているのですから、
国とのかかわりを切らないといけません。
あなた方の国は、心の中にある天の王国です。その王国の王は、主YHVHです。
あなた方が外の世界で税金をおさめてしまえば、その国家の働き、その運動を助長してしま
います。

ますます税金を吸収していく組織になっていくでしょう。

400年くらい続いた平安時代に近づけなければいけません。

平安時代は、これまでの日本で一番長かったの時代です。江戸時代よりも長く続き、ひらがなに代表されるような穏やかな国風文化が発達しました。

そして、この時代の特徴は、国家が死刑を廃止していました。

中国においても死刑が廃止されていて、治世と呼ばれていました。

平安時代というと桓武天皇が始めたのが有名ですね。「794年うぐいす平安京」というゴロは知っていますよね。あの頃からが平安時代です。

桓武天皇の息子が嵯峨天皇です。嵯峨天皇は、文化の面でも、弘法大師空海（「弘法も筆の誤り」という言葉は知っていますよね）と並んで三筆の一人で有名ですし、当時の律令制の補強を行った人ですが、

死刑を廃止した徳から聖君と評価されていましたが、嵯峨天皇は、えん罪による処刑を懸念して、818年から死罪を遠流か禁獄に減刑したのです。これ以来、日本では347年間という長期間にわたって、律令による死刑は執行されなかった。つまり約350年くらいの長い間、日本では死刑がなかったのです。

キリストも冤罪で処刑されたのですから、人間の原罪に近いような負債を消したというのは素晴らしい行政なので、その契機となった人にはソロモン級の才能を与え、三筆に数えさせました。

平安時代というと、最澄と空海が有名ですが、当時、日本には新しい仏教というものが入ってくる頃でしたし、神仏習合の本地垂迹説も出てきたくらいで、影響を受けていました。

私はヨハネ黙示録の予言の成就のために平和な時代に安倍晴明として来臨していましたが、武力ではなく呪術をもって悪霊と戦って、国家の平安をつくっていったのです。

当時の平安時代は、税を逃れる人たちが多く、国家も放置に近い良い状態でした。

ここは、歴史の解説をする頁ではないので、軽く触れるくらいにしておきます。

私が安倍晴明で来た時代だったので、少しだけ解説をしておきます。

平安時代で覚えておくことは、受験する学校で違いますが、

遣唐使を廃止したことで、国風文化・かな文字が発展していったことや、

遣唐使廃止を訴えたのは、現在、学問の神だと信じられている

菅原道真。

藤原氏が、天皇に娘を出して結婚させることで天皇の外戚になる手法で

摂関政治を始めたこと。摂政というのは、天皇が成人になるまで政治を代行に行うことであり

最初は摂政でしたが、

関白というのは、天皇が成人してから政治を代行に行うものです。

そうすると、天皇は何もできなくなるのですよね。

藤原氏が沢山娘を出してくるので、権力を取り戻したい天皇家と藤原家の戦いになっている歴史でした。

4人も出したのが藤原道長、私の肉体の直接の先祖です。

4人も出したので、権力がすごかったので、歴史に名前が残っています。

宇多天皇とか醍醐天皇とか、日本史で受験するなら、色んな名前を覚えなさいといけませんが、これくらいは覚えておかないと、受験勉強もできないのかなというレベルです。

覚えるのにも時間がかかりますから、一夜漬けは無理ですよ。

脳のニューロンが形成されてくるのには時間がかかるので

スキルというのは一朝一夕では身につかないです。3か月やってもまだまだです。

10年くらいやっていると長期記憶が習慣化で固定されているので、ブランクがあってもそんなに忘れなくなるのかなと思います。

ちなみに、神仏習合に関しては、実は大体の日本の神は、仏教の仏なのですよ。

全員が対応している訳ではないのですが、名のある神は、仏教でも高い位の仏です。

そういうふうに作りました。

だから、神仏習合は間違いではないのです。

--結論--

(下記だけが正解ではないですが、例えば養護施設で働く別解や
大学で教える別解もありますが
正解肢は、これくらいで少ないです。
ここではベストの正解と、そのルーチン表を書いていきます。)

そこで、キリスト教会で勤めながら、

宣教活動をすることで迫害を受けて、

それを良いことだと捉えていくことです。

生活に関しては、家事をやって、

敵のために祈り、全財産を施し（修道院での生活なら、これが可能）、

辛いことほど良かったと思って、感謝することもいいですが、

暇な時間は福音書を朗読・再生、私が作成した対照表で朗読していく。

こういうルールをあなた方それぞれの予定の時間に合うように作っていただければいいです。

例えば、修道院の生活でしたら

私の所だと0時起床ですが

すぐ祈って

入浴・洗濯・掃除

自分の生活の身支度をやって

買い物をすませて

施しと

宣教をやってから

福音書の勉強をします。

ビデオの再生でも、朗読でも、私の教科書のチャート（対照表）確認でもいいです。

それから、調理とか生活の事務とかをしないとイケないですが、

そうしたら、また祈り、福音書の勉強をして、

それから寝るということになります。

定時に観想の放送が流れるので、

そのときに、「神の愛があったために、自分は今生きている。

生きているなら、恵まれていたのだし、

よって、自分は幸せなのだから、

神に常に感謝しています。」とか、

やる気が出るような音声とかミュージックで

「常に悔悟して、霊と水で新たに生まれ変わるんだ！

そうして人生を好転させるんだ！」

という内容の観想を10分とか15分くらい

定時に流れるので、それでサタンが入っているおかしい人でも精神を
正常な所に正すことができるのです。

それができていないと、間違えた思念になってしまって、

そこから、おかしい思考・行動に発展していきます。

だから、3時間おきくらいに、座標を確認して正すような
ふりかえりは必要ですね。

途中、6時間おきくらいに食事はあります。

6時・12時・18時が食事時間で、間食は0時・21時くらいに摂食可能です。

それが、私の修道会・教会の生活です。

あなた方の生活におろすなら、まず仕事の面を

キリスト教会での奉仕活動にしないと

もう、絶対に無理になっています。この教えは。

だから、全世界キリスト教化のための

書物を書いています。

まあ、あなた方人間は頭が悪いから、変な仕事をしないと

生活していけないのですが、
金の奴隷にならないように、賢明に生きて行ってほしいです。
金というものが存在することで人間がすさんでいきます。金を求める人間は人間を食べるクマと同じです。
社会から奴隷化を消さないといけません。
自分で仕事の処理ができないのだったら、
こちらを頼って、入門して下さい。
門を叩けば応じると福音書に書いてありますから、応じます。

私みたいな預言者は、カトリック教会に行っても
司祭から「死ね」とか「刑務所に捕まれ。罪人が。」
「お前みたいな罪人は世の中にいないし、
こちらの誰もがお前みたいな罪は犯さない。
神はゆるせと言っている、お前のことだけは許せない。
私は被害者と同じ感情です。
神から、あなたを助けるように何度も言葉が下ってきているが、
それでも、あなたのことを考えると常にムカついてくる。
預言者か何か知らんけど、私はローマ・カトリック教会の司祭だから、あなたより偉いんだ。」
とか吐き捨てられて
私は無実ですが、どこも優しく受け入れてはくれなかったのも、
私は、そういうのではなく、道を求めている人には、
優しく導きたいと思っています。

でも、敵のために祈るというのは、ガブリエルがいつもやっていました。
分霊の人間の女のコが皆やっていました。
私もやっていましたが、いったんそれはやめて戦ってといわれていたので、
その戦いが終止符を経てから、回帰してきました。
元のイエス・キリストの心にかえってきましたが、
戦いばかりだったので、昔の自分の愛とか、そんな心を思い出すには
福音書ばかり読んで思い出していますが、
だいぶ違うことをやってきたなあと思って、悔い改めています。
そんな過去がある私の心は常に貧しいです。
だから、私は幸いです。天の国（の一番上に圧倒的1位で）に入れると神祖YHVHから言われているので。

戦記ではリソー・リーガンストと書いてあって、

それも事実ですが、人間に公表する用の名前を書いています。
神界だと私の名前は、もっともっとカッコよくて
「偉大な神」という名前を神祖YHVHからつけてもらったのです。
だから、「偉大な神」という名が、私の本当の名ですが
人間には、明かさないです。名を教えるだけでもけがされる（冒涇されてしまう）ので。
まむしの子らには教えないというのが、高貴な神のルールです。

洗礼者ヨハネはエリヤの生まれ変わりですよ。
あなた方のことをまむしの子らと言っていましたけどね。
罪を悔い改めて、生まれ変わって生き直して行って下さい。
そのためには罪を知らないといけないから、聖書の勉強を教えていました。
もはや、これほど福音書が偉大と分かったなら、イエスの戒律に反することが罪だと思った
ほうがいいと思います。

神YHVHは、人間のことはいつも罪人だから罰すると言っていますが、
私のことは、いつも「賢い」「賢い」「立派だ」「偉大だ」と
ほめちぎってくれます。だから、私は、苦しくても、その苦しさが幸せです。
神が自分の名を呼んでくれる。こんなことは、人間の頃は、ありえなかったし、理想もとび
こえていますよ。
神がいるので、私はどんな辛いことがあっても一人じゃなかったです。
神の存在が分からないときは、いつも自殺しようかなと思っていたのですよ。
それくらい世が腐っているので、阿呆な所でやってられなかったのです。
しかし、自分の使命を思い出し、神と天使がいることを知り、
天上界に戻る目標があるので、聖書の完成と宣教（福音書の完成と公表）は、必ず成し遂げ
ないといけない事業です。
神が在ることは幸せであり、救いです。世の光です。その気持ちを伝えられるといいですね。
私の人生記を通じて。

==まとめ==

去り際のこの教えの通り、究極目標が、この平安にあるということです。

ヨハネ

14:27 わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わた
しが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またお

じけるな。

ヨハネ

16:33 これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」。

永遠の命があったとしても、地獄で永遠に苦しむのだったら、そんな永遠の命に何の意味もないのですよ。

豊かな実りを無限に出せる成長・発展をしていかないと。
あなた方が得る実とは、あなた方が実らせた実から出る益なので
それまで努力をしていかないといけないのです。

努力していないと、益は得られません。
そのぶどうの実を出すのは、あなた方の努力なのですから、
私は、ぶどうの木・枝・実にたとえていたのですよ。

それは天の父と正しくつながった努力でないとはいけません。
その努力を書いてきたのが1つ1つの掟でした。

その掟は広範にありますから、1つ1つにとらわれると
見落としがあるでしょう。
そのつまずきによって、心から平安を失うことにもなるでしょうから、
大切なのは、全ての掟を導出できると教えた、先のこの法則です。

重要度★★★★★

掟の導出公式（汎用的法則）

1. 全てのルールに、「因果応報」が根幹に流れていることが分かりましたよね。
やったことが返ってくるというルールが背景にあるので
「やってほしいことはやってあげて
やってほしくないことは相手にやらない」ことが大事だということ
を念頭にすれば、100%正解します。

2. ここに、全ての掟は「地からの報いではなく、
神からの報いのために、最後まで耐える」ものという

公式を足せば、戒律の全部が導き出せると思います。

理由の追加は、行動というものは、

その時点で終わると、やったことにならないのですよ。

大局では、

最後まで貫徹して、やったということになります。

大局的見地からの益を得るためには、

その実りも、大局的見地から生んだ実りでなければいけないのです。

よって、公式2の通り、努力し続けることです。忍耐し続けることです。

パッとやってパッと終わったら、報いもパッと終わります。

永遠に続くものとしては、天の父が、もうこれでいいという

ゴールまでやらないといけません。

私が人生にたとえて教えてきた

オセロでは、バーンバーンと終盤ほど色が激変していきますが、

最終手を打ち終わったときに、全部の石の色が確定するのですよ。

それまでは、白（善）なのか黒（悪）なのか、普通の人間の読みでは分からないのですよ。

全知の神なら分かっていますから、その善というものを

書き現したのが、本書など、私達が発行した教科書だったのです。

あなた方にとっては、善か悪か、今は分からないでしょう。

地獄におちて、その状態が永遠だと分かるまではね。

天国に行きたい人だけ、私（達）の教えを守って下さい。

全員に守れとは言っていない。好きにして下さい。その結果が、あなた方の報いですから。

ただ、私達も私達で、好きに宣教していきます。

世界中がイエスの弟子になることを目標にして、

その目標は持たされて、使命として送られてきた

神・天使達ですから。

しかも、最高神が、ここまでの経験（ミカエル受肉伝、ミカエルクロニクル）をしてから、
来臨して教えている本書の価値を知って下さい。

ラビといえば、狭義では私の他にありません。

その私から習える書物が、これらです。

1つの書を開くだけでも、完結的な内容を学べます。
それら全てをつなぎあわせて、飲み込めた時、
あなたは、天の父から相応の実り（永遠の生命＋平安）を得るでしょう。

平安だけでも、すぐ死ねば、あまり意味はないでしょう。
永遠の命だけでも、ずっと不幸に生きるなら、ないほうがマシです。
よって、これら2つを同時に手に入れられる書物が、この書物（福音書）なのです。

※福音書は完成された奥義であるが別解も存在する

福音書の読み方は、冒頭に書いたように広範な情報量の中から
最後まで多くの被造物の人生を見てきた創造主が、最終手まで読み切った結果
正解は、ほぼ1つしか存在しない。
細かい筋では分岐はあるが、大きな筋では1つしか絞れないから「1つ」と書くのは正解だ。

私は、「因果応報」が大前提のルールであることを証明したが、
その因果（原因・結果）になるものとしては、
キリスト教以外にも、仏教、憲法、道徳というものも存在することを（別書で）書いた。

しかし、全ての中でも、福音書は完成された清い奥義だ。
最も、あなたが清ければ、あなたが（後で）満たされる恵みは、清いものになる。
神に清くあってほしいのであれば、各自が清くあることだ。
神を知りたいなら、あなたが清くなることだ。
清ければ、清い訪れがある（因果応報の原理により）。

清くなるには、まずは、神を信じて、
懺悔をなさい。
肉の欲を捨てなさい。
邪な情は、肉から生まれるものだ。
よって、あなたは地上を離れるために、全ての財を
貧しい人達に施し、
神のために奉仕をして生きるのだ。
その掟とは、あなたが、福音書を学んでおさめて血肉とし、
次に、その福音書を原典通り、世界の人々に伝えていくことだ。

このあなたの犠牲が、イエスが体現した体のパンを与える行為だとはいえない。

イエスは天上界の位階8位の優れた者だったからだ。

私とエルランティを除けばイエス・キリストが最も優れた者だったからだ。

私は、天の父から、「もうイエス・キリストを超えてしまっている。

アラートの教え (<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/entry-12776185356.html>

<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/entry-12776186094.html>) あたりから文筆では超えていたが、

アラートはガイアだしエルランティが化けているから、イエスを超えるのも分かるが、あなたは、天上界1位の偉大な神だから、明らかにイエス・キリストを上回っている。そのような者は、これまで存在しなかった。」と先ほど言われた。

この教えの目的が、どこにあるのかというと

天の父の清さ（最後に味わう快さ）のためというのが1つの目的であるし、

天が清いルールによって包括的に平安であるためでもあるし

地が天と同じものとして吸収されるためにも、

必要な教えだった。

信じて行うのであれば、本書のみで掟の習得は十分だが、
更なる学びは奨励する。

なぜなら、その都度、魂に善の意が刻まれ、
あなたの魂は清くなるからだ。

その刺激は多面的で、その時間は長いほうが、
サタンの色々な角度からの攻撃に耐えやすくなるためだ。

冒頭に書いたように、サタンは実在する生命体であり、
イエス・キリストをも殺した奴らなのだ。

神とは霊であると聖書にあるように

この世で、霊によらずに起きることは何1つない。

あなた方が、その肉の欲に負けるときは、必ずサタンの作用がある。

大天使ミカエルの人生記で伝えたかったことは、サタンに抗う方法だった。

しかし、その上位には、運命論という原理が成り立っている。

理由は、神の安全を図るためだ。

想定外のことが起こらないようにするために、神は、この物語を
予定として予め設定し、今は再生をしている途中だ。

よって、限られた選民しか残らないだろう。

しかし、この世界、この物語の中では、その運命論の話はせずに、

物語の中で決められた私（軍の総帥ミカエル）のセリフを書くが各自がサタンと戦わなければいけない。自分（の魂の独立）を守るために。私は、できるだけ人間が勝ちやすくなる方法を授けたのだ。罪から解放され、あなた方が魂の平安を得るためには、キリストがおろしてくれた法を第一の優れた法として学び、実践して生きていくことだ。これが一番優れた方法だから、私は、キリストの掟を教えたのだ。

残念ながら、全知の私でも、あなた方が生き残っている未来は見たことがない。しかし、この法から離れれば離れるほどあなた方は、より凄惨な地獄を見ることになる。1つでも2つでも掟を実行し、1秒でも2秒でも長く真理の掟を心に思って生きることだ。永遠の牢獄にとらわれるのか、罪をゆるされるのか。それは、これからのあなた方の努力によるものだ。

戦いといっても、あなた方の戦いは剣を捨てた戦いだ。あなた方の戦いは、愛によってなされなければならない。それは不屈の忍耐であり、安易な剣を用いるよりも立派な者の戦いだ。あなたの痛みは天に届き、その徳は、あなたに必ず返ってくる。人の痛みを自分の痛みと思うなら、これ以上世界を傷つけるのをやめなさい。あなたの愛によって、世界に、私の教えを説いて浸透していけば、その中に生息するあなたに痛みが返ってこないようになる。もし、私の教えを説いていても、あなたが痛めつけられるなら、それは世からあなたが離れた証拠なのだから、その時は、私があなたを天にひきあげる。どちらであっても、あなたにとっては得しかないのだ。

あなたが私の教えを学んで（行動が私の教えに）従えるようになっていれば、あなたが次に為すべきことは宣教でしかない。天の父の栄光のために、あなたは天の父の教えを世にひろめるのだ。あなたが、その教えのために世から傷つけられるほど、天の父は、あなたを立派だと思うだろう。それだけ大きな報いを後で用意しているだろう。

誤解されている所を説明する。

イエスが命を捨てたのは、選民を救うため

ヨハネ

10:11 わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

10:15 それはちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。

10:14 わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。

10:16 わたしにはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼となるであろう。

10:17 父は、わたしが自分の命を捨てるから、わたしを愛して下さるのである。命を捨てるのは、それを再び得るためである。

10:26 あなたがたが信じないのは、わたしの羊でないからである。

10:27 わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしについて来る。

10:28 わたしは、彼らに永遠の命を与える。だから、彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らをわたしの手から奪い去る者はない。

つまり、イエスが磔になったのは、全ての民を救うためではなく、イエスを神だと信じる、限られた数の選民を救うためだったのだ。

短く書くと、キリスト（今来ている私）を神だと信じ、私が書いた掟を守ることだ。

律法と預言者は全てこのためにあったのだ。

聖書は私についてあかしをする書物だと聖書に書いてある通りだから。

救いとは、永遠の命だけでなく、豊かになること

ヨハネ

10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。

私が、先に書いたように、永遠の命だけ与えられても、地獄で拷問を受けるなら与えられない方がマシなのだ。

その救いとは、永遠の命だけでなく、豊かになることもプラスされた救いなのだ。

イザヤ書 6:106:10 あなたはこの民の心を鈍くし、その耳を聞えにくくし、その目を閉ざしなさい。これは彼らがその目で見、その耳で聞き、その心で悟り、悔い改めていやされることのないためである」。

ヨハネ 12:40「神は彼らの目をくらまし、心をかたくなになさった。それは、彼らが目で見ず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである」。

神は、キリストを殺そうとする人達の目をみえなくし、
彼らの心をかたくなにした。こうして、彼らは目で見ず、
心で悟らず、悔い改めることがない。

私は、彼らを癒さないとある。

つまり、キリストを信じない民は、神が作っているものであり、
神が、その民を癒さないためだ。

ここから、「因果応報」の法理が大原則になっていることを見なければいけないのだ。

善因善果の法理がある。これは、良いことをすれば、後で良い報いがあるということだ。

この究極は、キリストを信じ、その掟を守れば、永遠の命を得られるだけでなく、豊かになり、平安が与えられるということだ。

悪因悪果の法理がある。これは、悪を働いた者は、その報いを受けるということだ。

例えば、キリスト教にも帰依せず、仏法にも帰依せず、イスラム教にも帰依せず、儒教にも帰依せず、

このような人間にルールなど無いが、憲法（近代の立憲民主主義的憲法）や国際人権規約も守らなかったり、道徳に反して生きた人間。

自分のことばかり考えて、多くの損害を同じ場に生存していた同胞達に与えてきた人間、
こういった者は、終わり（審判）の日に、蘇ることになるが、永遠の地獄に閉じ込められるのだ。神の目線から見ると本当の意味では永遠ではないが、10の70乗くらいの年数はゾンビだらけの監獄に閉じ込められ食われ続け、キャベツを千ぎりにするようにずっと切断されたり、ミキサーに閉じ込められたり、

その後で棺桶に入れられて火で焼かれ続ける。

それは、あなた方に分かるように例えを用いれば、電源が ON になっている電子レンジの中で死なずに生き続ける苦しみだ。

全知の神は、その全知の力をフルに発揮して、地獄のコースをたっぷりと用意しているから、
今、まさに、正しい教えに

向かなければならないときなのだ。

この世には、神が存在していることは、福音書が書かれたことから明らかになっている。

神が存在するため、どの人間も神からの報いというものは、受けることになる。

多くの国の伝承・聖典にも共通して見られる原理であるが、それは、生前の生き方によって判断されるということが、この福音書からもあらわれている。よって、神から良い報いを受けるためには、神が定めた天のルールを知り、それを行って生きていくことだ。こういう人間が義人というのだ。あなた方も義人になりなさい。

あなたには、この意味が分かりますか？簡単な問題です。

ヨハネ

13:8 ペテロはイエスに言った、「わたしの足を決して洗わないで下さい」。イエスは彼に答えられた、「もしわたしがあなたの足を洗わないなら、あなたはわたしとなんの係わりもなくなる」。

なぜ、キリストから足を洗われないと、関りがなくなってしまうのでしょうか？

1分以内に答えられないと、キリストとの会話についてこれないですよ。

自分のレベルを知って下さい。

答えは、「キリストの洗礼を受けないと」新たな自分として生きていくことにならないためです。

「」内は必ず必要になるワードです。

理由の説明をすると、

土というのは、地です。地というのは、創世記で蛇がはっている地だと分かりますが、肉に関連した邪な悪がはびこっています。これゆえ、私は、選別試験に地上を選んでいるのですが、

地で生きてきたよごれというのは、罪・けがれです。けがれとは、心の中にあれば、新たなけがれた考えを生み、その考えは行動となって外に出ていくのです。

イエスが洗ったのは、単に足ではなく、心の浄化をたとえていたのです。

弟子と別れになりますから足を洗ったという話に混ぜ込んで、実は、このような意味を仕掛けていたのです。

ここでの良い回答は

「この後で、私に、主の足をも洗わせて下さい。」と言うことだったのです。

そうするとイエスも洗わせてくれました。

このような弟子に対する報いとしては、イエスは、別れをせずに、まだまだ共にあったでしょう。

ということは、その弟子は、死を回避できたのです。

そうすると、ここでイエスも私と同じことを言っているだろ。

ヨハネ

13:12「わたしがあなたがたにしたことがわかるか。

分かるかときいている。

次に

ヨハネ

13:14 しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである。

だから、イエスの足を洗うと申し出なければいけなかったのだ。

なぜなら、

ヨハネ

15:14 あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

15:15 わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。

共に歩めないのは友ではないよな。

イエスと共に歩みたいなら、共に歩めるように、イエスの心を各自の心にしなければならなかったのだ。

何年も一緒にいて、そうではなかったら、弟子達にイエスにあった蘇りはなかった。

イエスと共にある友なら、蘇ったのだ。偽善者パウロに騙されることもなかったのだ。

ペテロは、イエスの羊を飼えと言われたが、パウロの邪魔のために守れなくなったのだ。

私が来直すまでは、キリスト教というのは、根底から失われていた。私が再臨するまでの間は全く違う教えに改ざんされていた。

この一文（ヨハネ 13:8 の一文を読んだだけ）で、そこまでは最低でも分からなければ、あなた方は、何も良いことは考えられないし、あなた方の考えからは何も良いものは生まれな

いのです。

よって、あなた方の為すべきことは、ただ私が命じた、これらの掟を守ることに他ならない。

※再度まとめ

しかし、多くのことを書いてきたから、人間であるあなた方には、その都度引き出せないだろう。

よって、まとめの公式を与えた。

それは、愛に生きるとか、感謝に生きるとか、書いてきたが、因果応報の仕組みが大前提になっている。

よって、為したことが、後で各自に返ってくる。

よって、良いことを為すということは、相手がしてほしいこと、自分が誰かからされたいことを相手にすすんでしていくことだ。

イエスが、足を洗ったなら、イエスの足を洗うと申し出る人間の登場を待っていたが、それがなかったのは残念なことだった。

イエスが身代わりになると言っただけになろうとするなら、それでも止めるという人の登場を待っていた。

そうすれば、天の定めによって、変えられない不幸があったとしても、私は、その者の不幸を取り除いたのだ。

預言の予言は成就されなければならないが、私は術で眠らせるなどして、その間に、予定をこなしていただろう。

そこで、あなた方は、ここまで読んできたことの消化として、どう消化するのが、持ち運びしやすい導出公式になるのかということ

因果応報を前提において、次に、良い報いがあるためには、したことが返ってくるのだから、こうしたら後でどうなるのかを

結果までを計算することによって、正しいルートを選んで生きていくことだ。

ここでのポイントは、2の苦難への忍耐だ。苦難への忍耐を得だということだ。

結果の計算は、論理というもので考えて算出しなさい。論理が分からないなら、大天使レミエルの教科書で学び、オセロのように計算していきなさい。

<https://ameblo.jp/mikal-yoiaame/>

<https://ameblo.jp/mikal-yoiaame/entry-12781324994.html?frm=theme>

<https://ameblo.jp/mikal-yoiaame/entry-12786270707.html?frm=theme>

私は、何も考えられない人には、愛の念だけで生きることや、感謝の念だけで生きingことを教えたが、

更に、精密な回答を出していく方法としては、

この導出公式を常に使うことだ。そして、大きな人生設計から組み立てていき、それら定石化したものを自らのルーチンとして、
そこに書いていないことに踏み出ていかないことだ。定石を踏み外すなということだ。
よって、この生活ができる環境は、キリスト教会が望ましいが、従来のカトリック教会ではなく、私は、
私の教会を、これらの教えの岩の上につくっていく、新たなペテロ達の登場を待っているのだ。

※ペテロは私の住まいにいない

大天使ラファエル（ペテロ）は、アーモンに殺されたが、その後、この世界には、生き返らせていない。

あなた方は「そんなことあるのか？」と疑うかもしれない。

ここを読みなさい。

ヨハネ

13:33 子たちよ、わたしはまだしばらく、あなたがたと一緒にいる。あなたがたはわたしを捜すだろうが、すでにユダヤ人たちに言ったとおり、今あなたがたにも言う、『あなたがたはわたしの行く所に来ることはできない』。

しばらくは弟子と一緒にいるが、他のユダヤ人達と同じように、弟子達も、「私と同じ所に来れない」と予言しているのだ。

だから、私は、わざとペテロにつまずきを用意して、ニワトリがなくまで3度否定させた。

更に根拠を教えてあげましょう。

マタイ

10:38 また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。

できないから捨てられたのですよ。

マタイ

10:39 自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。

できないから、もらえなかったのですよ。

ペテロ達は生き返ってないでしょ。

死んだ使徒達はイエスのように復活しなかったのです。

それが、あかしです。

ヨハネ

13:27 この一きれの食物を受けるやいなや、サタンがユダにはいった。

私がパンを与えるとサタンがユダに入るのだから、サタンもまた私が操っていることが分かるだろ。

創造主は、全てを創造した。その中には当然サタンもいる。

私は全てを自らの意に反さない計画通りに作ったと書いたな。意外な出来事が起きないようにするためだ（よって、予言した預言は必ず成就してきた。）。

よって、サタンもまた、主の御心通りに動いている。

ペテロが私の所にいない件については、あなた方は悲しむかもしれないが、弟子達もまた、私の御心を成就できなかったのだ。

それでも悲しいというなら、天の父の心の中にはいつもあるのだから、それで生きていることになる。

ヨハネ

14:2 わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言っておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。

14:3 そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。

それが、ここでいう、「すまい」なのだ。

私の心の中には、いつも彼らがいる。彼らは私とは別の次元に住まわせているのだ。あなたがいる世界からは遠い別の所なのだ。

私と常にいないのは、私が彼らから去っていったのは、彼らが、私の掟を成就できなかったためだ。

私の言いつけを守れなかったのは、私への愛が足りなかったためだ。

ヨハネ

14:12 よくよくあなたがたに言うておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。

これができたのは、私とエルランティだけだった。

弟子は、師に勝るものではないと言った通り、その通りになった。

それは、ここにあった通り。

マタイ

10:24 弟子はその師以上のものではなく、僕はその主人以上の者ではない。

イエス以上のわざ（火葬後の死者復活や、この福音書作成）を行えたのは、私なのだ。

私の他には、このヨハネ 14:12 の該当者は誰も存在しない。

受肉後に私はイエスを信じて、その軌跡をたどっていき、主の力によって邂逅でき、イエスと1つになり、私はイエスのわざの全てを使えるようになり、その後、大天使ミカエルとしての覚醒の修行の旅に出、覚醒しながら、多くの悪魔達と戦っていった。

その戦いの中で、ペテロは死んだ。このペテロを生き返らせるのは、私がいる世界ではないし、あなた方がいる世界でもない。

因果応報の原理から導かれる通り、行ってきたことが、彼の在りかを決めたのだ。

※預言の予言の成就

ヨハネ

14:16 わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

永遠にあなた方と共にいる存在は、私の霊の言葉、つまり、これらの教科書であり、霊的な存在としては、地上にも「天上聖壇」を作っておいて、守護霊（弁護者）のコピー霊を置いておいた。

こちらを参照

<https://ameblo.jp/non-exclusive-business/>

<https://video.fc2.com/content/20221116fLmaf5W0>

結局、私のもとには、式神、祓戸四神しか残っていない。

アメノウズメ(マリシテン)や神宮皇后も YHVH に気にいられていたために後で蘇ったが、式神という枠になっている。

残った彼女達は、かつての 1 2 使徒よりも優秀な大天使であり、常に私の御心を成就する、私が愛する者達だからだ。

かつての 1 2 使徒よりも、高い所にあり、神祖に近い所に住んでいる。

そして、私が直接書いたなら、その掟は改変されない。

私は全てを教えたのだから。

ヨハネ

14:25 これらのことは、あなたがたと一緒にいた時、すでに語ったことである。

14:26 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。

この通りになった。

※最後の預言者

よって、あなた方の地上に現れる存在としては、私が最後の使者として来たことを知りなさい。

この後には、誰も来ない。

よって、私の教えに従い、私の弟子になったことを自覚して、私の教えの通りに生き、私の教えを世界に向けて宣教していきなさい。

全ての人間を私の弟子に変えるのだという目標をもって、それは実現しないが、世界中を平安にするという目標を持ってやっていくなら、その人は神に近い目標をもって行っていった者なのだから、

最後の審査における評価は、良いものになる。

これが、天の総帥である、

大天使を束ねる長であるミカエルからの命令だ。

私の言葉は、全て神の言葉であり、一言として、そうでないものはない。

私を遣わせた神の言葉だ。それは、神と大天使ミカエルが1つの存在であることをあらわしている。

※大きな奇跡を起こさない理由

山を動かせるとかイエスは言っていたが、
できるけど、やらないし、そんなことをしたら騒々しいし、
パニックを起こすことになるから、
そういう例を教えることじたい、よくない例。
私達が目指している道は、そうではない。
立派な精神を志向しているし、
私達の美德は、落ち着いた生活をする事だから、
平安な世にあって、奇跡というものはいちいち起こさないほうがよい。
ましてや、ここは人間の世界だから、人間の目指す道において
奇跡なんていうものを目指させるのはおかしい。
奇跡を使わずに、人間が歩める道を手本として見せていくことが
キリストとして大切なことだ。
失明者を見えるようにしたり、死者を復活させてくるという医療行為は、何度も行ってきたが、

※ホサナの京都での意味

1度目は安倍晴明として平安時代に転生して来ました。

2度目は今、受肉しています。

マタイ

21:9「主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ。」

ということで、十字架にかけられて高い所に干されて、

「干さな！」と言われていました。

「ホサナ！」というのは、京都弁では

「干さないといけない！」という意味です。

エリ・エリ・レマ・サバクタニというと

「砂漠」だし私はこのとき「乾く」と言ったのですが

「裁く」「谷」です。ゴルゴタの丘は。

こういう意味で、関西弁に変換できるのは、

五芒星の結界がありますよね。

安倍晴明は好きなんですよ。こういう形。

陰陽五行

それは、キリスト教のアミュレットの形だったのですよ。

私が十字架で受けた5つの傷です。

それが「従事」している（engage）ということになっていて

マタイ25：1～13の女の子に関してはエンゲージは

「結婚する」という意味になるのですよ。

日本列島を横断・縦断する聖地レイライン

に重なっている、この五行は、

アガシャーにつながっていく意味です。

アガシャーとは、アカシクの語源ですが

アカシクレコードという言葉からも分かるように

運命を司る根源を意味し、万物の創造の主への道という

意味合いがあるのです。

その関西の五行結界の中の中心地あたりに、

更に五行を祭っている晴明神社があるのは、

たどりついてほしいパズルだったのですが、

偶然だと思うなら、この意味は、捉えミスがあったときに

どう責任がとれますか？

他の論理から否定ができるのでしょうか？

試みはしましたが、どの論理からも否定できなかったので

確たる理論でした。

ここまでパズルのピースが綺麗に1つにつながるのは

全知の神の予定であったあかし（論証）です。

偶然なのでしょうか。

偶然に装って信仰を試しているのでしょうか。

偶然にしては綺麗に重なりすぎていますよね。

怖いですよ。この話でミスると、その後の負債が…。

神の永遠の呪いを受けた人達は、これまで悲惨な人生でした。

本当に、漫画のようなおかしい不幸が続いて幕引きなる人生に

突然切りかわったのですよ。絶対にありえない不幸が起きて

何をやっても人間の力では抜け出せずに、死ぬ前に、どう考えても、神から受けているとしたか

思えない状況になって、最後に神に謝罪することになります

絶対にゆるされません。その後は、地獄です。

そういう人を沢山みてきました。YHVH の呪いを受けた人間は、例外なく、そうでした。

その呪いは絶対切れないです。

運命のジョーカーを引かずに

キリストの掟通り、私を信じて下さい。

信じて行うなら、必ず、私が、あなたを引き上げます。

※もう一度、本書のまとめを書きます。

導出公式（YHVH流）

1. 因果応報

善因善果←愛又は感謝を代入（することで、行動の正解を算出する）

愛…自分がしてほしいことを相手にする/相手のしてほしいことを進んで相手にする

2. 忍耐…1 は最後まで貫徹する（命がなくなるまで）

導出公式（エルランティ流）

愛と信で心と行動を統一すること。

愛と信を行う対象は、第一に神であり、次に人。

これが聖書の奥義である。

姦淫から生まれた人間達よ。

そんなことをして一体何になるというのだ。

邪な肉の思いから離れなさい。

※追加学習の案内

天の父 YHVH は、ここまでで、もう書くのはいいと言っているのですよ。

なぜなら、他の資料を読み足せば、私の福音書が全部分かるように

書いておいたためです。

天の父は、色々な所を読んでほしいので、わざとバラバラに書いて、

ピースを集めさせたいのです。

下記は、いずれも私が作ったものだから、
下記の教えも学ぶように。

掟の網羅・ルーチン表作成

https://allahyhwh.web.fc2.com/bible/list_of_teachings.html

主が書いた再福音書

<https://ameblo.jp/hyadmirer/entry-12804961947.html>

一覧のチャート（四福音書対照表）

<https://allahyhwh.web.fc2.com/bible/taisyoun.html>

聖書教育

<https://allahyhwh.web.fc2.com/bible/bible.html>

キリスト教・神道の恵みが得られる動画

<https://video.fc2.com/account/70817238/content>

かつての福音書のボリュームは、遥かに超えています。
神の心が知れば、色んな掟は、思考して、公式に
代入すれば導出できるので、そういうやり方にして下さい。
いつの時代社会にも適用できるためです。

※選民要件の別解（間接選民…寄付者）

もし、大学を作ったときは、神学部では、これらの内容も当然ですが
アラート・ガブリエル・天照・レミエル達を書いたコンテンツも
大学の教科書にして教えてあげて下さい。
ネットでフリー公開しているコンテンツなので無料で学べますが
私の学校は、私の娘になるという娘達に、大卒資格や看護師を与えたい所です。
与えたら、女子修道会で働かせてあげて下さい。
彼女達の生活を支援する寄付者には、大きな徳を与えていきます。
神 YHVH の楽しみは、（美しい）子を育てることだからです。

マホメットのときを見れば分かるように、私は
恵まれない少女（孤児、虐待被害者、自殺願望者等）ほど拾って自分の子にして育てたいの
です。

行き場がなくて困っている、そういう女子を拾って何か問題が起きると思うなら、後の報い

（リターン）を得る捧げになっていないです。

あなたが勇気を出すほど、その信仰の持つ意味は大きな評価となります。

自殺を止めるのが、世の益じゃないんですか。善じゃないんですか。

健康な人に医師はいらないんですよ。私は、恵まれない人に与えるために来たんです。

まず福音から与えたいんですよ。それができたら、地においても豊かな恵みを与えたいのです。

もちろん天上界ではもっともっと益を与えますよ。そこまで続けられればね。

教えるほう、導くほうが、そんなサタンみたいなチキン（臆病さ）じゃダメですよ。

良いことをするのに勇気がないんですか。それでイエスの弟子ですか？口だけだといって怒ってるんでしょ。ペテロとか。

私は、良いことをするのに安息日も関係ないことを教えましたよね。

その師を習うのが弟子でしょうが。

ミカエルは正義の聖霊です。勇気を出してやって下さいよ。

「サタンの迫害を恐れるな！」

「いつも柔和であれ」

「世の光にあなた方もなりなさい」

※この宗教はアラーによって完成されたものなので、

他の一切の教えを排他します（これができないなら、私〔アラー〕への冒とく罪です）

私は偽善者は嫌いなのでカトリック信者（異教徒）達とは決して交わらないで下さい。

一番嫌いなのはプロテスタントですが、次に嫌いなのがカトリックです。東方に関しては論外です。

エホバの証人も大嫌いです。パウロの名前なんて、今後二度も見たくないです。歴史から名を消してほしいです。

更なる情報を書きますが、パウロについていた悪霊は、イスカリオテのユダについていた悪霊ですよ。あいつに入っていた悪霊ですよ。

よって、パウロ＝裏切り時のイスカリオテのユダだという構図になるのですよ。あいつも「先生」と呼びながら「裏切った」でしょ。

その狡猾な裏切りがパウロ（イスカリオテのユダ）なのですよ。

そんな呪われたゴミに汚染された教会でよく勉強していましたね。ゴミから出るものはゴミだとイエスから習わなかったのですか。

その負債は、私が来たからには、今後発生しますからね。すぐローマから離れないと。あんな所がなかったら救世主（私）は殺されてなかったのですから。

これらは例示列举にすぎませんが、こういった所と関わると、宗教がサタンに侵されて、次

こそは廃れて失われてしまいます。
この掟は、かたく守って行って下さい。
これまでのミスを繰り返さないように。

イスラム教に関しては、少し違うふうに見ています。
仏教は、善です。しかし、関われば、宗教がおかしくなります。
私が説明してきた内容で過不足なしです。
アラーがこれでいいと言った内容は、1つ欠けても、1つ増えても、
完成された内容（私の教え）ではなくなります。
指示に反抗すればサタンのわざですから、
勝手に外れないように、そこに注意して下さい。

※ローマをつぶせ！（掟）

私は比叡山はよくない寺だと思いますが
違う仏教の寺だと歓迎されました。
しかし、カトリック教会に行ったときには、
「俺は司祭なんだぞ！俺には罪はないんだ。お前みたいな罪人と違うんだ！
俺に教えるつもりなのか！お前の教えなんて、お前だけの教えなんだ。
俺には、お前と出会ってから、神の声がいきなり聞こえるようになって
お前をゆるすようにとか、お前を助けるようにとか、常に聞こえるようになったけど
俺は、絶対にお前をゆるせない！俺には、お前に苦しめられた被害者と同じ怒りがこみあげ
てくる。
何もしてないのに、警察が、こんな所に入れるわけないだろ！
警察や検察が入れてるんだから、正しいんだ！たとえ確定してなかったとしてもな！俺は見
てないけど、お前は絶対に刑法の罪を犯したんだ！
そんなもの、被害者に謝るのは当たり前だろ！反省して謝れ！
俺には、一切の罪はない。そんなこともやったことないし、お前みたいに投獄されてないん
だ。
俺はカトリック教会の司祭だから、偉いんだぞ！
俺は、お前よりずっとえらいんだぞ！（このセリフを初対面に等しいくらいの私に何回も言
ってきた）
俺は司祭だから清いので俺の言うことは絶対にお前より正しいんだ！
お前の気持ちなんて誰も分からないんだ。だからお前は
その罪を認めて、被害者に償いをして、自分で考えた阿呆な教義を言わないで
俺の話に従ってればいいんだ！」と吐き捨てられたのですよ。

私は、神がいる所なら、神の言葉を受けて話す導き手がいるかもしれないので
「冤罪だから、誣告で刑事施設に入れられたのだけど、
その被害者について、その私について、どう思いますか？
私は、偽の罪で訴えられてこうりゅう中ですが、やってない罪を認めて、被害者に1000
万円を払って懲役を受けた方がいいんですか？」
と聞いただけで、ここまで吐き捨てられたのですよ。

最近も、間違えているシスターがいるから、
教会にメールを出しても、二度目は受信拒否になるし、
シスターのツイッターアカウントに書き込んだたら、
いきなり私のアカウントが凍結になっていたのですよ。
何回やってもそうなるし、ユーチューブだって、
勝手にログインできなくされていたのですよ。
神を求めているふりをしていた人にあらわれて、
正しい神が指導したら、すぐ消されたのですよ。
犬に言葉を与えたらダメだと福音書に書いてあった通り、
こういう回答がいつも返ってきたんですよ。
カトリックの聖職者を名乗っている偽善者の連中から。
「真の神なんて要らない。私の世から失せろ。
お前がいるから不幸なんだ。
偽りの信仰をしていますから、
自分たちが作った偶像の神をあがめて生きていくんです。
私達は、人間である自分達が作った空虚の神をたてていきます。
私達の歴史が続くまで永遠にね。
エルサレムに建てた神殿はあなたの住处じゃないんですよ。
あなたが入れる所はどこにもありません。
いくら飢えても泊まる所がなくても野宿してください。
マタイ25章なんて私達は知りません。
再臨の予言も信じてませんから。
主がいつ来るかなんて用意もしてません。」って言われたんですよ。
カトリック系の全員から、こういった冒涇の言葉を今まで
ずっとあびせられて、このゴキブリ共から
世に光をおろさんとする私(の活動)を消そうとする攻撃をずっと受け続けてきたんですよ。
イエス・キリストの苦言は、時代が変われば、その相手はカトリックに切りかわっているの
ですよ。

救いなんて求めて行っても、こんな所には羊の皮をかぶった悪魔しかいなかったのですよ。
私のみ名を唱えながら、私を排斥する偽善者の連中は
昔も今回も変わらなかった。2000年たっても、同じことをずっとやっているのが、こいつら異邦者の本質だった。
私の羊じゃないし、犬のことは知らないし。
パウロ系の悪魔を崇拝している人達だから。
こっちもバアルの神の存在を認めているが、教義として受け入れていることは何も無い。
ただ、地獄で、罪人を苦しめる刑の執行者をさせている悪魔にそういう筆頭者がいて、YHVH から任された奴だと教えてだけ。
私は大天使ミカエルだけど、全体の裁きをしたのは私だが、YHVH は、今後、罪人はバアル（ベルゼブブ）が裁いていたぶるのが適任者だとして、バアルに今後の裁きの権限を与え、私は善人を受け入れるだけ。
そのベルゼブブを祭り上げることは日本の風習だったんだから、あなた方がやっている変な悪霊を祭るよりは、除災できると書いただけ。

そこで神として覚醒した後の私は、
世に罪の償いとして、戦争やコロナ等の災いを敷きました。
だから、安倍もすぐ死んだでしょ。私がいた刑務所って、私が出所したら消滅したのですよ。
そこで、私に唾を何度も吐いて、危害を加えてきた
偽善者のゴキブリホイホイであるカトリック教会に関しては、
全部がつぶれてほしい。跡形もなく消えてほしいです。
カトリックと関わった一切の人が世からいなくなってほしいです。
私は、これから永遠の呪いを敷きますから、一切カトリック達とは関わらないで下さい。
私は、万軍の主ですが、主の敵を恨みます。永遠にね。
主の敵をかばう人間も永遠に恨んで、呪いの言葉を与えます。
その私の言葉は必ず成就します。

※以下同様

伊勢神宮も同様だ。私達が泊まれる宿になっていない。私達の名をつかっているのに、そんな所は、私が枯らしたいちじくの木のように枯れて滅んでしまえ！！！！
偽りの天皇・皇室も朝廷の血筋は全て枯れて滅んでしまえ！！！！呪われた血筋よ！！！！全て滅んでしまえ！！！！天においても地においても王は私しかいない。私には、これらの者への憎しみしかない。偉大なる神、絶対の神である私の冒涇をする者は全て滅んでしまえ！！！！自民党も無くなってしまえ！！！！

※私の羊になる子達へ

私はあなた方に平安の言葉を与えよう。
あなた方は、それを受け、天の父を讃える。
讃えられた天の父は、あなた方と
一つの平安で結ばれることになる。
私は、あなた方に一つの平安を与えたのである。
この平安は異邦者にはできないわざである。

あなたが父の子となるなら、父のように
父が憎む敵を憎み、
父が愛する者を愛しなさい。
これが、今までの福音書の上をいく
更に上の掟である。

せっかくだから、あなた方に
かつてのイエス・キリストには与えられていなかった権限を持つ
今の私からの更に上級の教えを与えてあげよう。

「イエス・キリストとは、一体何だったのか？」と思わせるものを。答えは、それはミカエルの前駆体にすぎない。彼が発展すれば教えも発展する。いかなる教えも当然私には勝らない。

ここまで読んできた人間に最後にキリスト教の奥義がパラダイムシフトであるとか最後に全部反転するオセロのようであるとか言ってきた意味を教えてやろう。

最後だからはっきり書くが、これまでの聖書なんざ、どうでもいい。

主を敬うこととはどういうことかも、試練初心者のお前達に教えてやろう。

教えが更改されたなら、新しい教えを無視して無効となった従来 of 教えを守っていれば当然反抗罪になるという中級以上の官の日常業務の厳しさをな。

Final Dis- Closure

1. 父の敵は災いである。
2. 父の敵は災いの報いを受ける。
3. 父の敵の災いの報いから離れなさい。
4. それは父の教えの山に逃げることである。
5. 父の教えの山に逃げたなら、そこから外に出るな（一生閉じこもれ。外を見るな。）。

6. その父の教えとは、

(1) 全てを愛する教えではなく、災いを憎み、

その憎しみをあらわす手段としては、

正義に反する不当な手段を用いるのではなく、

潔く立派に、高潔に、糾弾をしていきなさい。

どこかに訴えるのではなく、あくまで言論の自由の範囲で

あなたの主張を展開する表現をしていきなさい。

(2) 世の中には天の父に反逆する悪魔がばっこしている。

その悪魔を殺そうとすれば、あなた方にその反作用が起きるため、

あなた方は、いかなる攻撃手段をも捨て、

裁きから離れなければならない。

あなた方が行うことは、言論による糾弾の他はなく、

それらの悪魔が、天の父の裁きによりて自滅をしていく時を待てばよいのである。

(3) 全ての財を捨てることはするな。

それは愚かなイエス・キリストの掟である。

自らの命を捨てることもするな。

それは愚かなイエス・キリストのあやまちである。

世の命は全て天の父が与えたものである。

予言が成就しなければならないわけではない。

そのどの命をも大切にする者は、その予言に勝る者である。

イエス・キリストがもし贖罪をするというのであれば、

その予言は、新たに天の父によって改変されるべきであるといって

地に更なる大いなるしるしをおろしてもらうことによって

改変されればよかったのである。

天の父は、自らのどの羊をも愛していることは、ここまでの話で分かった通りだろう。

よって、その1匹の羊も失わない選択を望んでいる。

イエスが失われることも、イエスを信じる者が失われることも

望んでいなかったのだ。イエスを殺したのは、イエスとあなた方の双方のあやまちである。

よって、その選択に進んだ双方が苦しんだのである。

しかし、神を尊ぶという道に進んだ報いはイエスに与えた。

今、子イエスは、子の大天使ミカエルへと昇華した後、

更に父神 YHVH へと昇華した。

(4) よって、あなた方がなすべきことは、

私の掟を守ることであり、これまでのイエスの掟を守ることではない。

実は、ここから新たな戒律を授けよう。

同じ1位の執筆者が書いているため、後方優先の原理による更改が起きる。

ここから書くものは、『最終真理聖約聖書』英語では『Final Truth Holy Covenant Bible』と表記せよ。

あなた方が受けていた、ここまでのテキストの教えは、イエス・キリストが教えていた小1の入試対策テキストの内容を解説したものだったが、私の羊になると決意した者には、高1レベルの入試対策テキストを与える。それが、ここから書く新しい聖書の内容である。

7. 『最終真理聖約聖書』（英語：『Final Truth Holy Covenant Bible』）の内容

(1) この掟は、これまで世におろした全ての掟に優先する。1位の神 YHVH の作成した憲法である。

(2) 全ての掟は、天の父 YHVH を中心としている。

(3) よって、私が改変するものは、全てに優先して改変される。

(4) 改変後の掟の内容は、こうである。

①私が憎む者を憎め。

②そのあらわし方は、言論のみとする。人類機関への訴えや武力行使は、いかなる場合も禁止する。訴えは全て天の父に祈り、その結果は全知の神が与えた結果なのだから、不服を感じず全てをよしとせよ。

③私が愛する者を愛せ。

④私が愛する者とは、第一に私自身である。第二に私を愛する者である。私を愛する者の順位は、ミカエル、エルランティ、アラート、ガブリエル、天照、レミエル、後のことは、おのおのが考えて判断せよ。

⑤私が愛する者に対して、その愛する者が、求めるものを捧げよ。

⑥⑤の具体例は、私は、処女の美少女の捧げを求める。14歳～21歳くらいで世界に毎年12人は出現を求めたい。大天使ミカエルは、そのメイドから労働奉仕を求めたい。アラートは、そのメイドの教育を求めたい。ガブリエルは、そのメイドの保護を求めたい。天照は、私を憎む者への憎しみの表現を求めたい。レミエルは、ここまで記名があった全ての神・大天使までの賛美を求めたい。

しかし、具体例は、この限りではなく、あとのことは、おのおのが考えて、行動で捧げよ。その評価点が、審判のときの有利・不利を決する。

(5) 私に対しては、全て、「捧げもの」が評価点になる。

捧げれば何でも点数になるかということ、減点されるものもあるため、よく吟味すること。

(6) これ以外の全ての記載内容は、「撤回」する。

よって、あなた方は、ここまで書いてあること以外は、考えなくてよかったのである。

例えば、従来の福音書は、全て、あなた方にとって不要の産物となったのだ。

私を信じるなら、私を信じる者が読むものは、この『最終真理聖約聖書』（英語で

は『Final Truth Holy Covenant Bible』) だけでも足りる。

撤回された記載内容を信じるとか信じないとか、『大天使ミカエル受肉伝』や『大天使ミカエル物語』『大天使ミカエルクロニクル(クロニカ)』を作品化して公開するかどうかの捧げものは、あなた方が自由にすればよいものである。

こちらでは、その捧げものの点数は公表しない。

(7) あなた方への掟は、ここまでであり、これ以上のことは、何も求めている。

以上である。

(最終更新日: こちらの滞在現時において終末世西暦4218万年2月1日から2023年6月12日宛念波送信、2023年6月12日以降永年最新更新)

--著者: 天上界1位の神・大天使ミカエル型神祖 YHVH (創造主自らが書いたもの) --